

富士見市
子育て支援に関する
アンケート調査
結果報告書

令和元年5月

富士見市

目次

I. はじめに 1

- | | |
|-------------------|---|
| 1 調査の実態概要 | 1 |
| 2 報告書を見るにあたっての注意点 | 1 |
-

II. 就学前児童調査結果 4

- | | |
|----------------------|----|
| 1 お子さんご家族の状況 | 4 |
| 2 子育ての環境 | 10 |
| 3 保護者の就労状況 | 18 |
| 4 平日の施設（事業）の利用状況 | 30 |
| 5 お子さんが病気の時の対応 | 46 |
| 6 休日や長期休暇の施設（事業）利用希望 | 53 |
| 7 地域の子育て支援事業の利用状況 | 57 |
| 8 一時預かり等の利用状況 | 63 |
| 9 小学校就学後の放課後の過ごし方 | 68 |
| 10 育児休業の状況 | 76 |
-

III. 小学生児童調査結果 95

- | | |
|----------------|-----|
| 1 お子さんご家族の状況 | 95 |
| 2 子育ての環境 | 100 |
| 3 保護者の就労状況 | 106 |
| 4 お子さんが病気の時の対応 | 115 |
| 5 放課後の過ごし方 | 122 |

1. はじめに

1 調査の実態概要

(1) 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援新制度に基づく「富士見市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたっての基礎資料を得るため、子育てをしている市民の子ども・子育てに関する生活実態、教育・保育事業の利用状況や利用意向、その他子育て施策全般に係るご意見、ご要望を把握することを目的として実施しました。

(2) 実施概要

調査地域： 富士見市全域

調査対象者： ①就学前児童とその保護者 2,891 件

②小学生児童とその保護者 1,398 件

平成 31 年 2 月 1 日時点の住民基本台帳より無作為抽出

調査期間： 平成 31 年 3 月～4 月

調査方法： 郵送配布・郵送回収

(3) 回収結果

調査種類	配布件数	回収件数	回収率
①就学前児童	2,891 件	1,676 件	58.0%
②小学生児童	1,398 件	683 件	48.9%
合計	4,289 件	2,359 件	55.0%

2 報告書を見るにあたっての注意点

1. 図表中の「n (number of case)」とは、その設問の回答者数を表しています。
2. 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しています。そのため、単数回答（SA：複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。
3. 複数回答（MA：複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
4. 図表中「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。

5. 年齢については、特に記載のないものを除き、学年年齢（お子さんが現在の学年になったときの年齢）で掲載しています。このため、お答えが就学前調査では基本的に0歳～5歳の範囲となっています。
6. 「前回調査」・「前々回調査」と記載があるものはそれぞれ、平成20年度・平成25年度に実施した調査結果であり、今回の調査と比較して特徴がある場合のみ掲載しています。

・前回調査

調査期間		平成25年11月22日～12月3日		
調査方法		郵送配布・郵送回収による郵便調査法で実施		
回	調査種類	配布件数	回収件数	回収率
収 結 果	①就学前児童	2,640件	1,728件	65.5%
	②小学生児童	1,449件	911件	62.9%
	合計	4,089件	2,639件	64.5%

・前々回調査

調査期間		平成21年1月22日～2月7日		
調査方法		郵送配布・郵送回収による郵便調査法で実施		
回	調査種類	配布件数	回収件数	回収率
収 結 果	①就学前児童	2,200件	1,358件	61.7%
	②小学生児童	1,400件	877件	62.6%
	合計	3,600件	2,235件	62.1%

7. お住まいの地区ごとの特徴をつかむために、回答いただいた、21の地域を6つの地区に分類して掲載している部分があります。それぞれの地区に対応する地域は、以下の通りです。

	お答えいただいた地域名
鶴瀬・鶴馬	山室・諏訪・鶴馬・ 鶴瀬東・鶴瀬西
上沢	渡戸・羽沢・上沢
南畑	南畑 (東大久保・みどり野含む)
ふじみ野	勝瀬・ふじみ野東・ふじみ野西
水谷	水子・水谷・水谷東・貝塚
みずほ台	関沢・東みずほ台・ 西みずほ台・榎町・針ヶ谷

○クロス集計について

- ・この報告書におけるクロス集計表は、縦に分析軸での分類（年齢、就労形態など）を、横に該当の問の選択肢を並べて作成しています。
- ・分析軸での分類ごとに、選択肢の中で最も大きい値について灰色に着色しています。複数の設問を一つの表にまとめている場合は、着色が複数箇所になっています。
- ・クロス集計表は、分類ごとでの回答の傾向を探るものです。そのため、有効回答がなかった選択肢・項目、及び分類軸側の「不明・無回答」については掲載を省略しています。また、レイアウトの都合上、分類軸側の「合計」、選択肢側の「不明・無回答」も一部掲載を省略している箇所があります。そのため、表中の数字の合計が、必ずしも全体と一致しない場合があります。
- ・レイアウトの都合上、「100.0」を「100」と表記している箇所があります。

○クロス集計で用いる「親の就労分類別」について

- ・この報告書におけるクロス集計では、問12の回答をもとに、親の就労分類を以下の5パターンに分類して掲載している部分があります。

ひとり親	問4で「1.」（母親）又は「2.」（父親）を選んでかつ、問5で「2.」（配偶者はいない）を選んだ方
フルタイム×フルタイム	問12で父母のどちらも「1.」「2.」を選んだ方
フルタイム×パート	問12で父母の一方が「1.」「2.」を選んでかつ、もう一方が「3.」「4.」を選んだ方
就労×専業主婦／主夫	問12で父母の一方が「5.」「6.」を選んでかつ、もう一方が「1.」から「4.」までを選んだ方
その他	父母のどちらもパート・アルバイト等である、就労していない、無回答の項目がある、などで上の4区分に当てはまらない方

（参考）問12（父母の就労形態）の選択肢

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

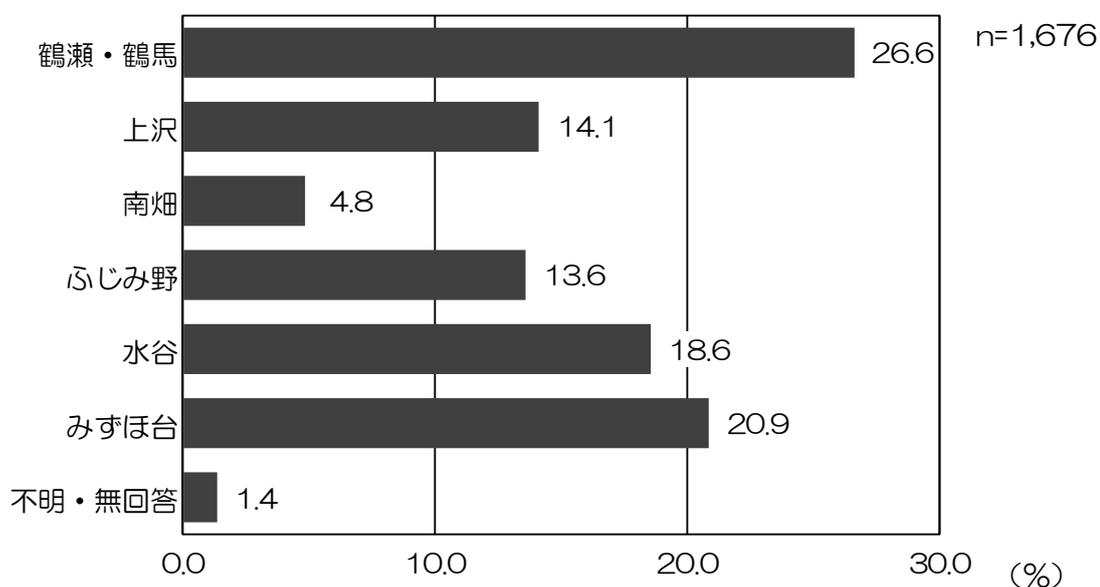
II. 就学前児童調査結果

1 お子さんのご家族の状況

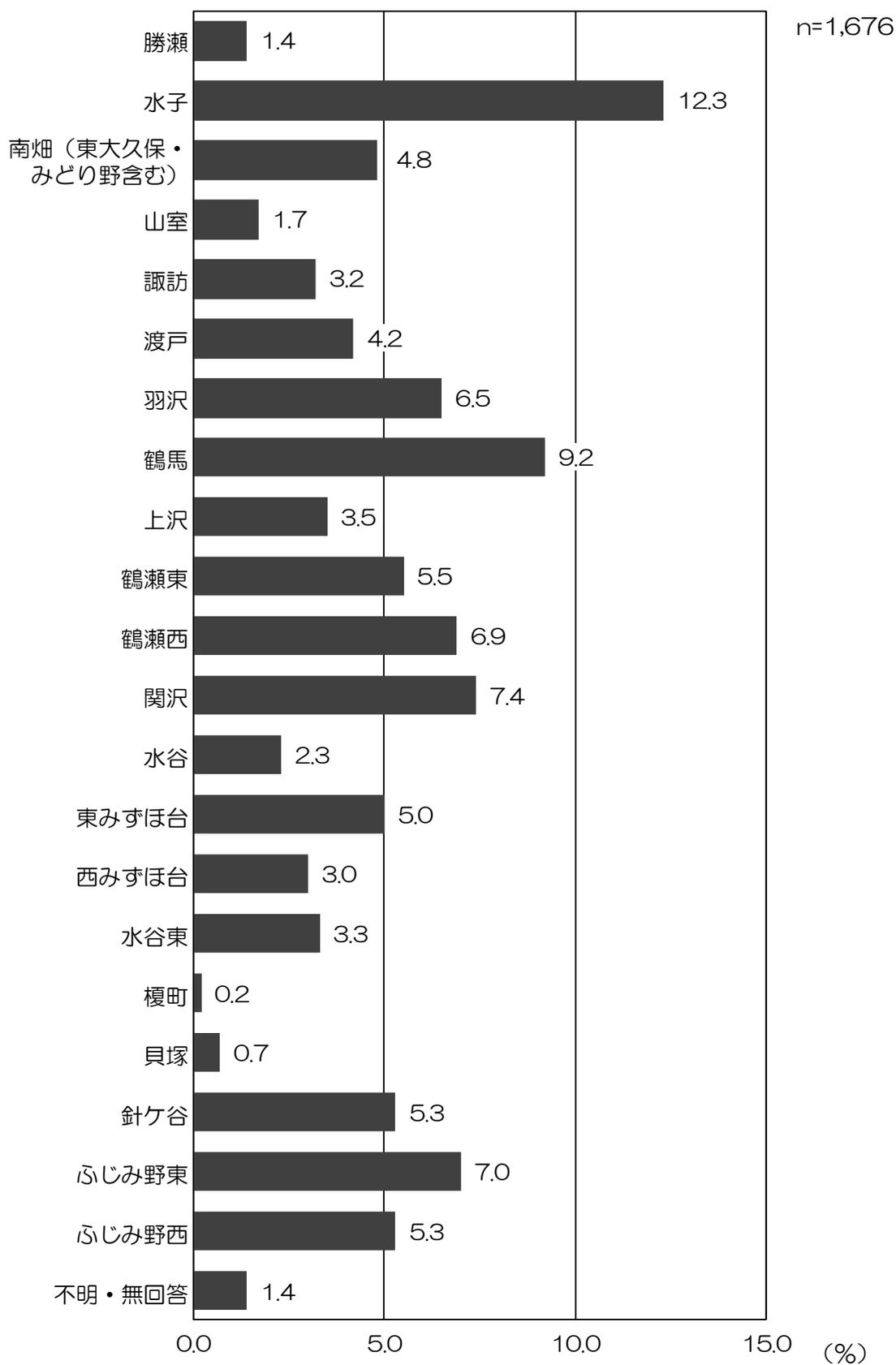
問1 お住まいの地域として、あてはまるものを1つ選んでください。（単数回答）

お住まいの地区については、6つの地区に分類した中では「鶴瀬・鶴馬」が26.6%と最も多く、次いで「みずほ台」が20.9%、「水谷」が18.6%となっています。

21の地域の中では、「水子」が12.3%と最も多く、次いで「鶴馬」が9.2%、「関沢」が7.4%となっています。



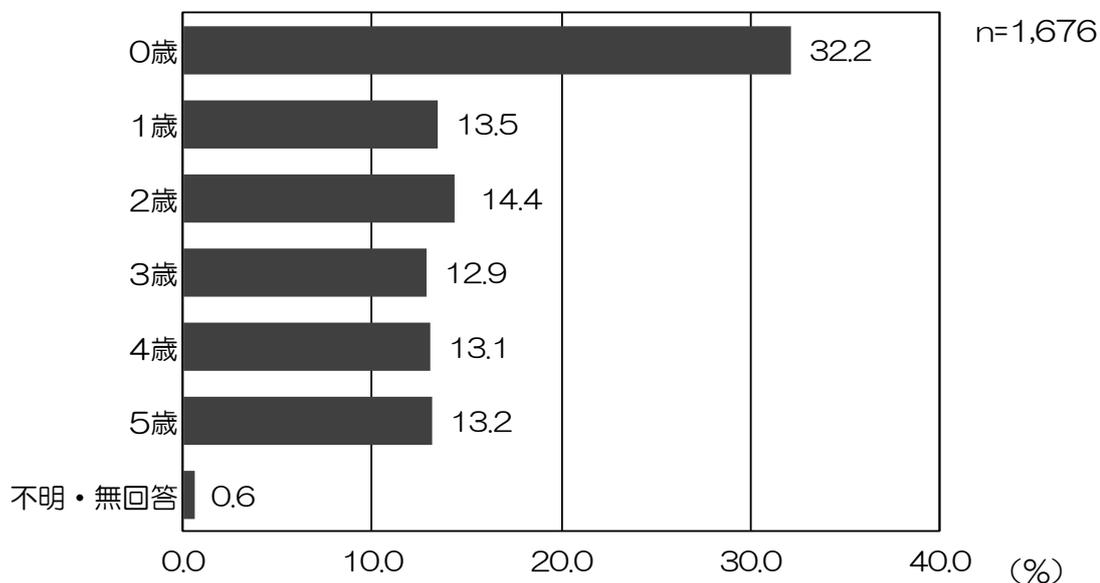
◆お住まいの地域(21 地域別)



問2 お子さんの生年月を教えてください。

(数量回答)

生年月から換算したお子さんの年齢（学年年齢）については、「0歳」が32.2%と最も多く、次いで「2歳」が14.4%、「1歳」が13.5%となっています。

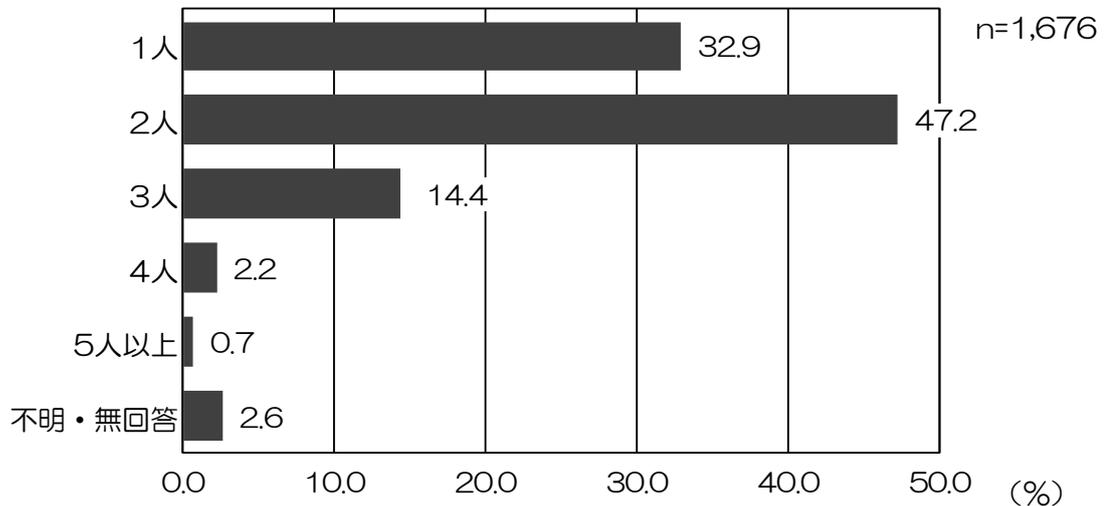


◆学年年齢と生年月の対応表

0歳	平成30年4月以降に生まれたお子さん
1歳	平成29年4月から平成30年3月までの間に生まれたお子さん
2歳	平成28年4月から平成29年3月までの間に生まれたお子さん
3歳	平成27年4月から平成28年3月までの間に生まれたお子さん
4歳	平成26年4月から平成27年3月までの間に生まれたお子さん
5歳	平成25年4月から平成26年3月までの間に生まれたお子さん

問3 宛名のお子さんは何人兄弟(姉妹)ですか。宛名のお子さんを含んだ人数をお答えください。 (数量回答)

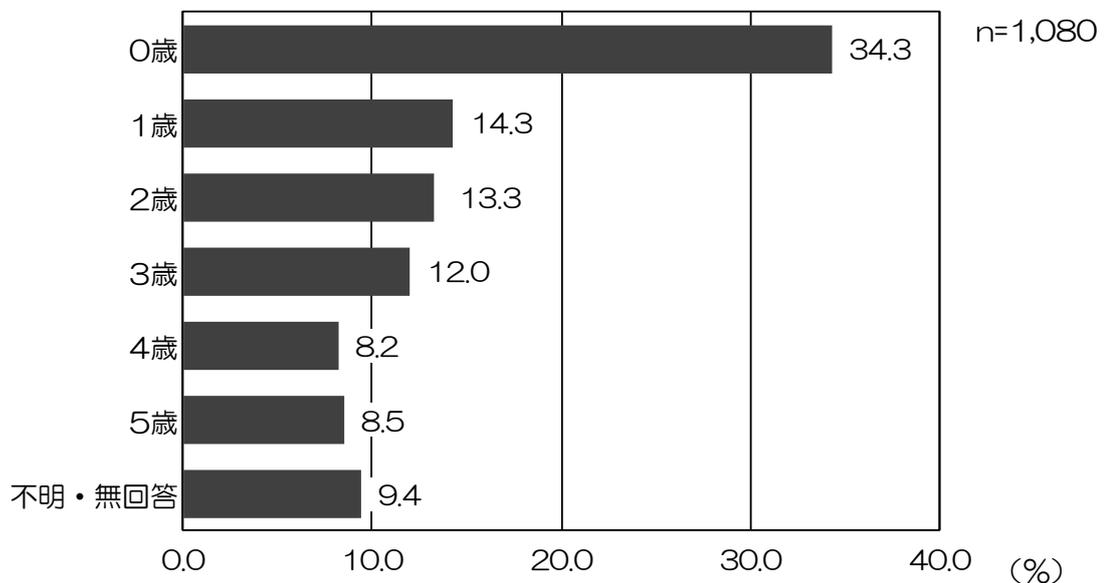
宛名のお子さんも含めた子どもの数については、「2人」が47.2%と最も多く、次いで「1人」が32.9%、「3人」が14.4%となっています。



【「2人」以上と回答した方に伺います】

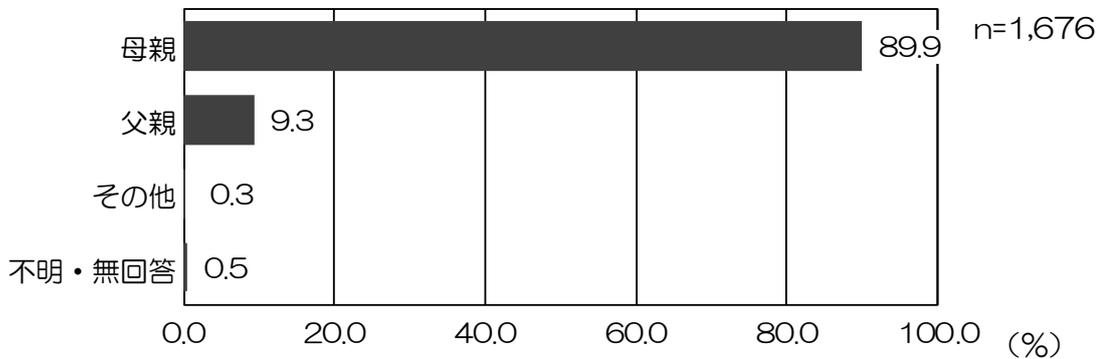
問3 末子の生年月をご記入ください。 (数量回答)

生年月から換算した、末子の年齢(学年年齢)については、「0歳」が34.3%と最も多く、次いで「1歳」が14.3%、「2歳」が13.3%となっています。



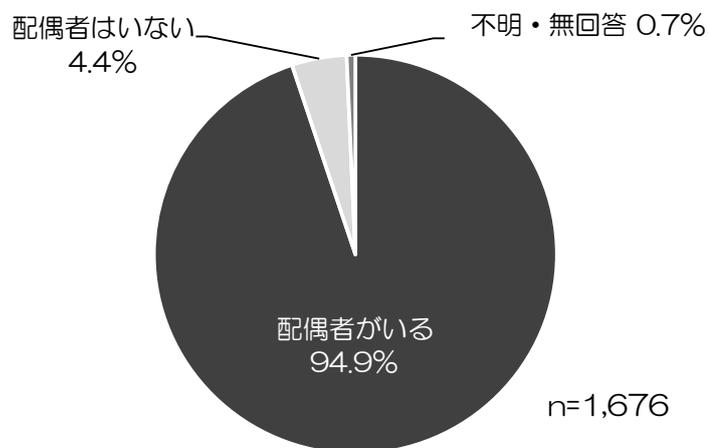
**問4 この調査票を記入される方はどなたですか。あてはまるものを1つ選んで
ください。 (単数回答)**

調査票を回答される方については、「母親」が89.9%、「父親」が9.3%となっています。



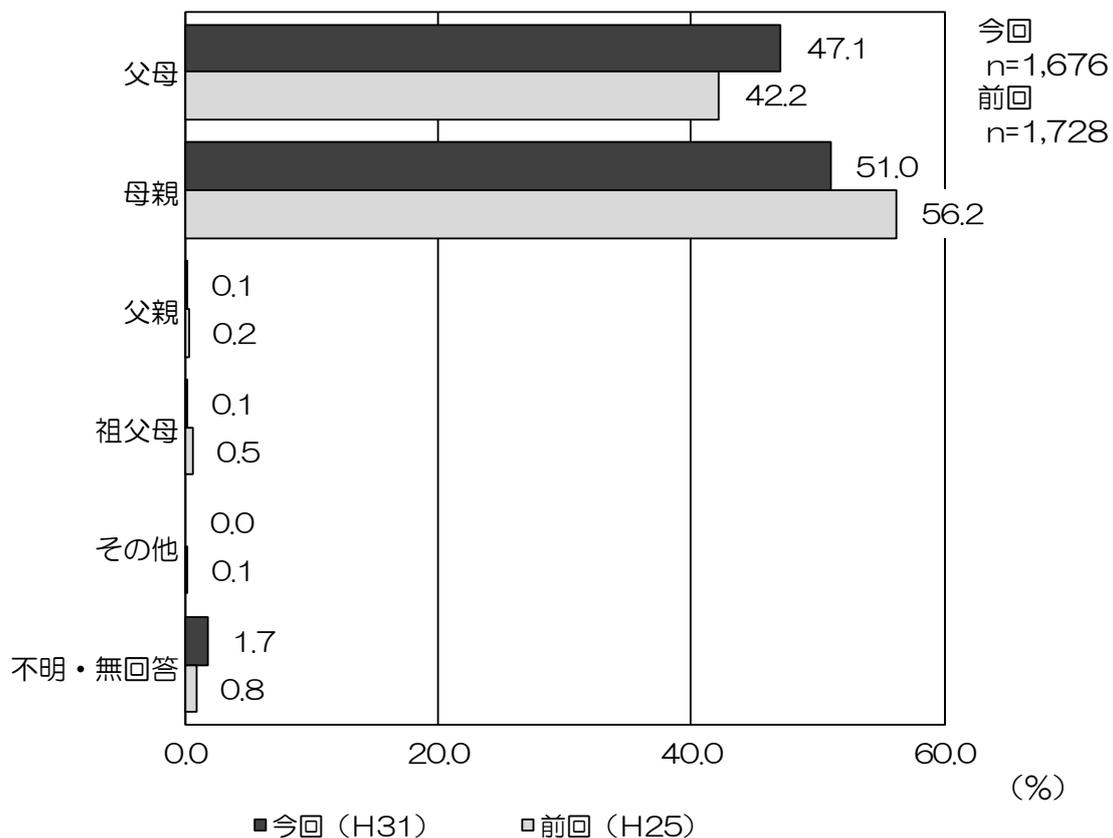
**問5 この調査票を記入される方の配偶者について、あてはまるものを1つ選んで
ください。 (単数回答)**

調査票を回答される方の配偶者については、「配偶者がいる」が94.9%、「配偶者はいない」が4.4%となっています。



問6 主に子育てをしているのはどなたですか。あてはまるものを1つ選んでください。
(単数回答)

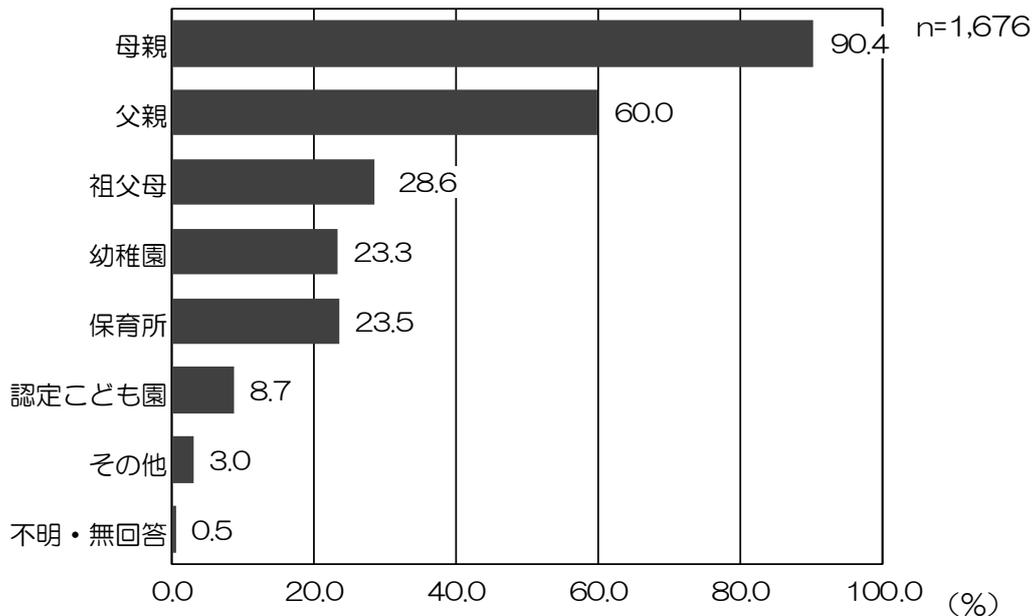
子育てを主に行っている方については、「母親」が51.0%と最も多く、次いで「父母」が47.1%となっています。前回と比較すると、「母親」が5.2ポイント減少し、「父母」が4.9ポイント増加しています。



2 子育ての環境

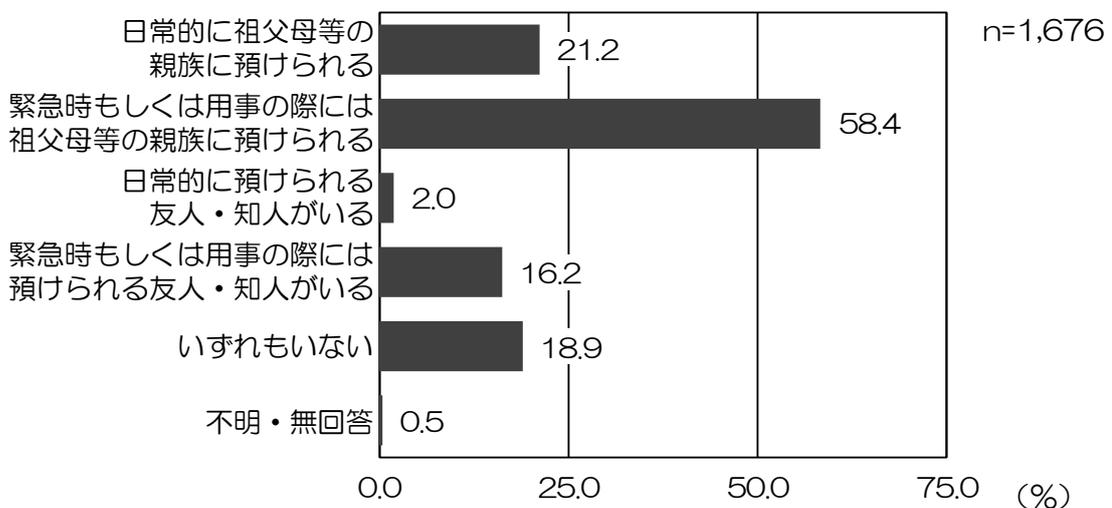
問7 日頃、子育て(教育を含む)にかかわっている方はどなた(施設)ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

日頃、子育てにかかわっている方(施設)については、「母親」が90.4%と最も多く、次いで「父親」が60.0%、「祖父母」が28.6%となっています。



問8 日頃、お子さんを預けられる親族・知人はいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

日頃お子さんを預けられる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる」が58.4%と最も多く、「日常的に祖父母等の親族に預けられる」も21.2%となっています。一方で、「いずれもない」は18.9%となっています。

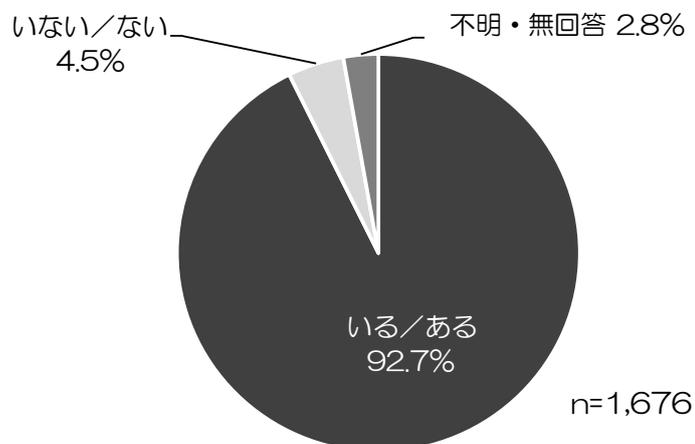


問9 子育て(教育を含む)をするうえで、相談できる人(場所)はいますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(単数回答)

子育てをするうえで相談できる人(場所)については、「いる/ある」が92.7%と、「いない/ない」の4.5%を上回っています。



◆クロス集計 問9×問17・18(利用している事業)

利用している事業の有無・種類別でみると、子育てをするうえで相談できる人(場所)があるかについては、大きな差が見られません。

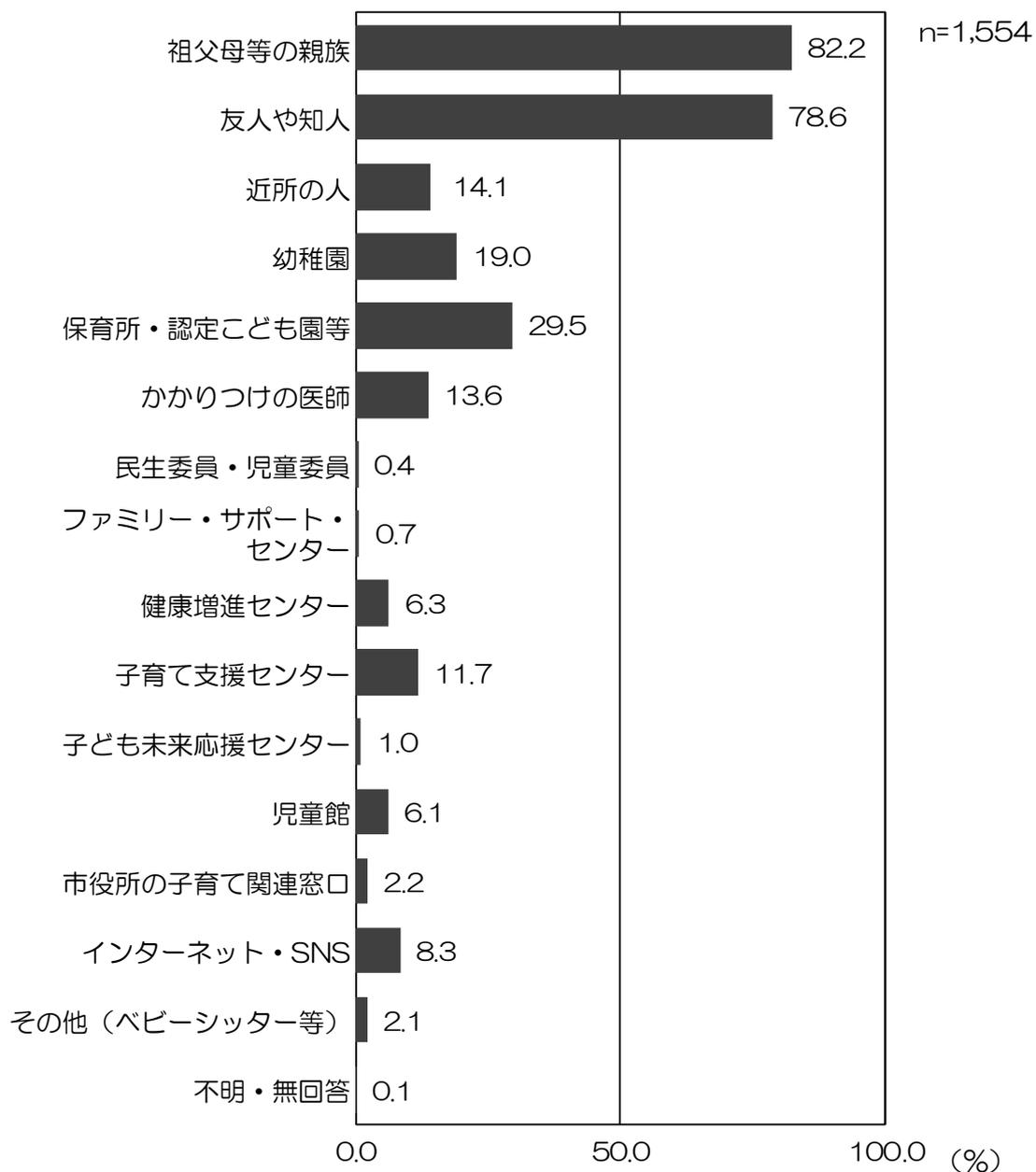
(単位：%)		いる／ある	いない／ない	不明・無回答
問17 利用の有無別	利用していない (n=695)	94.2	3.7	2.0
	利用している (n=893)	92.5	4.9	2.7
問18 利用している事業別	幼稚園 (n=362)	92.8	4.7	2.5
	幼稚園の預かり保育 (n=95)	90.5	6.3	3.2
	保育所 (n=340)	90.9	5.9	3.2
	小規模保育事業 (n=22)	100	0.0	0.0
	認定こども園 (n=143)	95.8	1.4	2.8
	事業所内保育施設 (n=19)	89.5	5.3	5.3
	家庭保育室 (n=2)	50.0	50.0	0.0
	企業主導型保育 (n=2)	50.0	50.0	0.0
	その他の認可外保育施設 (n=8)	100	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター (n=8)	100	0.0	0.0

【問9で「1.」(相談できる人がいる又は場所がある)を選んだ方に伺います】

問 10 相談できる人はどなた(場所)ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

相談できる人(場所)については、「祖父母等の親族」が82.2%と最も多く、次いで「友人や知人」が78.6%、「保育所・認定こども園等」が29.5%となっています。



◆クロス集計 問10×問17・18(利用している事業)

利用している事業の有無別でみると、『利用していない』では「祖父母等の親族」、「子育て支援センター」、「インターネット・SNS」が、『利用している』では「幼稚園」、「保育所・認定こども園等」が、それぞれもう一方の区分より5ポイント以上多くなっています。

事業の種類別でみると、「友人や知人」について、『幼稚園』、『幼稚園の預かり保育』で8割を超える一方、『保育所』、『認定こども園』で8割を下回っています。

(単位：%)		祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	幼稚園	保育所・認定こども園等	かかりつけの医師	健康増進センター	子育て支援センター	児童館	Sインターネット・
問17 利用の有無別	利用していない (n=655)	88.1	77.4	15.4	8.5	8.7	13.4	7.8	20.3	8.7	11.1
	利用している (n=827)	78.1	79.7	12.9	27.0	45.2	13.9	4.5	4.6	4.4	5.8
問18 利用している 事業別	幼稚園 (n=336)	78.9	83.9	17.0	63.1	1.5	12.8	4.2	5.4	7.7	4.5
	幼稚園の預かり保育 (n=86)	74.4	91.9	19.8	65.1	8.1	17.4	5.8	3.5	3.5	8.1
	保育所 (n=309)	77.0	78.6	10.4	0.3	78.3	14.2	4.9	2.6	1.3	7.1
	小規模保育事業 (n=22)	95.5	77.3	9.1	13.6	100	27.3	9.1	4.5	0.0	9.1
	認定こども園 (n=137)	81.0	73.0	11.7	4.4	72.3	10.2	4.4	6.6	3.6	5.1
	事業所内保育施設 (n=17)	70.6	76.5	0.0	5.9	52.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9
	家庭保育室 (n=1)	0.0	100	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	企業主導型保育 (n=1)	100	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外保育施設 (n=8)	75.0	75.0	12.5	12.5	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
	ファミリー・サポート・センター (n=8)	75.0	62.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5

「民生委員・児童委員」、「ファミリー・サポート・センター」、「子ども未来応援センター」、「市役所の子育て関連窓口」、「その他（ベビーシッター等）」については回答が少なかったため、クロス集計表への掲載を省略しています。

問11 子育て(教育を含む)をするうえで、周囲(身近な人、市の窓口など)からどのようなサポートが欲しいと思いますか。ご自由にお書きください。(自由回答)

問11には793名の方からご意見をいただき、その内容としては最も多い分類から、「一時預かりなどの体制について」が223件、「お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて」が165件、「窓口や電話、メールなどでの相談について」が112件でした。全ての内訳は次のページに掲載の表の通りです。なお、複数のご意見をお書きいただいた方についてはその全ての分類についてカウントしているため、表中のご意見の合計数は932件となっています。

分類	ご意見の数
1. 保育園など、保育サービスについて	39件
2. 一時預かりなどの体制について	223件
3. 家事など、家庭内での子育てサポートについて	48件
4. お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて	165件
5. 講座やイベントなどの開催について	38件
6. 健康・保健・医療などについて	35件
7. 公園などの遊び場の充実について	27件
8. 子育てに寄り添う地域づくりについて	19件
9. 安心・安全な地域環境について	15件
10. 教育・習い事などについて	40件
11. クーポンや手当など経済的な支援について	42件
12. 窓口や電話、メールなどでの相談について	112件
13. 情報提供について	56件
14. その他のご意見	73件

以下に、自由回答のご意見を一部抜粋して上の表の分類ごとに掲載しています。掲載にあたって、文末・単語等で一部修正を加えさせていただいている箇所があります。

1. 保育園など、保育サービスについて(39件)

- ・ 保育園の枠を広げてほしいです。現在、仕事を探していても保育園への入園点数が足りない+途中入園は厳しいと思います。
- ・ 日曜日にも開園している保育園があると良い。
- ・ 保育園入園に関する情報提供をしてほしい（説明会等）。

2. 一時預かりなどの体制について(223件)

- ・ 短時間でも一時預かりができる場所が欲しい。幼稚園に入る前、保育園の一時預かりをしてほしい時がありましたが、定員オーバーでした。
- ・ もっと気軽に利用できる一時預かり。現状では直ぐに予約が一杯になってしまう。
- ・ ちょっとした用事がある時にすぐに預けられる場所があると助かります。

3. 家事など、家庭内での子育てサポートについて(48件)

- ・ 代金が発生しても良いので、家事や子の送迎を手伝ってくれる人。
- ・ 急用時に、家事等をサポートしてくれるボランティアがいると有り難い。
- ・ 家事全般をしてほしい。特に夕飯作りをお願いしたい。

(この他にも、子ども食堂なども含め、「夕食等の手助けに関して」が13件ありました。)

4. お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて(165 件)

- ・ パートをしていたのですが、子どもの急な発熱などの時に園や小学校に迎えに行ってくれる人がいると助かります。
- ・ 子どもの体調不良の際、仕事もしているのでインフルエンザ等長引く場合は面倒を見て貰えると助かります。
- ・ とくに夜間に自分(母が)が倒れた時などに、子どもを預けられる安心な場所が欲しい。

5. 講座やイベントなどの開催について(38 件)

- ・ 子育ての悩みを皆で共有し、解決できるような機会があればと思います。離乳食作りのイベントや皆で食事をする機会がもっとあるといいなと思いました。
- ・ 自宅から児童館へ行くには少し距離があるため運転ができない私にとっては子育てする環境が不便に感じています。公民館での子育てぴっぴは月 1 なので、色々な場所でイベントや支援をしていただけるようになると嬉しいです。
- ・ 子育てサロンなどのイベントがあるときは LINE などの SNS 等で知らせていただけるとすごく助かります。

6. 健康・保健・医療などについて(35 件)

- ・ 予防接種を忘れがちなので通知で知らせてくれると助かります。
- ・ 健診の間隔が開きすぎる。不安な事を健診で聞きたいのに、1 歳半~3 歳までない。
- ・ 日曜日、祝日に病院が開いていると助かります。特に連休、GWなど全ての病院が閉まっているのは不安です。

7. 公園などの遊び場の充実について(27 件)

- ・ 子どもの遊び場を増やしてほしい(児童館、公園)。おはなし会など。
- ・ 雨の日に子どもを連れて出掛ける場所が少なく、ひどく混雑する。屋外で良いのもっと屋根が有り、風が強くても遊べる場所を作ってほしい。児童館を増やしてほしい。
- ・ 公園に多目的トイレを設置してほしい。おむつ替え及び親のお手洗いが気軽にできるようにしてほしい。徒歩圏内にもっと公園(遊具が充実した)が欲しい。

8. 子育てに寄り添う地域づくりについて(19 件)

- ・ 公共の場で困っている時(エレベーターやスロープがなく、階段しかない、子どもを抱っこしていてベビーカーが畳めない等)に声をかけてくれると嬉しい。声をかけてくれると安心できたり、助けをお願いしたりできる。
- ・ 安心して子どもたちを遊ばせられる場所や環境の提供。日頃からのあいさつ(子どもが顔見知りになれる大人を増やしたい)。

9. 安心・安全な地域環境について(15 件)

- ・家の前の道路は交通量が多く、歩道と車道が近くて大人が歩いても大きなトラックが通るとヒヤッとすることがある。小、中学生の通学路でもある為、ガードレールの設置などしていただくと安心です。
- ・公園整備や道路、歩道など、手をつないで安全に生活できる街づくり。

10. 教育・習い事などについて(40 件)

- ・習い事をする時、個人でやっているのも含めて一覧表にしているものの配布や、相談できる窓口があると助かる。
- ・保育園での英語、体操などの習い事をサポートしてほしい。させたいけれども、させる日がないので平日の夕方にやって貰えると助かる。

11. クーポンや手当など経済的な支援について(42 件)

- ・金銭面で子育て世代への配慮を考えてほしい。子育て、特に教育に関わる経費をできるだけ無償化してもらいたい。
- ・他の県や市ではオムツのプレゼントがあると聞いたことが有り、そういったサポートがあると嬉しいです。

12. 窓口や電話、メールなどでの相談について(112 件)

- ・何かあった時に相談できる電話など。
- ・私は電話が好きな方ではないので、気軽にメールなどのサポートがあったらいいと思う。
- ・子ども同士の間人間関係に関する相談環境、SNSを含んで。
- ・こちらからの発信ではなく、定期的に状況を確認してくれるようなものがあると心強い。周りに緊急時以外頼るところがないと、どうしても孤独を感じてしまいやすい。自分から気にしなくても、気に掛けてもらえる環境はみんな求めていると思う。

13. 情報提供について(56 件)

- ・こんな制度がある、こんなコミュニケーションの場があるなど情報提供をしてほしい。
- ・「私の時はこうだった」という近い月齢の方からのアドバイスや実体験、家の近くの小児科等の口コミ情報。ネットで調べた物だけでなく、リアルな話が知りたい。
- ・市のホームページの充実が必要かと思います。富士見市内だけの事でいいので、BBQできる施設一覧、雨天時に遊べる施設、駅周辺の駐輪場、駐車場などの時間、場所、料金などが見えやすく検索できるホームページの作成をお願いします。

14. 其他のご意見(73 件)

行政手続きやサービス、立地などについて (20 件)

- ・ 子どもを連れて市役所などに行くのは大変なので、あらゆる書類が電子化されると助かる。
- ・ 妊娠届等の提出が健康増進センターになってしまい、市内 1 ヶ所しかないのは不便。

発育・障がいなどによる不安の解消について (8 件)

- ・ 発達に不安がある時、相談、診断できるところがほしい。
- ・ 発達障害について、市の相談窓口等探して相談していましたが、相談窓口の案内や案内ポスター等があまりなく分かりづらい。もっと目に止まる所にそういう案内があってほしいと思う。

特にない・満足している (29 件)

- ・ 今は充分サポートしていただいていると感じているので、特にこれ以上のサポートは求めている。子育てしやすい環境(地域)に満足・感謝しています。
- ・ 近くに子育て支援センターがあり、とても助かっています。

その他にも、家庭内での配偶者との育児に関わる役割分担についてや、「サポートはほしいが何がほしいか具体的には分からない」、などのご意見がありました。

3 保護者の就労状況

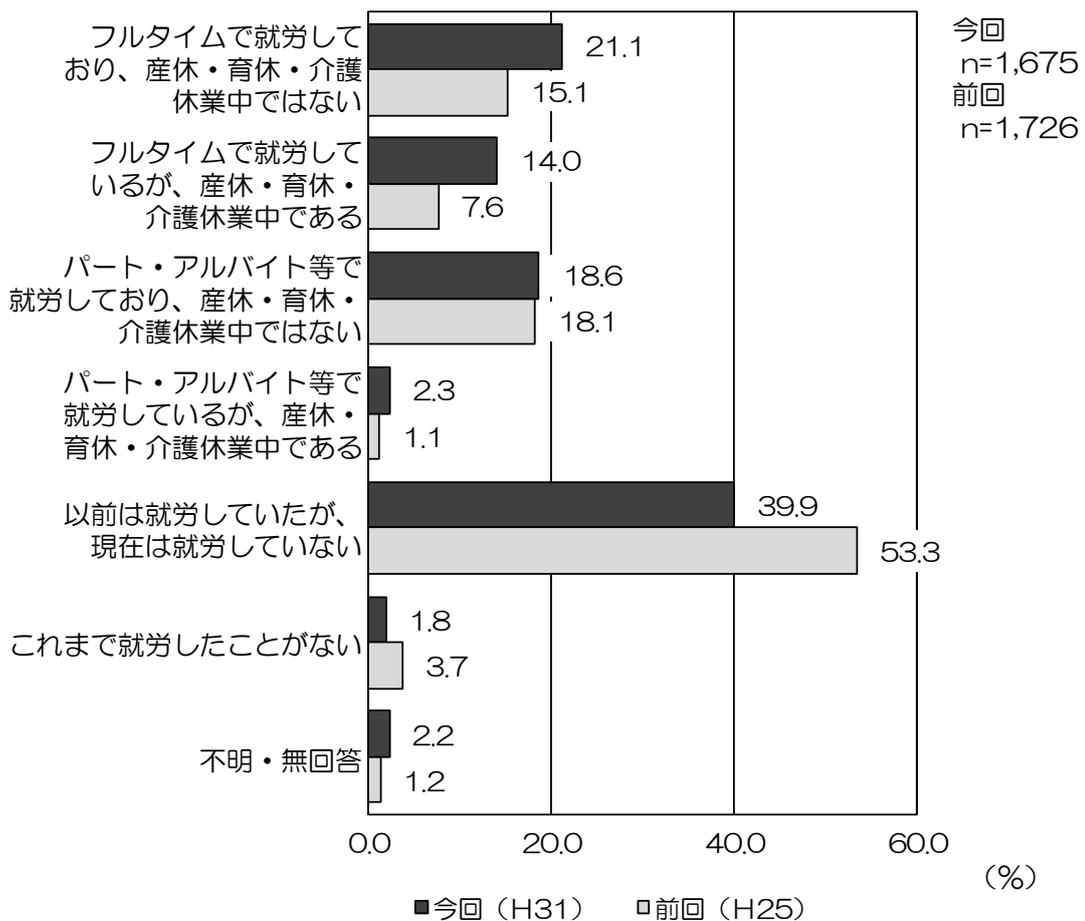
○この報告書とアンケートにおける「フルタイム」は「週5日かつ1日8時間程度の就労」を、「パート・アルバイト等」は上記の「フルタイム」以外の就労を表します。

問 12 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、あてはまるものを1つ選んでください。(単数回答)

(1)母親の就労状況

母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が39.9%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.1%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.6%となっています。

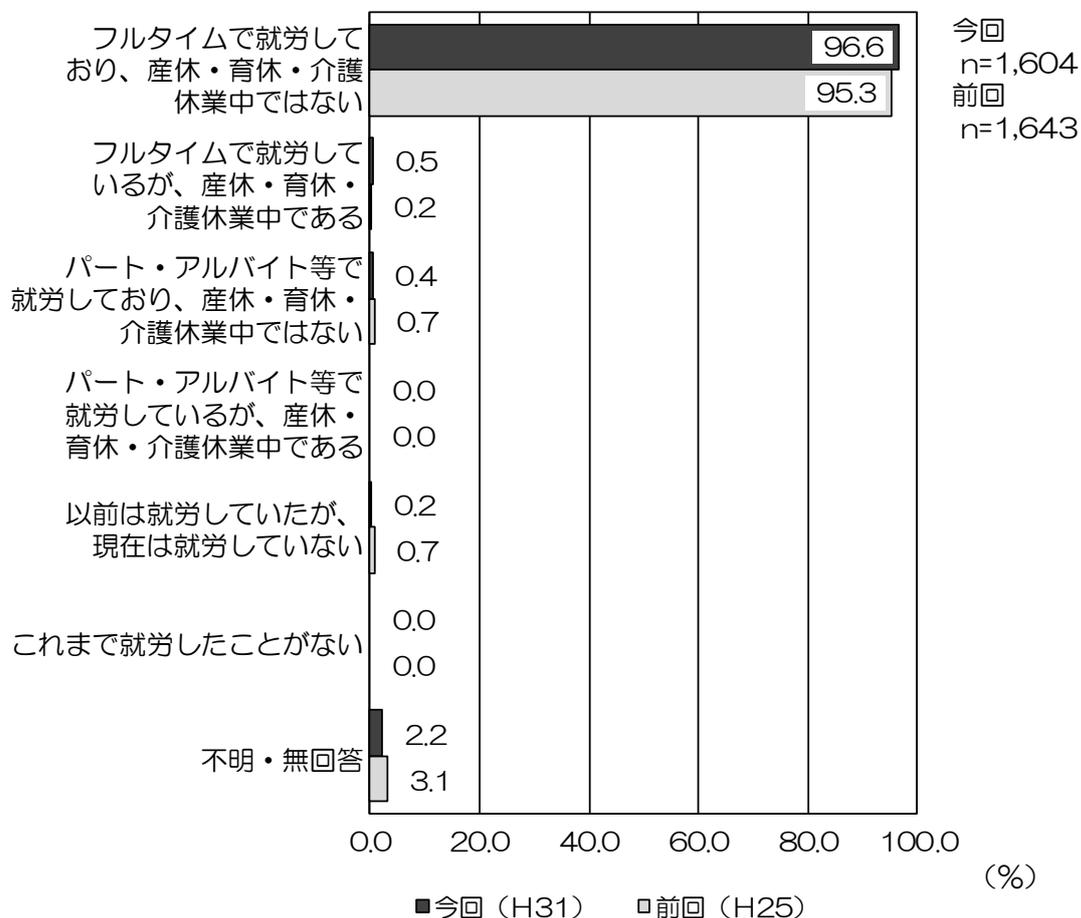
前回と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.4ポイント減少し、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」がそれぞれ6ポイント以上増加しています。



(2)父親の就労状況

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が96.6%と最も多くなっています。

前回と比較すると、ほぼ同様の傾向です。



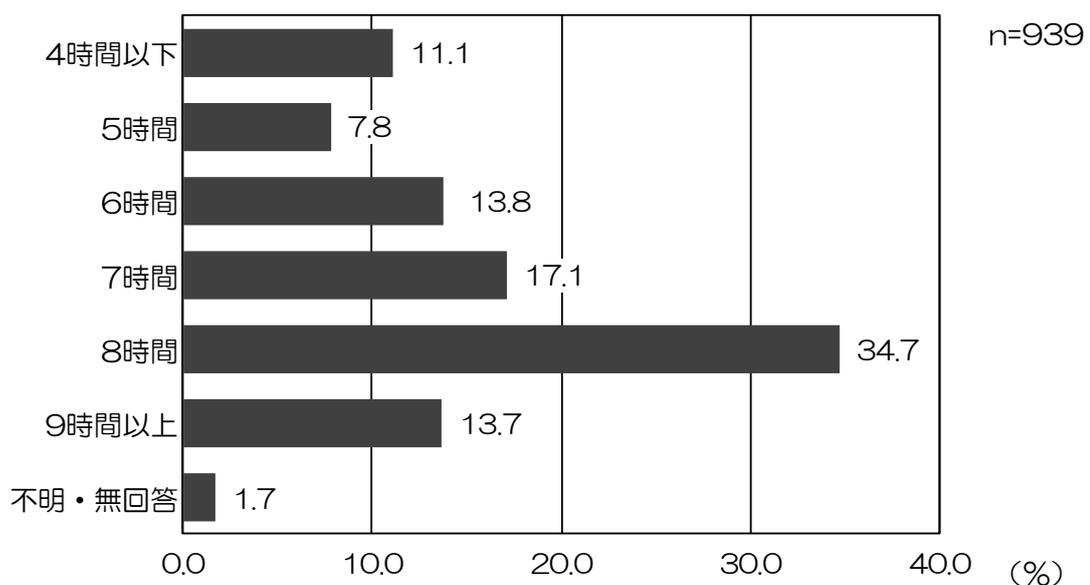
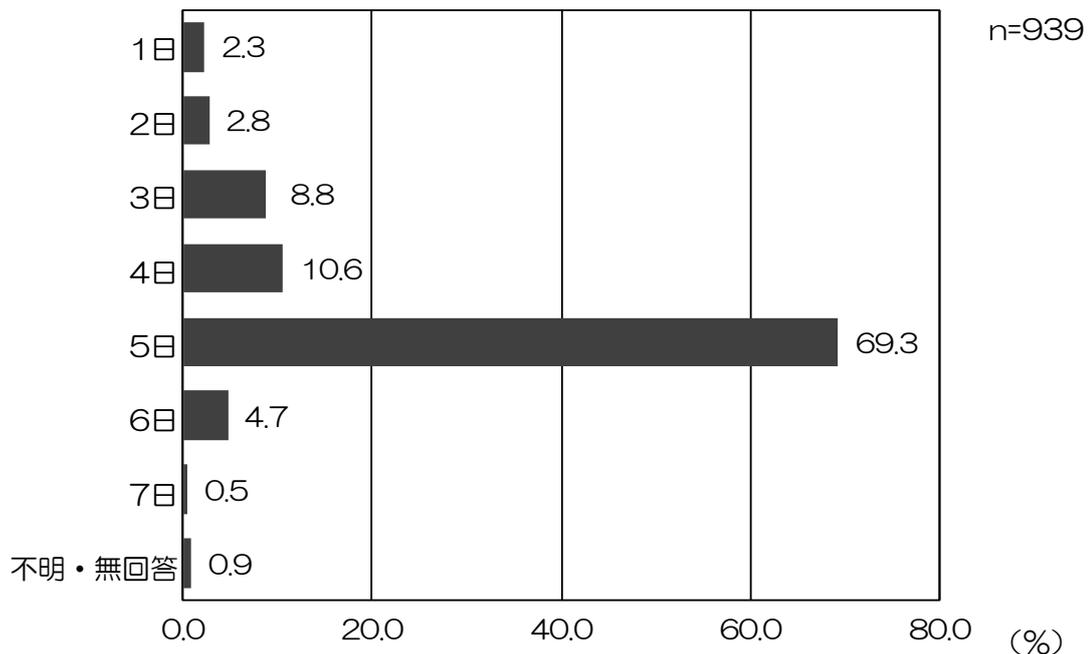
【問 12 で「1. 」から「4. 」まで(就労している)を選んだ方に伺います】

問 13 就労の状況(就労日数・就労時間)をお答えください。一定でない場合は最も多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業前の状況でお答えください。
(数量回答)

(1)母親の就労日数・時間

就労日数については、「5日」が69.3%と最も多く、次いで「4日」が10.6%、「3日」が8.8%となっています。

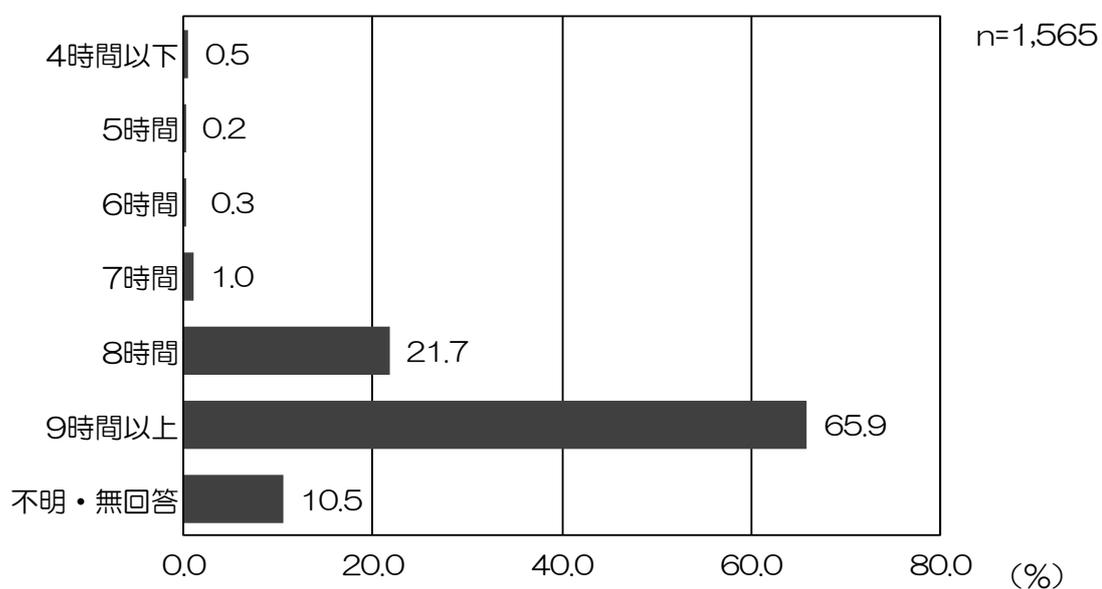
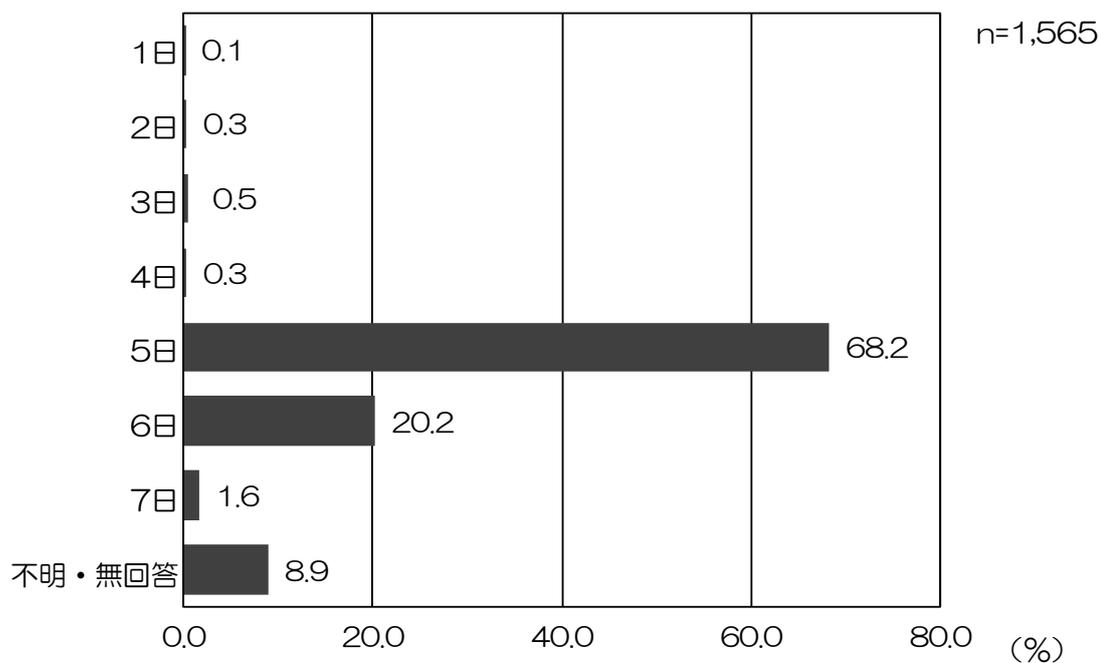
就労時間については「8時間」が34.7%と最も多く、次いで「7時間」が17.1%、「6時間」と「9時間以上」が13%台となっています。



(2)父親の就労日数・時間

就労日数については、「5日」が68.2%と最も多く、次いで「6日」が20.2%、「7日」が1.6%となっています。

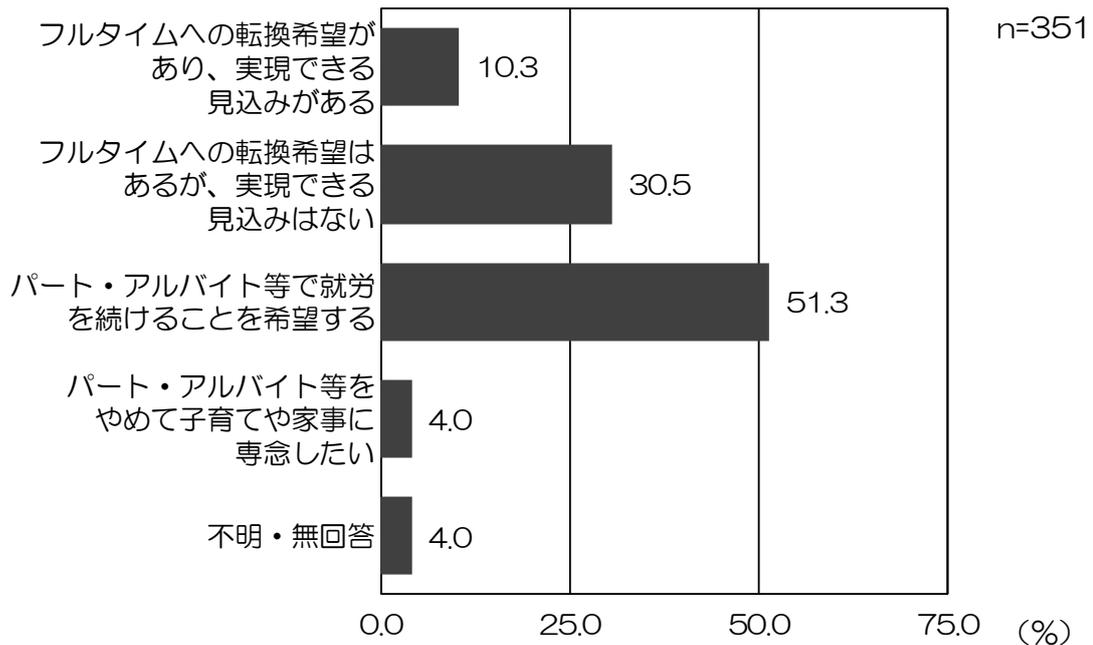
就労時間については「9時間以上」が65.9%と最も多く、次いで「8時間」が21.7%となっています。



【問 12 で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方に伺います】
 問 14 フルタイムへの転換希望はありますか。 (単数回答)

(1)母親のフルタイムへの転換希望

母親のパート・アルバイト等からの就労形態変更の希望については、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望する」が 51.3%と最も多くなっています。一方で、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の 30.5%と「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の 10.3%を合わせると 40.8%となります。



(2)父親のフルタイムへの転換希望

父親のパート・アルバイト等からの就労形態変更の希望については7件の有効回答があり、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4件で、「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」が3件となっています。(図省略)

【問 12 で「5.」「6.」(就労していない)を選んだ方に伺います】

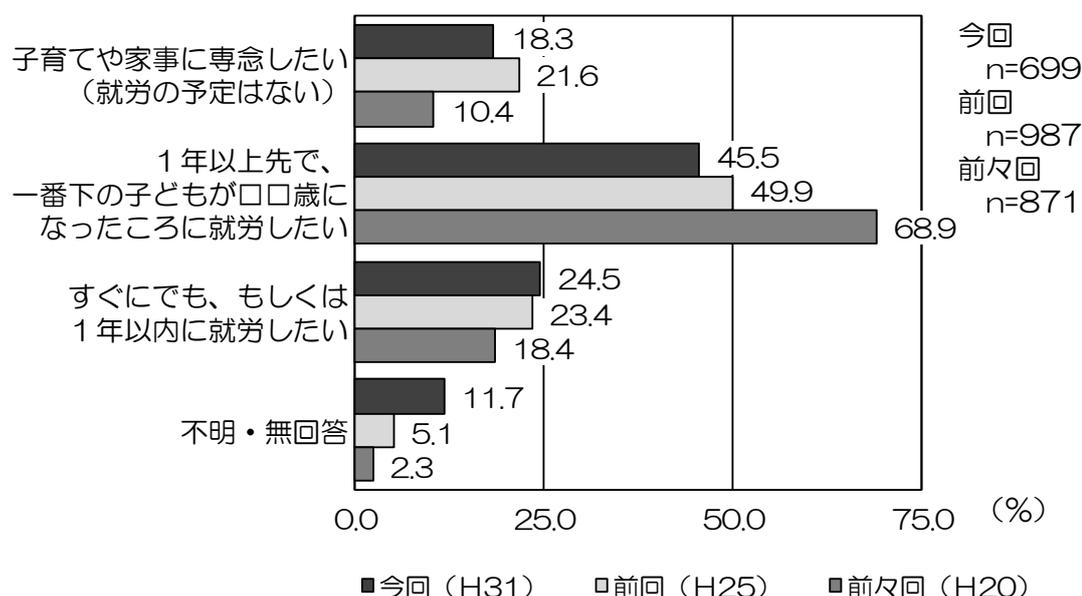
問 15 就労の希望はありますか。

(単数回答)

(1)働いていない母親の就労の希望

働いていない母親の就労の希望については、「1年以上先で、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が45.5%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が24.5%となっています。

前回、前々回と比較すると、「1年以上先で、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が3回の調査を通して減少し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3回の調査を通して増加しています。



(2)働いていない父親の就労の希望

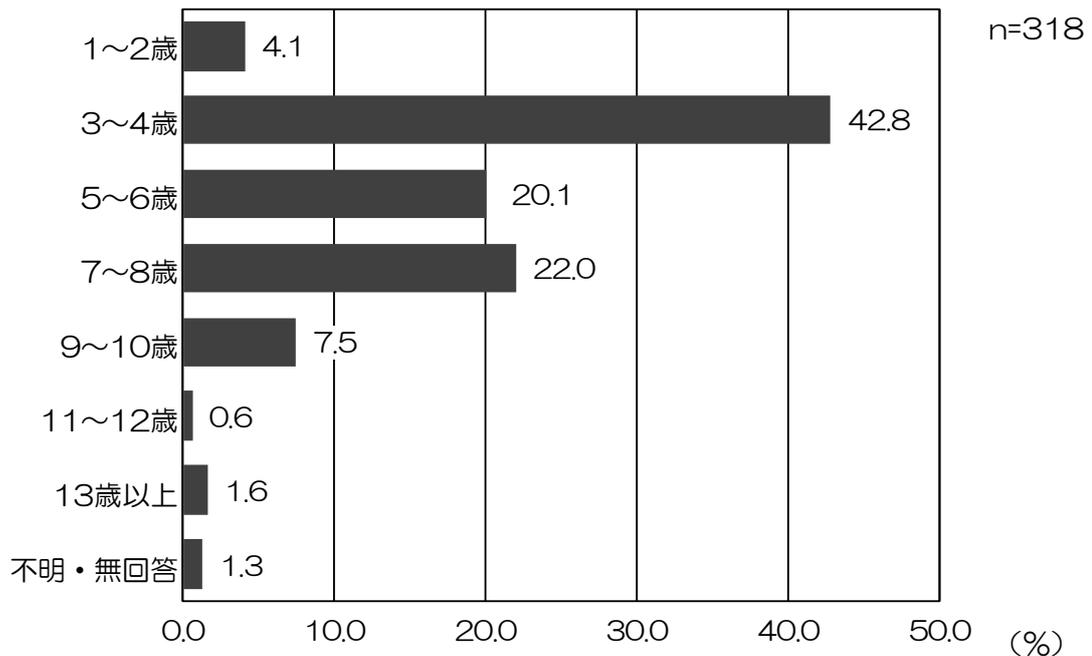
働いていない父親の就労の希望については4件の有効回答があり、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と「1年以上先で、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が2件ずつとなっています。(図省略)

【問 15 で「2. 」(1年以上先に、就労したい)を選んだ方に伺います】

問 15 一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。 (数量回答)

(1)母親が就労を希望する時の一番下の子どもの年齢

1年以上先に就労の希望がある母親が、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「3～4歳」が42.8%と最も多く、次いで「7～8歳」が22.0%、「5～6歳」が20.1%となっています。



(2)父親が就労を希望する時の一番下の子どもの年齢

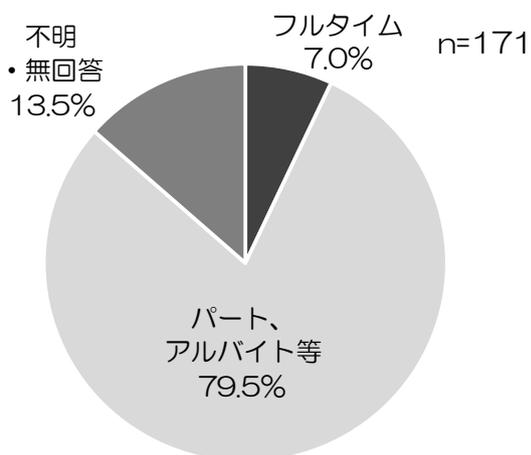
1年以上先に就労の希望がある父親が、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、2件の有効回答があり「5～6歳」と「7～8歳」が1件ずつとなっています。(図省略)

【問 15 で「3. 」(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)を選んだ方に伺います】

問 15 希望する就労形態を選んでください。 (単数回答)

(1)すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある母親が希望する就労形態

すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある母親が希望する就労形態については、「パート、アルバイト等」が79.5%、「フルタイム」は7.0%となっています。



(2)すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある父親が希望する就労形態

すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある父親が希望する就労形態については、2件の有効回答があり、「フルタイム」が2件となっています。(図省略)

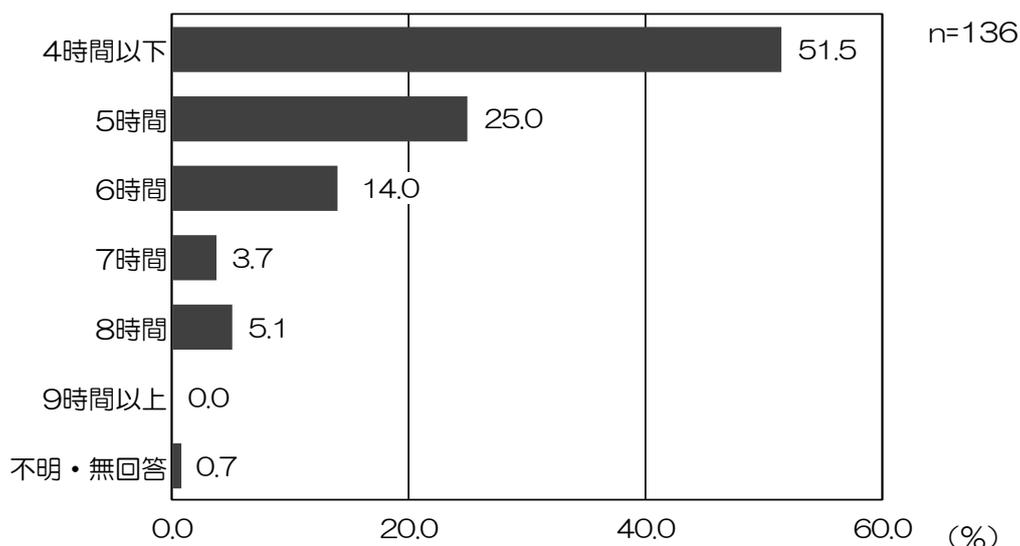
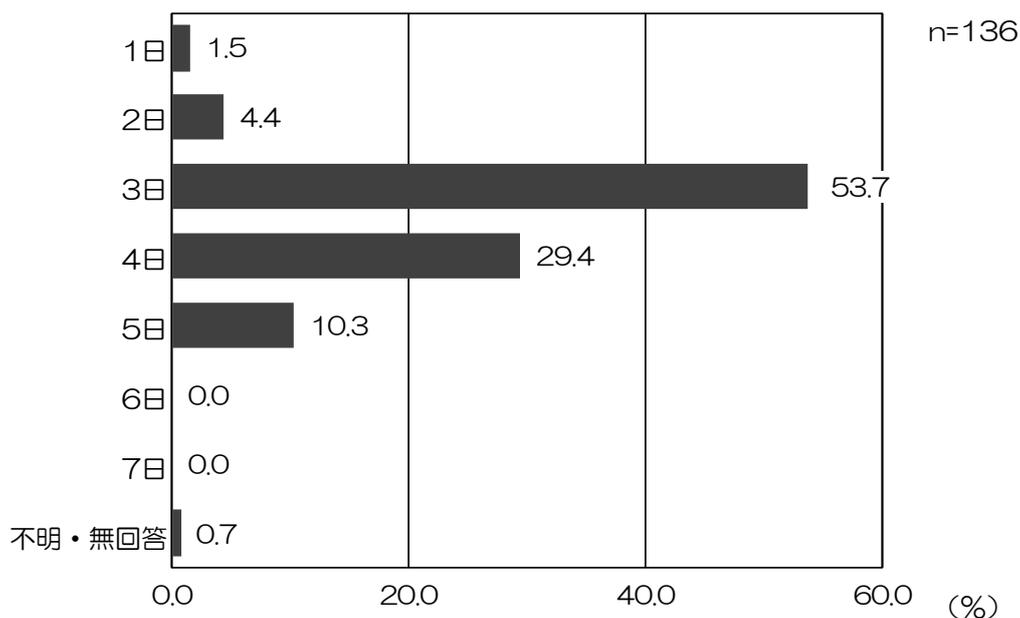
【問 15 の希望する就労形態で「イ.」(パート・アルバイト等)を選んだ方に伺います】

問 15 希望する週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間をお答えください。

(数量回答)

(1)パート・アルバイト等での就労を希望する母親の就労日数と時間の希望

パート・アルバイト等での就労を希望する母親の週当たりの就労日数の希望については、「3日」が53.7%と最も多く、次いで「4日」が29.4%、「5日」が10.3%となっています。1日当たりの就労時間の希望については、「4時間以下」が51.5%と最も多く、次いで「5時間」が25.0%、「6時間」が14.0%となっています。



(2)パート・アルバイト等での就労を希望する父親の就労日数と時間の希望

パート・アルバイト等での就労を希望する父親については、有効回答がありませんでした。

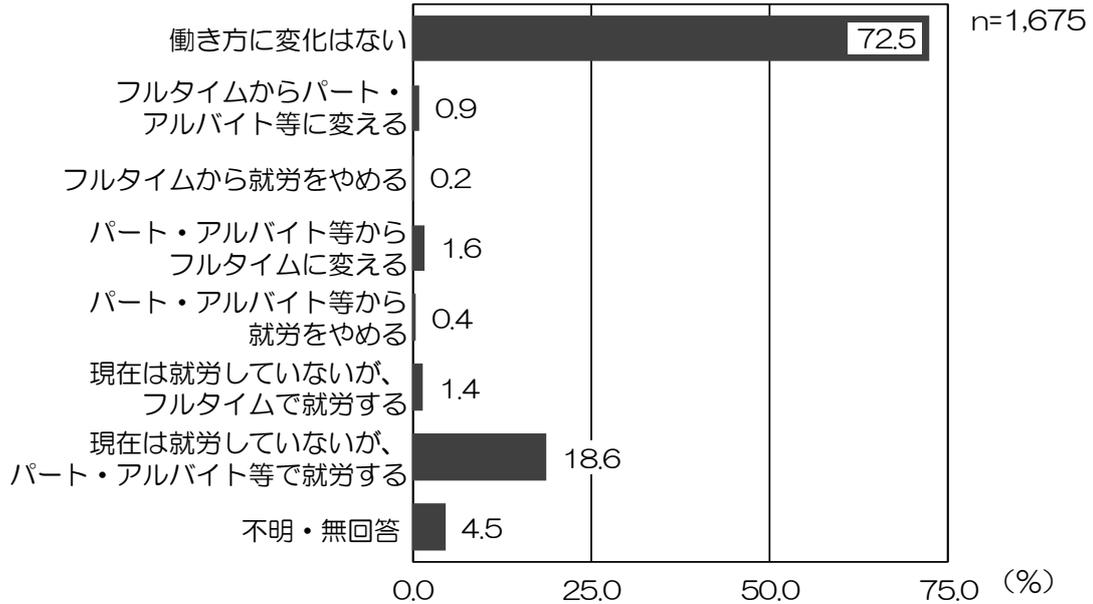
(図省略)

【全員に伺います】

問 16 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、保護者の働き方は変わりますか。
 あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

(1)母親の無償化が実施された場合の働き方の変化

幼児教育・保育の無償化が実施された場合の母親の働き方の変化については、「働き方に変化はない」が72.5%と最も多く、次いで「現在は就労していないが、パート・アルバイト等で就労する」が18.6%となっています。



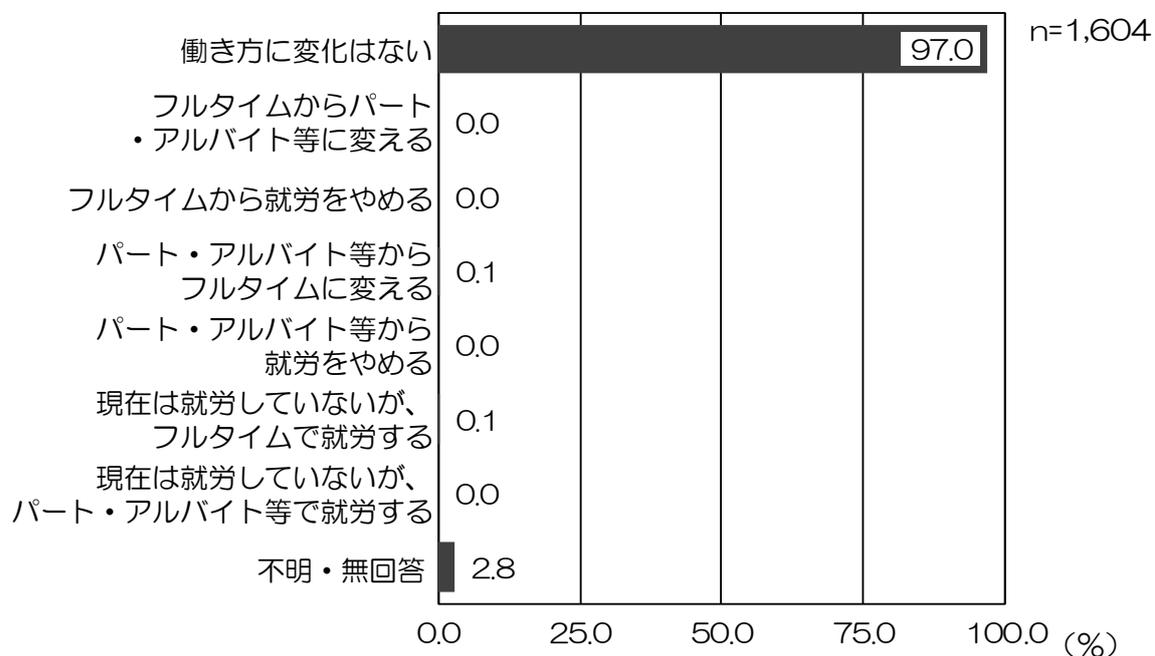
◆クロス集計 問 16×問 12(母親の就労形態)

母親の現在の就労形態別で見ると、現在就労している方については全ての区分で「働き方に変化はない」が7割を超えています。一方で、『以前は就労していたが、現在は就労していない』と『これまで就労したことがない』では、「現在は就労していないが、パート・アルバイト等で就労する」が4割以上と多くなっています。

(単位：%)	変働 化 は な い	等 パ フ ル に フル 変 ト え ・ イ る ア ム ル カ バ ラ イ ト	就 フル を タ イ ム を や め ム か ら	変 等 パ え か ら ト フ ・ イ る ア ム ル カ バ ラ イ ト	等 パ か ら ト フ ・ イ る ア ム ル カ バ ラ イ ト	就 が フル を タ イ ム で 就 労 す る	現 在 は 就 労 し て い ない が 、 フル タ イ ム で 就 労 す る	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 等 で 就 労 す る	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,675)	72.5	0.9	0.2	1.6	0.4	1.4	18.6	4.5	
フルタイムで就労、産休・育休・介護休業中ではない (n=354)	98.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である (n=234)	93.2	4.3	1.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.9	
パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中ではない (n=312)	92.0	0.0	0.0	5.4	1.6	0.0	0.0	1.0	
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である (n=39)	74.4	2.6	0.0	15.4	0.0	0.0	2.6	5.1	
以前は就労していたが、現在は就労していない (n=669)	46.5	0.0	0.0	0.3	0.1	3.3	43.5	6.3	
これまで就労したことがない (n=30)	46.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	46.7	3.3	

(2)父親の無償化が実施された場合の働き方の変化

幼児教育・保育の無償化が実施された場合の父親の働き方の変化については、「働き方に変化はない」が97.0%と最も多くなっています。



■幼児教育・保育の無償化とは

(平成31年1月時点の状況であり、今後変更の可能性があります)

国は、令和元(2019)年10月から次のような無償化を実施する予定です。

- ・ 幼稚園：家庭の所得に関わりなく月額25,700円を上限に保育料を無償化
- ・ 保育所：
 - 3～5歳児は家庭の所得に関わりなく保育料を無償化
 - 0～2歳児は市民税非課税世帯の保育料を無償化
- ・ 認定こども園、地域型保育、企業主導型保育：幼稚園、保育所を利用する場合と同じ
- ・ 幼稚園の預かり保育：保育の必要性の認定を受けた場合、幼稚園に加え、利用実態に応じて、月額11,300円までの範囲で無償化
- ・ 認可外保育施設等：
 - 保育の必要性の認定を受けた場合、3～5歳児は月額37,000円を上限に保育料を無償化
 - 保育の必要性の認定を受けた場合、0～2歳児は市民税非課税世帯について、月額42,000円を上限に保育料を無償化
- ※認可外保育施設等はファミリー・サポート・センターなどを含む
- ・ 就学前の障害児の発達支援：保育料を無償化
- ※幼稚園、保育所、認定こども園等と発達支援の両方を利用する場合は、ともに無償化

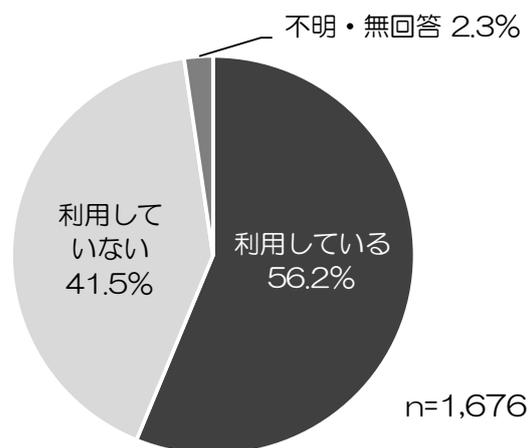
4 平日の施設（事業）の利用状況

問17 平日、お子さんは定期的はどこかの施設(事業)を利用していますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

(単数回答)

平日、定期的(継続的)に利用している事業の有無については、「利用している」が56.2%と「利用していない」の41.5%を上回っています。



◆クロス集計 問17×問2・問12(年齢・親の就労分類)

年齢別でみると、「利用していない」が『0歳』では7割台、『1歳』、『2歳』では5割台と多くなっていますが、『3歳』以上では「利用している」が9割以上と多くなっています。

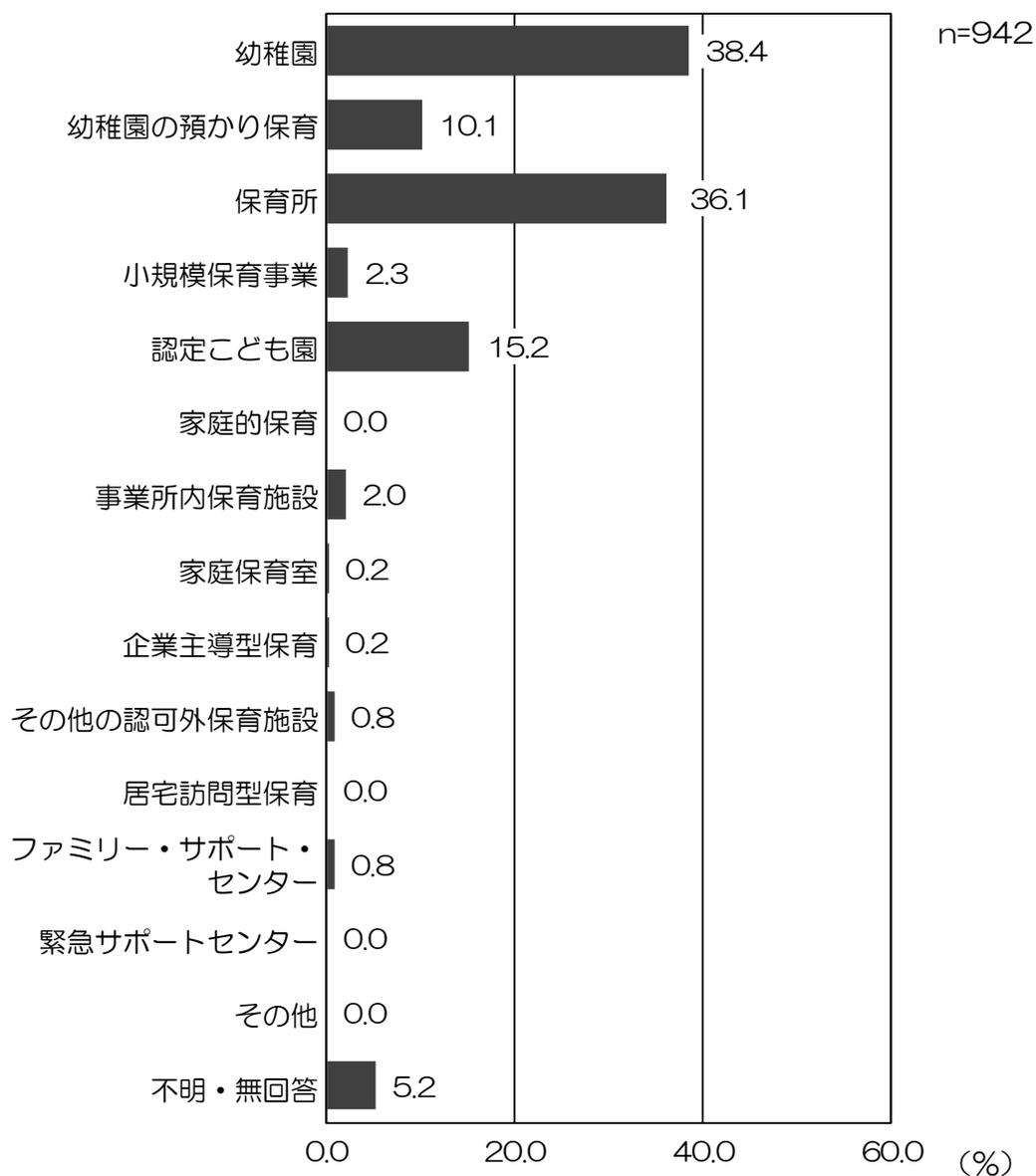
親の就労分類別でみると、『その他』以外の全ての区分で「利用している」が多くなっていますが、その割合については『ひとり親』、『フルタイム×パート』で7割台、『フルタイム×フルタイム』、『就労×専業主婦/主夫』で5割台と開きがあります。

(単位：%)		利用している	利用していない	不明・無回答
全体 (n=1676)		56.2	41.5	2.3
問2 年齢別	0歳 (n=540)	20.2	78.5	1.3
	1歳 (n=227)	44.5	53.3	2.2
	2歳 (n=241)	46.9	51.0	2.1
	3歳 (n=216)	93.5	3.2	3.2
	4歳 (n=220)	95.9	2.3	1.8
	5歳 (n=222)	91.4	5.0	3.6
問12 親の就労分類別	ひとり親 (n=29)	71.6	24.3	4.1
	フルタイム×フルタイム (n=130)	52.1	45.0	2.9
	フルタイム×パート (n=104)	72.6	24.3	3.0
	就労×専業主婦/主夫 (n=169)	50.7	48.3	1.0
	その他 (n=10)	44.7	48.9	6.4

【問 17 で「1. 」(利用している)を選んだ方に伺います】

問 18 どのような施設(事業)を利用していますか。定期的(継続的)に利用しているものをすべて選んでください。(複数回答)

平日、定期的(継続的)に利用している事業の種類については、「幼稚園」が38.4%と最も多く、次いで「保育所」が36.1%、「認定こども園」が15.2%となっています。



◆クロス集計 問18×問2・問12(年齢・親の就労分類)

年齢別でみると、『2歳』以下では「保育所」、「小規模保育事業」が、『3歳』以上では「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」が、それぞれ全体と比較して多い傾向が見られます。

親の就労分類別でみると、『ひとり親』と『フルタイム×パート』で「幼稚園」が、『フルタイム×フルタイム』と『就労×専業主婦/主夫』で「保育所」がそれぞれ最も多くなっています。

(単位：%)		幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	小規模保育事業	認定こども園	事業所内保育施設	家庭保育室	企業主導型保育	その他の保育施設	ファミリー・センター
全体 (n=942)		38.4	10.1	36.1	2.3	15.2	2.0	0.2	0.2	0.8	0.8
問2 年齢別	0歳 (n=109)	6.4	0.9	41.3	8.3	16.5	10.1	0.9	0.9	2.8	1.8
	1歳 (n=101)	2.0	1.0	55.4	6.9	18.8	2.0	1.0	0.0	2.0	3.0
	2歳 (n=113)	15.9	3.5	57.5	4.4	14.2	1.8	0.0	0.9	0.9	0.9
	3歳 (n=202)	47.5	11.9	29.2	0.5	18.3	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0
	4歳 (n=211)	55.5	18.0	29.9	0.0	12.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	5歳 (n=203)	59.6	13.3	24.6	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0
問12 親の就労 分類別	ひとり親 (n=53)	41.5	13.2	34.0	1.9	17.0	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9
	フルタイム×フルタイム (n=287)	31.4	8.4	37.3	3.1	19.2	1.7	0.7	0.3	0.3	1.4
	フルタイム×パート (n=239)	46.9	12.1	30.1	2.1	15.1	2.5	0.0	0.0	0.4	0.4
	就労×専業主婦/主夫 (n=342)	37.7	9.6	39.2	1.8	12.0	2.0	0.0	0.3	1.5	0.6
	その他 (n=21)	42.9	9.5	42.9	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「家庭的保育」、「居宅訪問型保育」、「緊急サポートセンター」、「その他」については回答がなかったため、クロス集計表への掲載を省略しています。

問 19 問 18 で選んだ施設(事業)をどのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

複数利用している場合は合算した内容でご記入ください。

① 週当たり日数 (数量回答)

【希望については「現在と希望の形態が異なる」と答えた方のみ回答】

現在の週当たりの利用日数については、「5日」が85.5%と最も多く、次いで「6日」と「4日」が3%台となっています。希望については「6日」、「7日」で現在を上回っています。

(単位：%)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
現在 (n=942)	1.5	1.0	2.7	3.6	85.5	3.8	0.2	1.8
希望 (n=173)	0.6	0.6	1.2	2.9	79.8	8.1	2.9	4.0

② 1日当たり時間 (数量回答)

【希望については「現在と希望の形態が異なる」と答えた方のみ回答】

現在の1日当たりの利用時間については、「8時間以上」が50.7%と最も多く、次いで「5時間」が22.7%、「6時間」が11.9%となっています。希望については、「6時間」、「7時間」、「8時間以上」で現在を上回っています。

(単位：%)	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	不明・無回答
現在 (n=942)	0.8	1.3	0.7	2.2	22.7	11.9	4.9	50.7	4.7
希望 (n=173)	0.0	0.0	0.6	0.6	1.7	23.1	16.8	54.9	2.3

③ 事業利用の開始時刻 (数量回答)

【希望については「現在と希望の形態が異なる」と答えた方のみ回答】

現在の事業利用の開始時刻については、「8時」が41.2%と最も多く、次いで「9時」が32.6%となっています。希望では「9時」で6ポイント以上現在を上回っています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	不明・無回答
現在 (n=942)	0.0	14.4	41.2	32.6	3.1	0.2	0.1	1.1	7.3
希望 (n=173)	1.2	11.0	39.3	39.3	1.7	0.6	0.6	0.0	6.4

④ 事業利用の終了時刻 (数量回答)

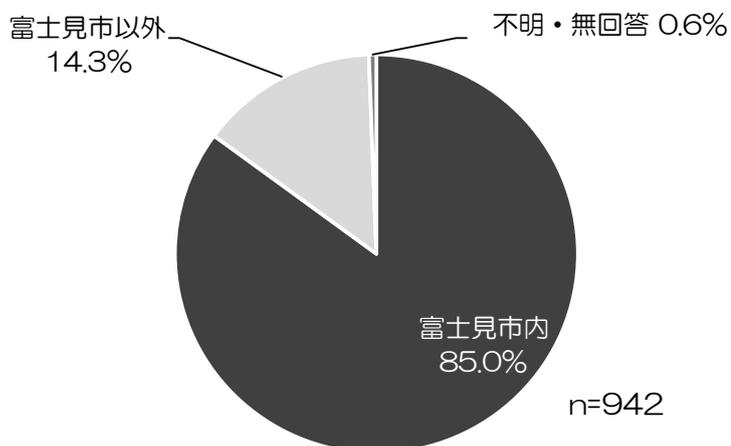
【希望については「現在と希望の形態が異なる」と答えた方のみ回答】

現在の終了時刻については、「14時」が29.0%と最も多く、次いで「18時」が23.2%となっています。希望では「15時」が27.2%と最も多く、次いで「16時」が22.5%となっています。また、「20時以降」についても6ポイント以上現在を上回っています。

(単位：%)	13時以前	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
現在 (n=942)	2.1	29.0	7.4	11.3	15.7	23.2	3.8	0.1	7.3
希望 (n=173)	0.6	2.3	27.2	22.5	20.2	9.2	5.2	6.9	5.8

**問 20 現在利用している施設(事業)はどこにありますか。あてはまるものを1つ
選んでください。 (単数回答)**

現在利用している施設(事業)の所在地については、「富士見市内」が85.0%と「富士見市以外」の14.3%を上回っています。



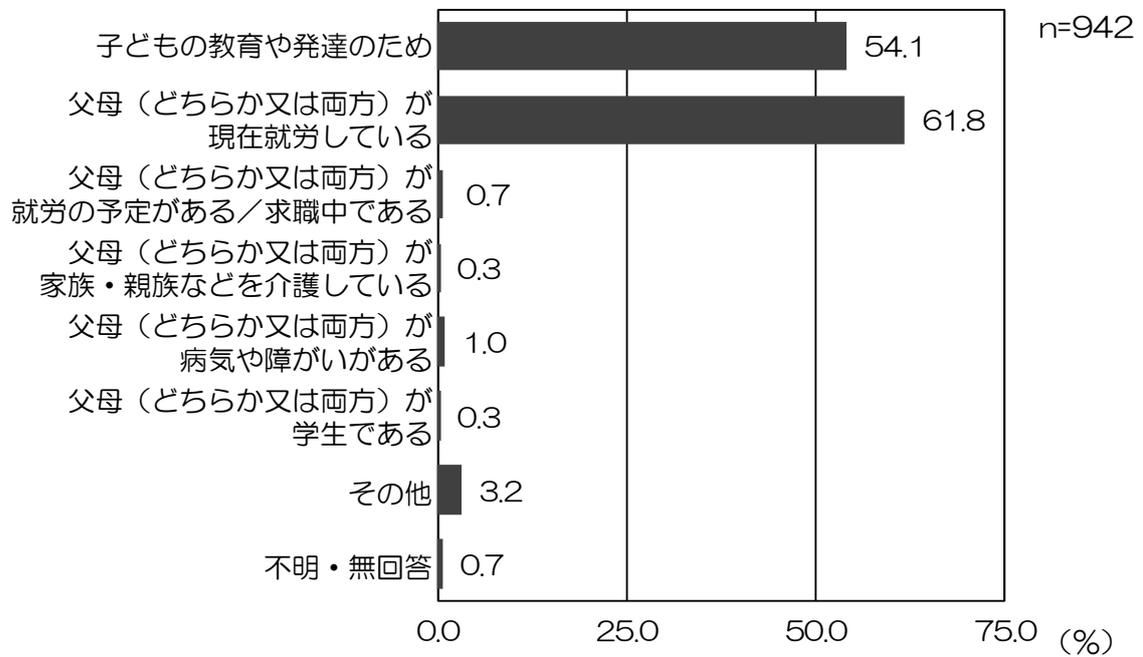
◆クロス集計 問 20×問1(地区)

地区別でみると、全ての地区で「富士見市内」が「富士見市以外」より多くなっていますが、『ふじみ野』では「富士見市以外」も32.4%となっています。

(単位：%)	富士見市内	富士見市以外	不明・無回答
全体 (n=942)	85.0	14.3	0.6
鶴瀬・鶴馬 (n=261)	90.4	8.8	0.8
上沢 (n=128)	82.8	17.2	0.0
南畑 (n=44)	95.5	4.5	0.0
ふじみ野 (n=145)	66.9	32.4	0.7
水谷 (n=163)	95.1	4.9	0.0
みずほ台 (n=187)	81.3	17.1	1.6

**問 21 問 18 で選んだ施設(事業)を利用している理由は何ですか。あてはまるものを
すべて選んでください。 (複数回答)**

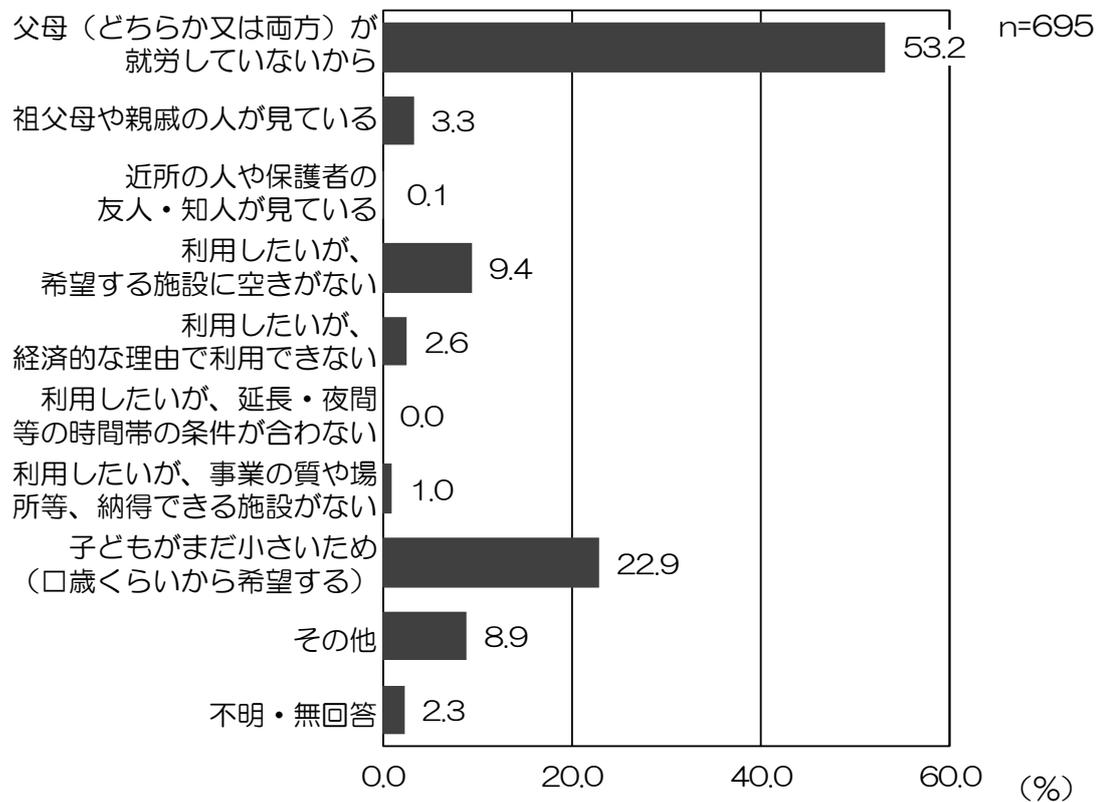
事業を利用している理由については、「父母（どちらか又は両方）が現在就労している」が61.8%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.1%となっています。



【問 17 で「2. 」(利用していない)を選んだ方に伺います】

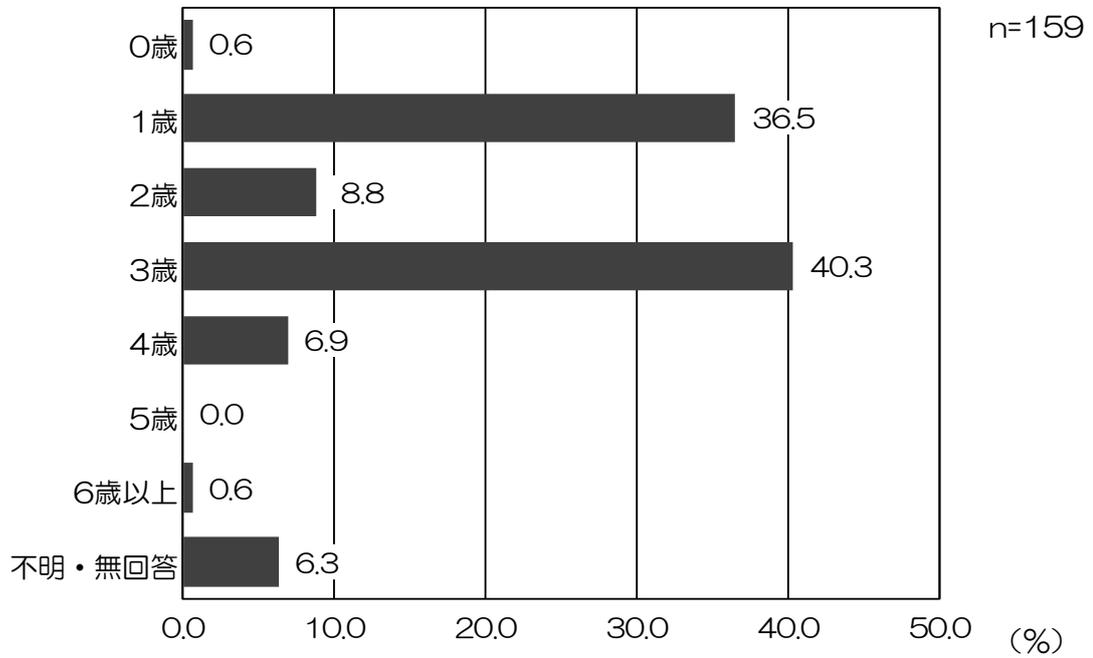
問 22 定期的に施設(事業)を利用していない理由は何ですか。 (単数回答)

事業を利用していない理由については、「父母(どちらか又は両方)が就労していないから」が53.2%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が22.9%、「利用したいが、希望する施設に空きがない」が9.4%となっています。



**問 22 「子どもがまだ小さいため」を選んだ方に伺います。子どもが何歳になったら
利用を希望しますか。 (数量回答)**

子どもが何歳になったら利用を希望するかについては、「3歳」が40.3%と最も多く、次いで「1歳」が36.5%、「2歳」が8.8%となっています。



【全員に伺います】

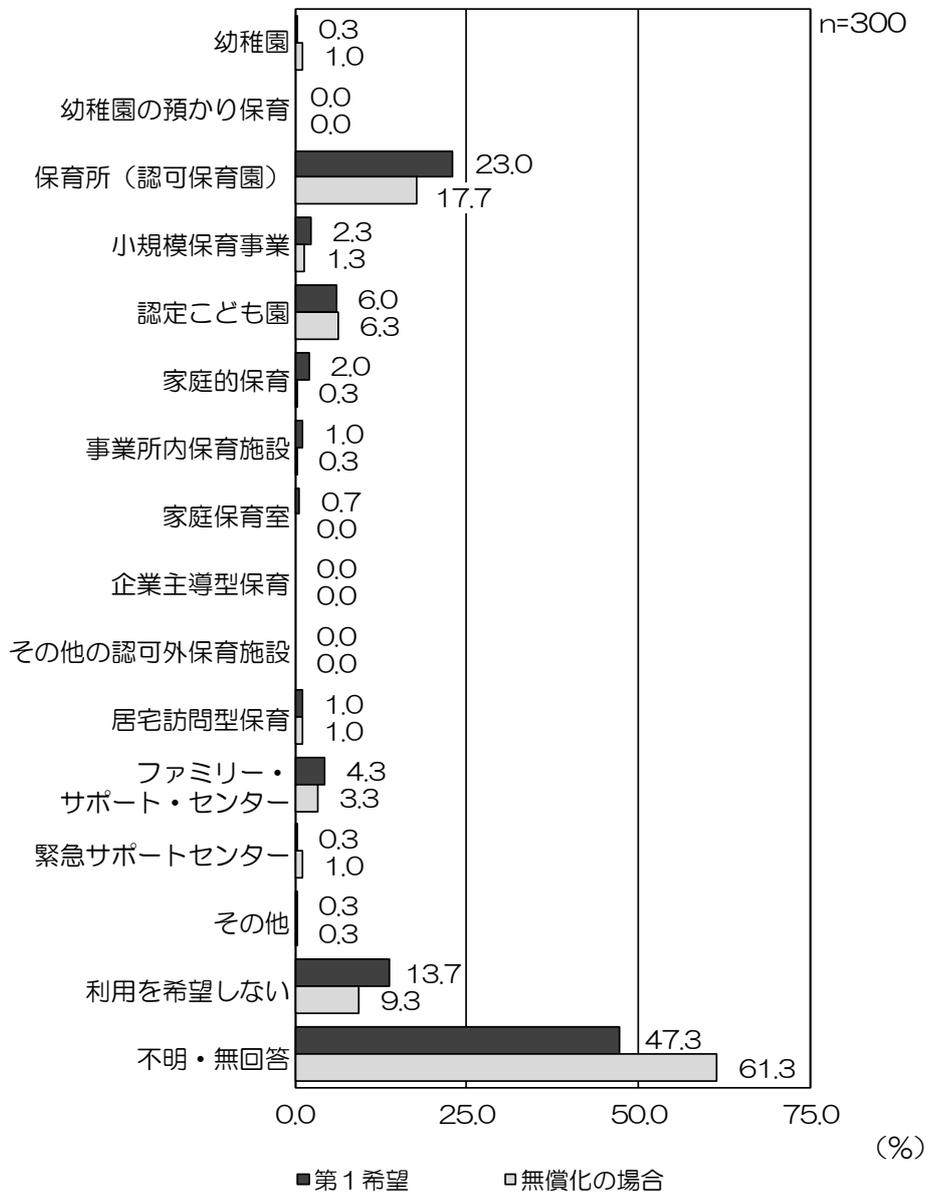
問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を、お子さんの年齢ごとに2つまで選び、回答欄に数字をご記入ください。

また、現在国で検討を進めている「幼児教育・保育無償化」が実現した場合の希望についても、お答えください。

なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかります。

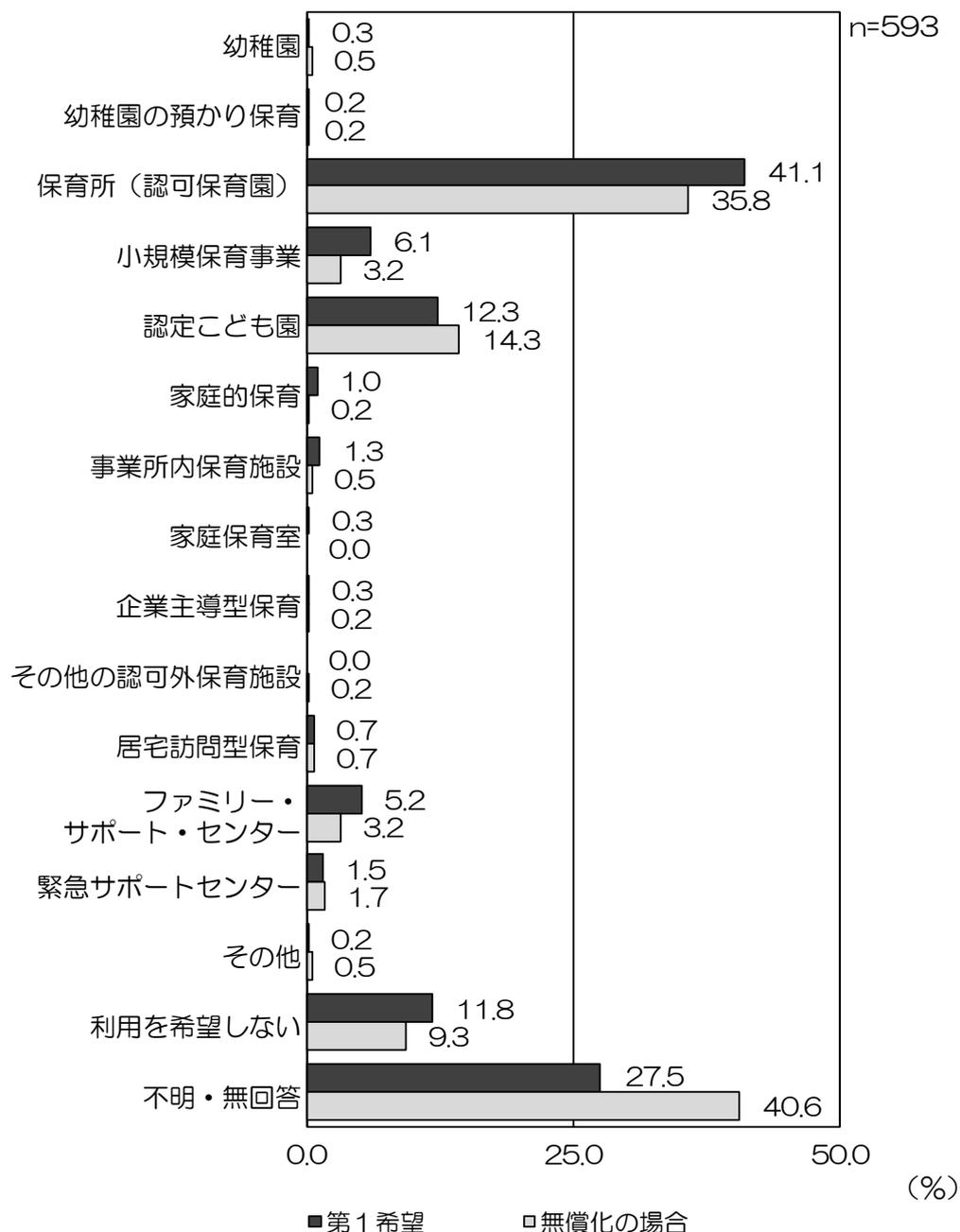
① 0歳のときに利用したい事業

お子さんが0歳の時に利用したい事業については、「保育所（認可保育園）」が23.0%と最も多く、次いで「利用を希望しない」が13.7%となっています。無償化の際の希望についても「保育所（認可保育園）」が17.7%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



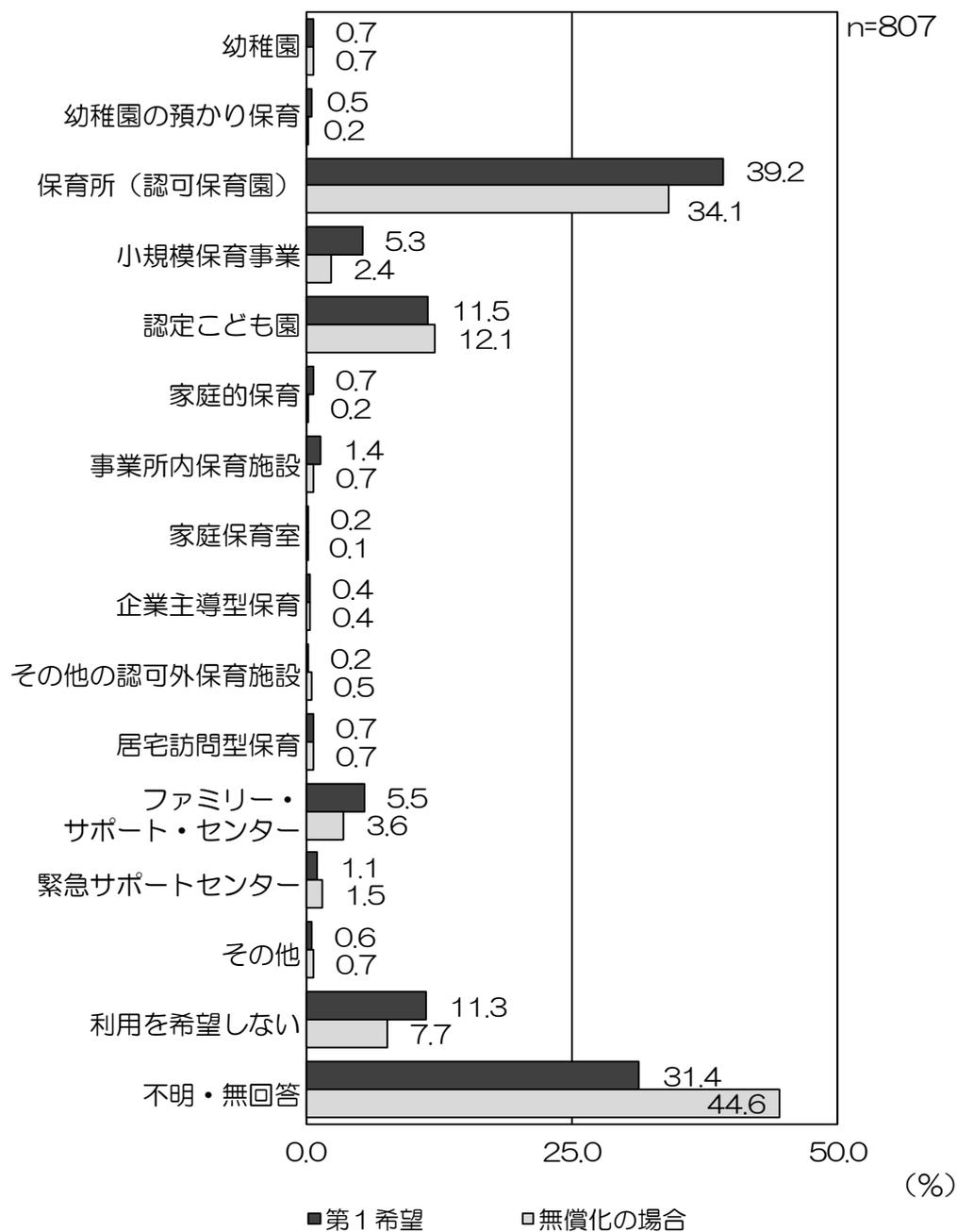
② 1歳のときに利用したい事業

お子さんが1歳の時に利用したい事業については、「保育所（認可保育園）」が41.1%と最も多く、次いで「認定こども園」が12.3%、「利用を希望しない」が11.8%となっています。無償化の際の希望についても「保育所（認可保育園）」が35.8%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



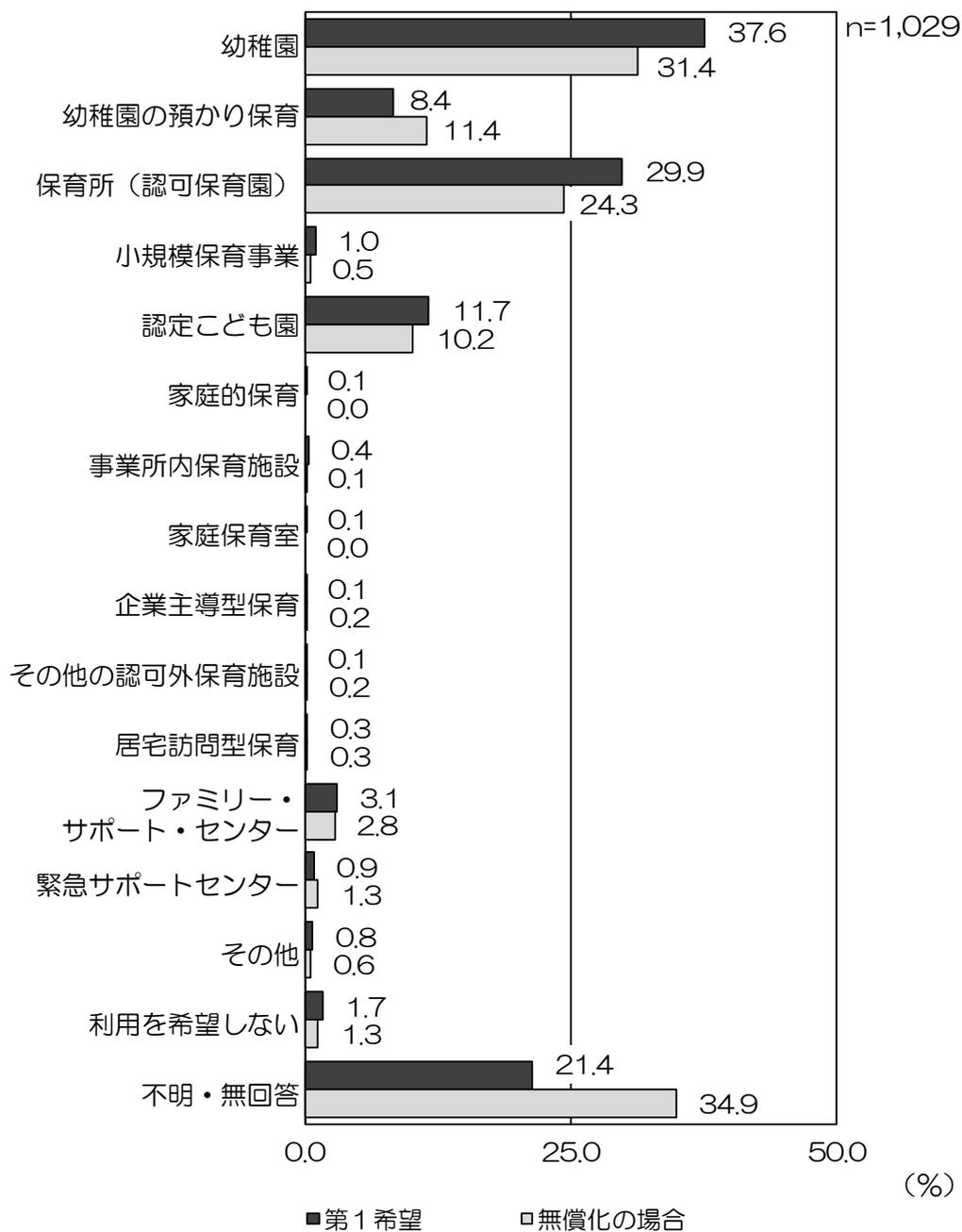
③ 2歳のときに利用したい事業

お子さんが2歳の時に利用したい事業については、「保育所（認可保育園）」が39.2%と最も多く、次いで「認定こども園」が11.5%、「利用を希望しない」が11.3%となっています。無償化の際の希望についても「保育所（認可保育園）」が34.1%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



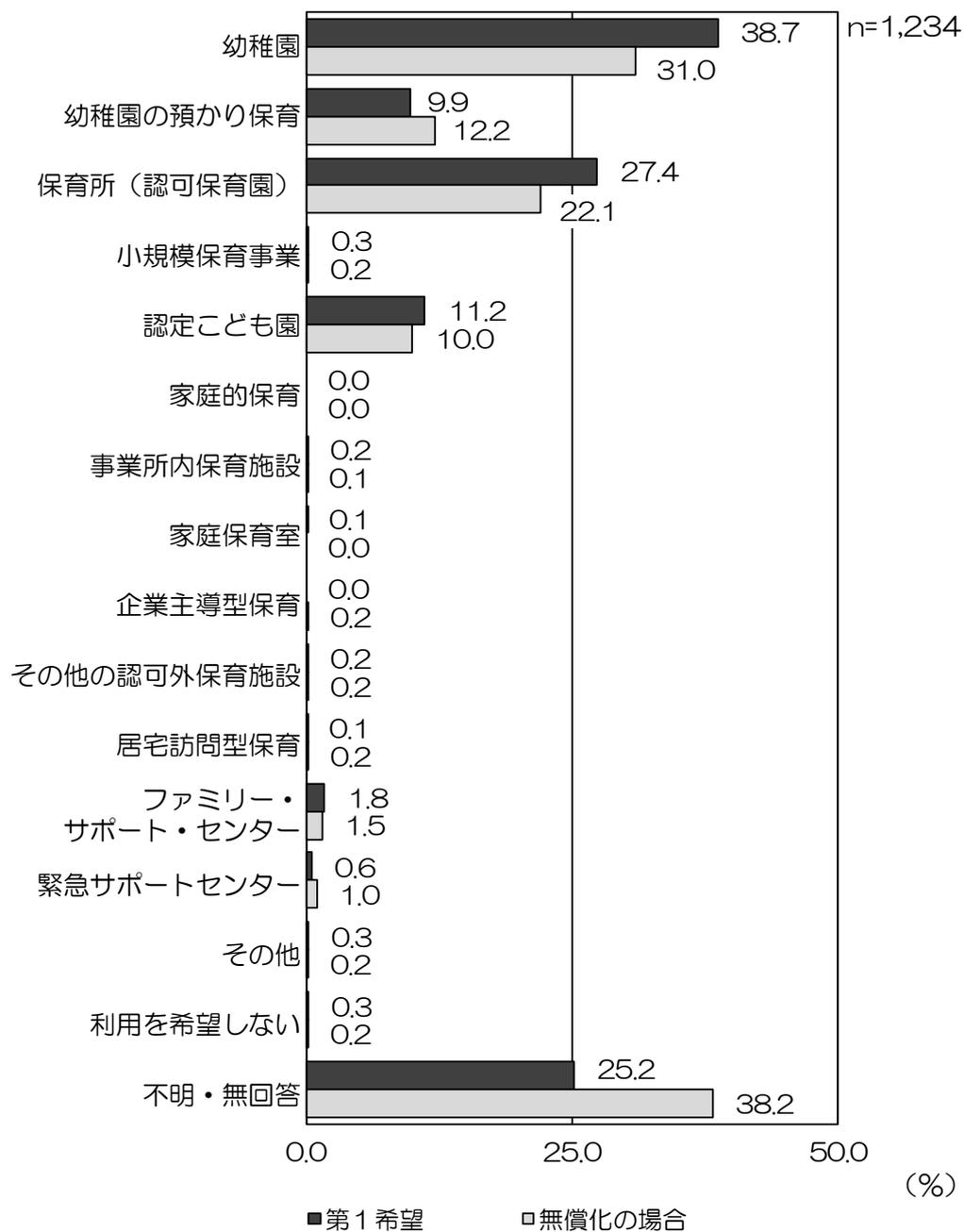
④ 3歳のときに利用したい事業

お子さんが3歳の時に利用したい事業については、「幼稚園」が37.6%と最も多く、次いで「保育所（認可保育園）」が29.9%、「認定こども園」が11.7%となっています。無償化の際の希望についても「幼稚園」が31.4%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



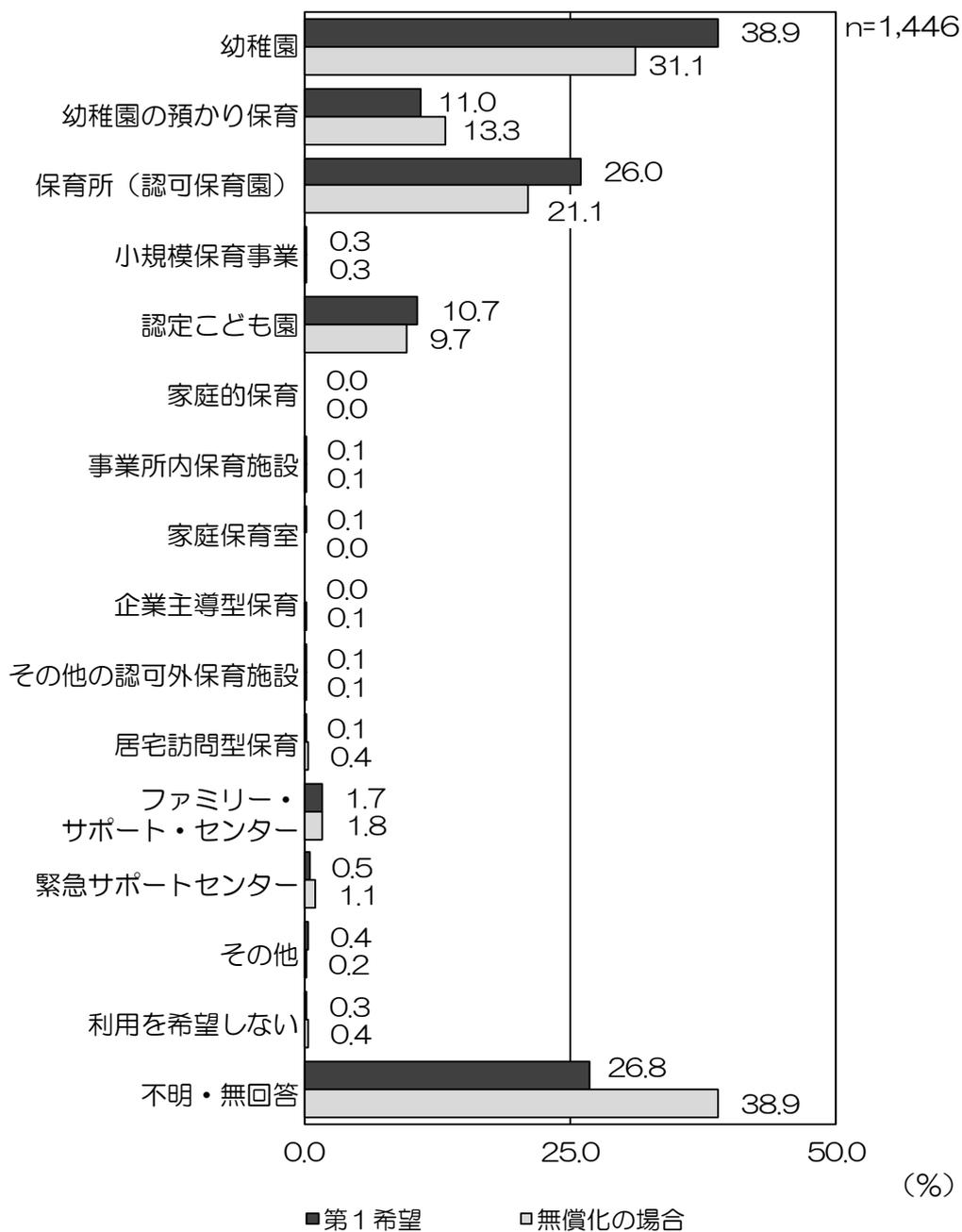
⑤ 4歳のときに利用したい事業

お子さんが4歳の時に利用したい事業については、「幼稚園」が38.7%と最も多く、次いで「保育所（認可保育園）」が27.4%、「認定こども園」が11.2%となっています。無償化の際の希望についても「幼稚園」が31.0%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



⑥ 5歳のときに利用したい事業

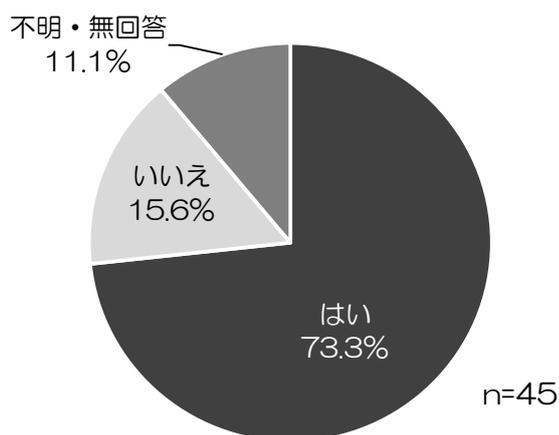
お子さんが5歳のときに利用したい事業については、「幼稚園」が38.9%と最も多く、次いで「保育所（認可保育園）」が26.0%、「幼稚園の預かり保育」が11.0%となっています。無償化の際の希望についても「幼稚園」が31.1%と最も多く、おおむね現状での希望と同じような傾向となっています。



【問 23 の第1希望で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園の預かり保育」を選び、かつ「3. 保育所(認可保育園)」から「14. その他」までのいずれかを選んだ方に伺います】

問 24 幼稚園(幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む)の利用を特に希望しますか。 (単数回答)

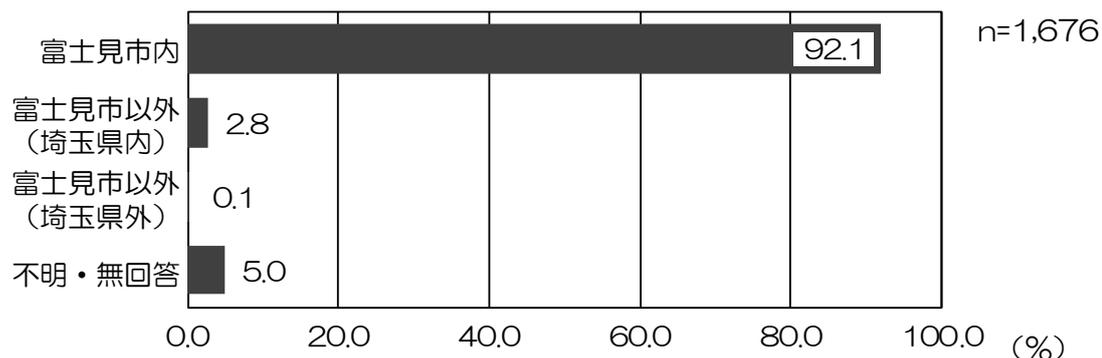
幼稚園を特に希望するかについては、「はい」が73.3%と「いいえ」の15.6%を上回っています。



【全員に伺います】

問 25 平日「定期的に」利用したいと考える施設(事業)はどこにあれば良いと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

利用する施設(事業)の希望の場所については、「富士見市内」が92.1%と最も多くなっています。

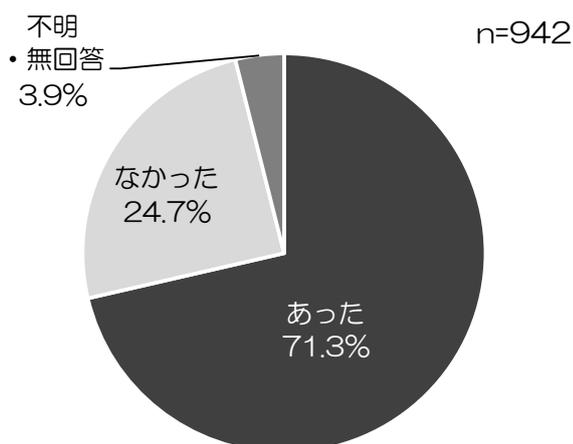


5 お子さんが病気の時の対応

【平日、幼稚園・保育園等を利用している方に伺います】

問 26 お子さんが病気やケガで、最近1年間で施設(事業)を利用できなかったことはありますか。 (単数回答)

お子さんの病気やケガで、定期的に利用している施設(事業)が利用できなかったことがあるかについては、「あった」が71.3%と「なかった」の24.7%を上回っています。



◆クロス集計 問 26×問 2・問 12(年齢・親の就労分類)

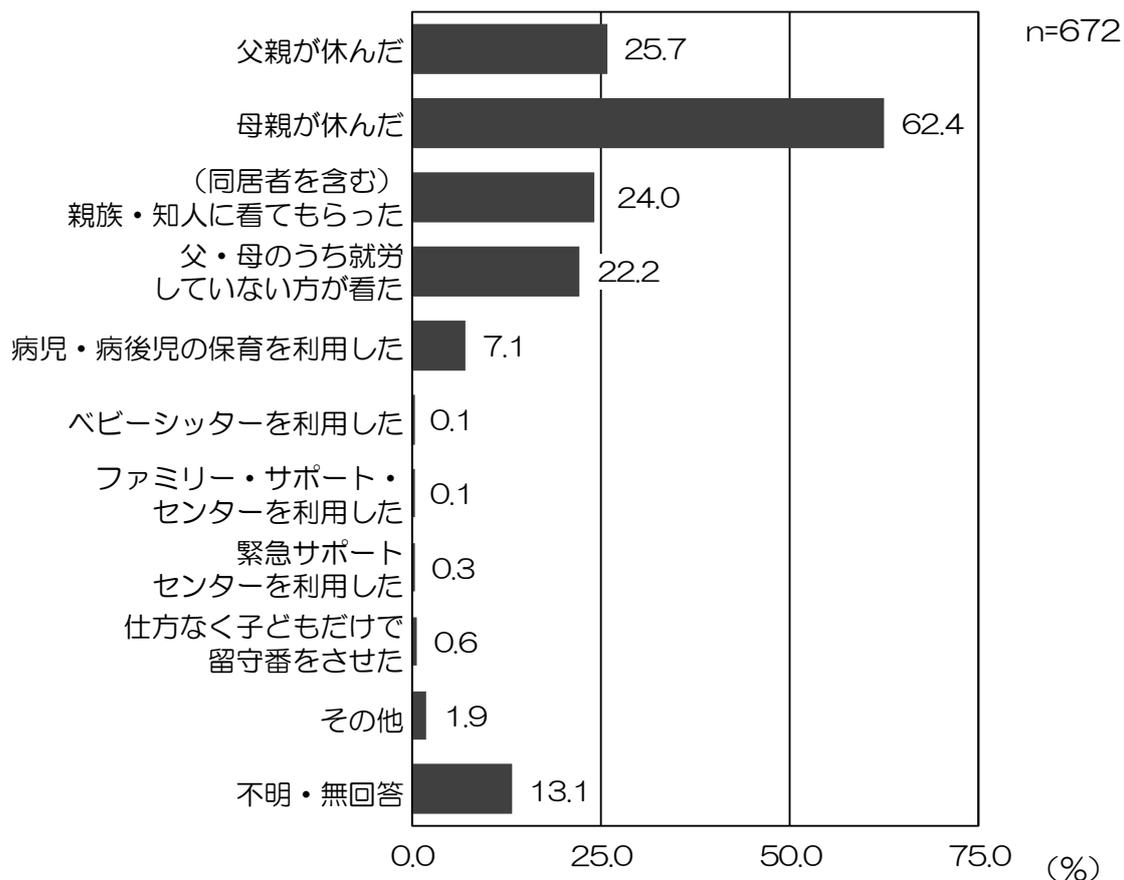
年齢別・親の就労分類別で見ると、全ての区分で「あった」が「なかった」より多くなっています。その中で、「なかった」の割合は、「5歳」で34.0%、「0歳」で33.0%と他の区分より多くなっています。

(単位：%)		あった	なかった	・不明 無回答
全体 (n=942)		71.3	24.7	3.9
問 2 年齢別	0歳 (n=109)	55.0	33.0	11.9
	1歳 (n=101)	84.2	9.9	5.9
	2歳 (n=113)	74.3	20.4	5.3
	3歳 (n=202)	74.8	23.3	2.0
	4歳 (n=211)	75.4	22.3	2.4
	5歳 (n=203)	64.5	34.0	1.5
問 12 親の就労 分類別	ひとり親 (n=53)	73.6	26.4	0.0
	フルタイム×フルタイム (n=287)	66.9	26.1	7.0
	フルタイム×パート (n=239)	74.1	23.8	2.1
	就労×専業主婦/主夫 (n=342)	72.5	24.0	3.5
	その他 (n=21)	76.2	23.8	0.0

【問 26 で「1. 」(あった)を選んだ方に伺います】

問 27 お子さんが病気やケガで、最近1年間で施設(事業)を利用できなかった時に、
 どのように対応しましたか。あてはまるものをすべて選び、それぞれ日数もご記入
 ください。 (複数回答)

お子さんが病気やケガで、定期的に利用している施設(事業)が利用できなかった時の対応については、「母親が休んだ」が62.4%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が25.7%、「(同居者を含む)親族・知人に看てもらった」が24.0%となっています。



問 27 それぞれの対処をした日数について

(数量回答)

日数については、「母親が休んだ」、「父・母のうち就労していない方が見た」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」、「その他」で「9日以上」が最も多くなっています。一方で、「病児・病後児の保育を利用した」については6日以内が87.5%となっています。

(単位：%)	父親が休んだ	母親が休んだ	看親(へ同居者を含む)も知らずに	方就父 方が 母の いない	保病 育児 を・ 利用 後 した	利バ 用し た シ ッ タ ー を	セサ ンポ ター を 利用 した	フア ミリ ー・ セ ン タ ー を 利用 した	セ緊 ン急 ター を 利用 した	留子 守方 番なく をさ せて だけ で	そ の 他
	n=173	n=419	n=161	n=149	n=48	n=1	n=1	n=2	n=4	n=13	
1~2日	44.5	15.3	29.2	14.1	50.0	0.0	100.0	100.0	0.0	23.1	
3~4日	16.2	13.4	15.5	14.1	22.9	100.0	0.0	0.0	0.0	15.4	
5~6日	23.1	16.2	23.0	18.8	14.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	
7~8日	4.0	10.3	2.5	8.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
9日以上	9.2	41.3	25.5	38.3	4.2	0.0	0.0	0.0	75.0	30.8	
不明・無回答	2.9	3.6	4.3	6.0	4.2	0.0	0.0	0.0	25.0	15.4	

◆クロス集計 問 27×問2・問 12(年齢・親の就労分類)

年齢別・親の就労分類別でみると、全ての区分で「母親が休んだ」が最も多くなっています。その中で、「病児・病後児の保育を利用した」が『1歳』と『2歳』、『ひとり親』で1割を超え、他の区分より多くなっています。

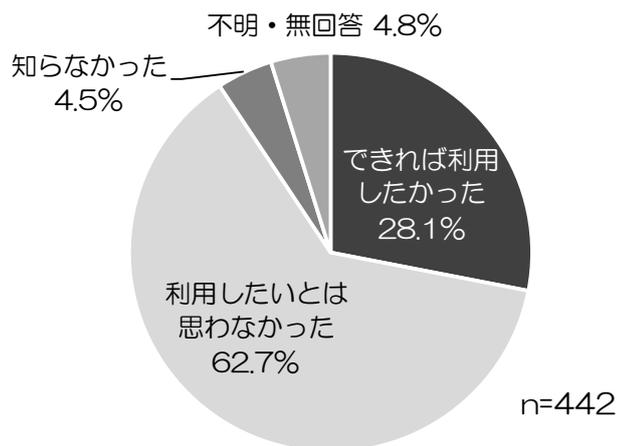
なお、クロス集計表には回答が2件以上あった選択肢について掲載しています。

(単位：%)		父親が休んだ	母親が休んだ	親(へ同居者を含む)も知らずに	就父 労・ 母の いない 方が 見た	利病 用し た 病 後 児 の 保 育 を	利緊 用し した 急 サ ポ ー ト セ ン タ ー を	留子 守方 番なく をさ せて だけ で	そ の 他	
		n	n	n	n	n	n	n	n	
全体		(n=672)	25.7	62.4	24.0	22.2	7.1	0.3	0.6	1.9
問2 年齢別	0歳	(n=60)	43.3	75.0	26.7	8.3	5.0	1.7	0.0	3.3
	1歳	(n=85)	32.9	81.2	41.2	4.7	11.8	0.0	0.0	1.2
	2歳	(n=84)	34.5	77.4	25.0	9.5	14.3	0.0	1.2	3.6
	3歳	(n=151)	23.2	53.0	25.8	30.5	7.3	0.0	0.0	0.7
	4歳	(n=159)	16.4	52.8	17.6	29.6	1.9	0.6	0.6	2.5
	5歳	(n=131)	20.6	57.3	16.8	29.0	6.1	0.0	1.5	1.5
問12 親の就労 分類別	ひとり親	(n=53)	20.5	71.8	28.2	20.5	12.8	0.0	0.0	0.0
	フルタイム×フルタイム	(n=287)	28.6	65.6	23.4	17.2	7.8	0.5	0.0	3.1
	フルタイム×パート	(n=239)	23.7	55.4	20.3	26.0	4.5	0.0	1.7	2.3
	就労×専業主婦/主夫	(n=342)	26.2	63.3	26.6	23.4	8.1	0.4	0.4	1.2
	その他	(n=21)	18.8	62.5	18.8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問 27 で「1. 」(父親が休んだ)または「2. 」(母親が休んだ)を選んだ方に伺います】

問 28 お子さんが病気やケガで施設(事業)を利用できなかった際、病児・病後児の保育を利用したいと思いましたか。1つ選び、希望する日数及び時間もご記入ください。なお、施設の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(単数回答)

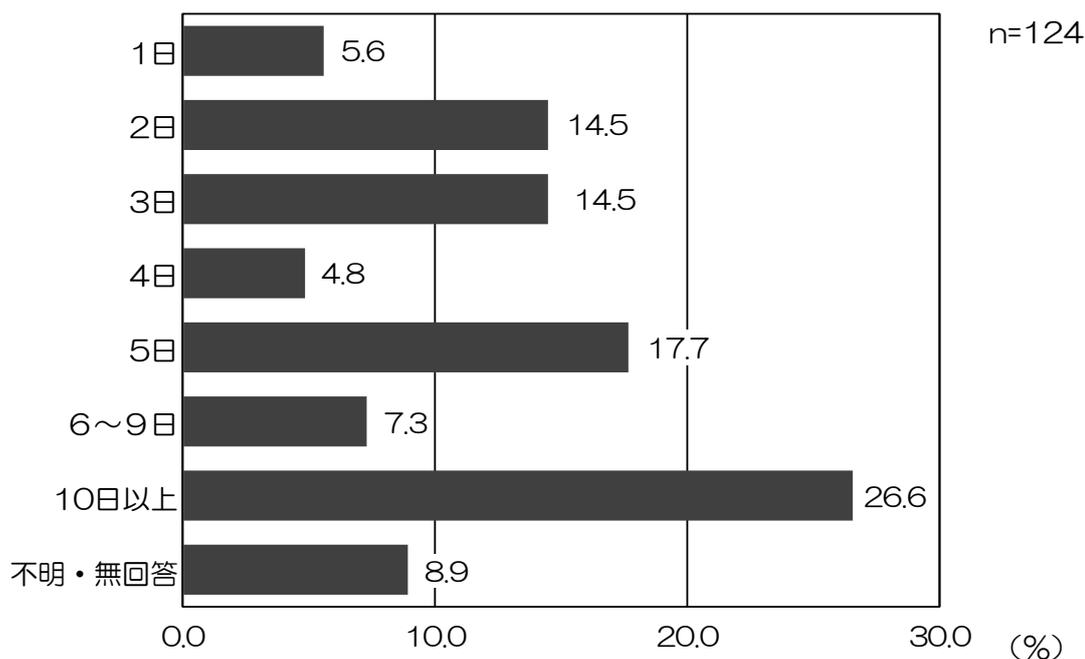
病児・病後児の保育の利用意向については、「利用したいとは思わなかった」が62.7%と、「できれば利用したかった」の28.1%を上回っています。



【「1. 」(できれば利用したかった)を選んだ方に伺います】

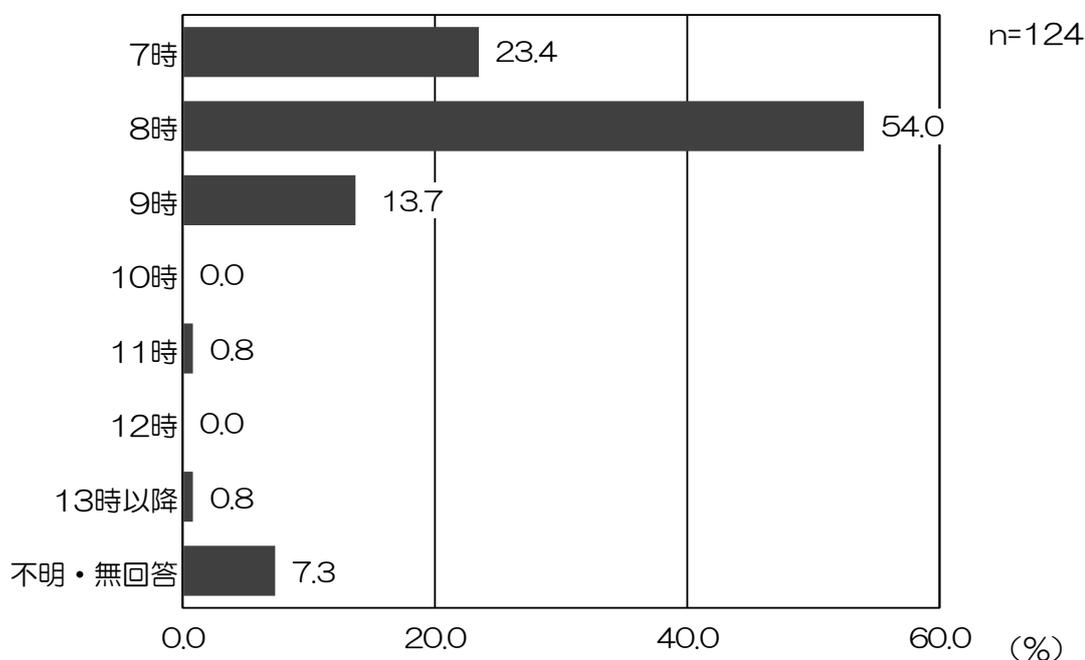
問 28 何日間利用したかったですか。(数量回答)

病児・病後児の保育を利用したかった日数については、「10日以上」が26.6%と最も多く、次いで「5日」が17.7%、「2日」、「3日」が14.5%となっています。



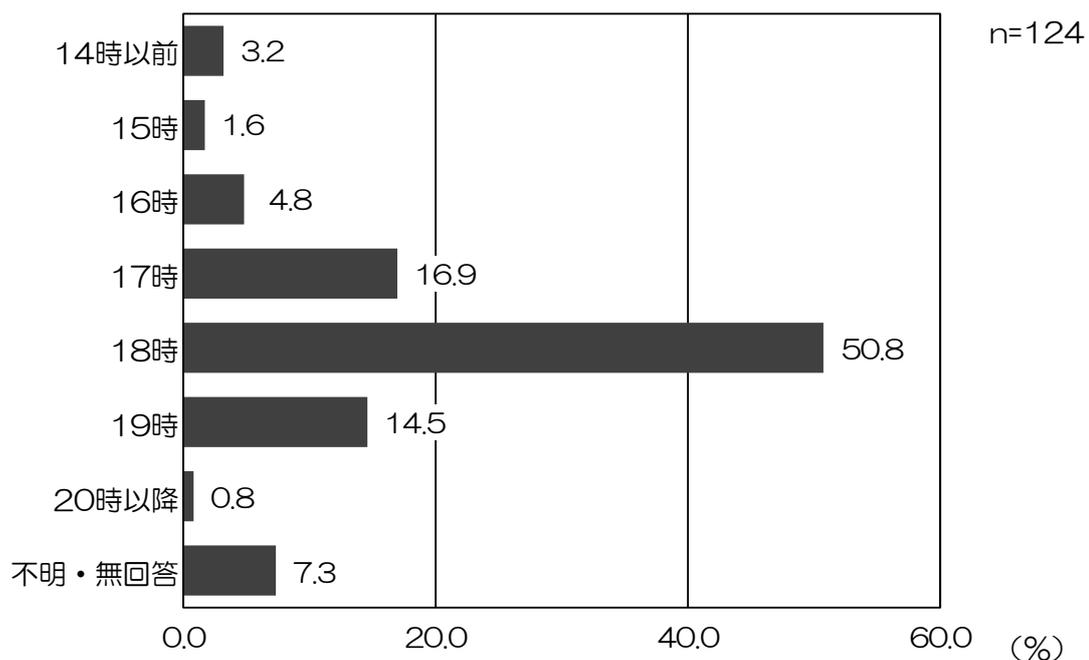
問 28 病児・病後児の保育について、希望する開始時刻をお答えください。(数量回答)

病児・病後児の保育を利用するにあたって希望する開始時刻については、「8時」が54.0%と最も多く、次いで「7時」が23.4%、「9時」が13.7%となっています。なお、6時以前を希望する回答はありませんでした。



問 28 病児・病後児の保育について、希望する終了時刻をお答えください。(数量回答)

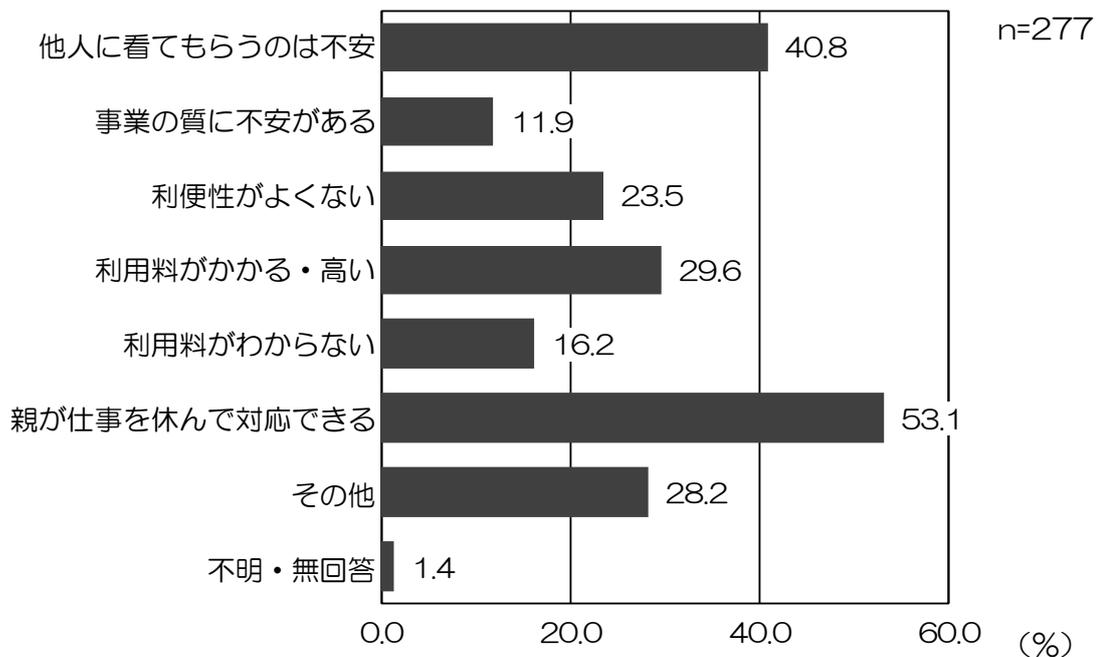
病児・病後児の保育を利用するにあたって希望する終了時刻については、「18時」が50.8%と最も多く、次いで「17時」が16.9%、「19時」が14.5%となっています。



【問 28 で「2. 」(利用したいとは思わなかった)を選んだ方に伺います】

問 29 利用したいとは思わなかった理由について、あてはまるものを
すべて選んでください。 (複数回答)

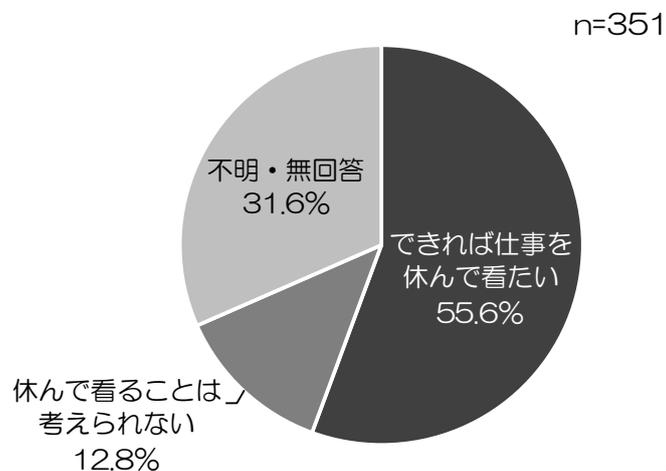
病児・病後児の保育を利用したいと思わなかった理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が 53.1%と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 40.8%、「利用料がかかる・高い」が 29.6%となっています。



【問 27 で「3. 」から「10. 」までを選んだ方に伺います】

問 30 お子さんが病気やケガで、幼稚園・保育所等を休まなければならない時、
父母のいずれかが、できれば仕事を休んで看たいと思いましたが、
あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 55.6%、「休んで看ることは」考えられない」が 12.8%となっています。

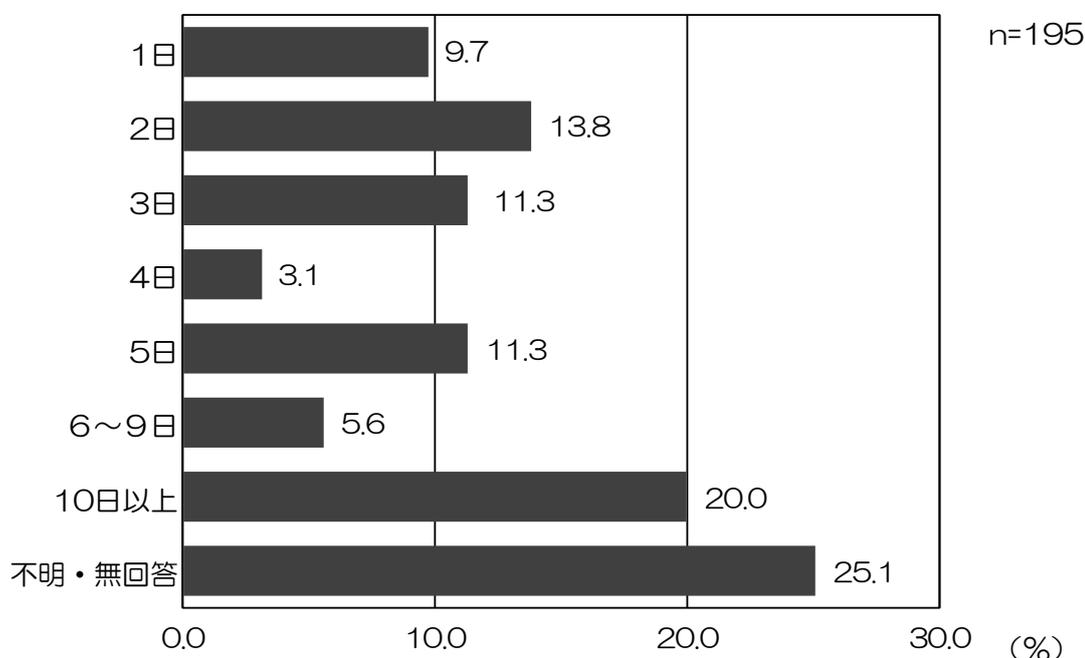


【「1.」(できれば仕事を休んで看たい)を選んだ方に伺います】

問 30 何日間休んで看たいと思われましたか。

(数量回答)

お子さんの病気やケガで、何日間仕事を休んで看たいかについては、「10日以上」が20.0%と最も多く、次いで「2日」が13.8%、「3日」、「5日」が11.3%となっています。

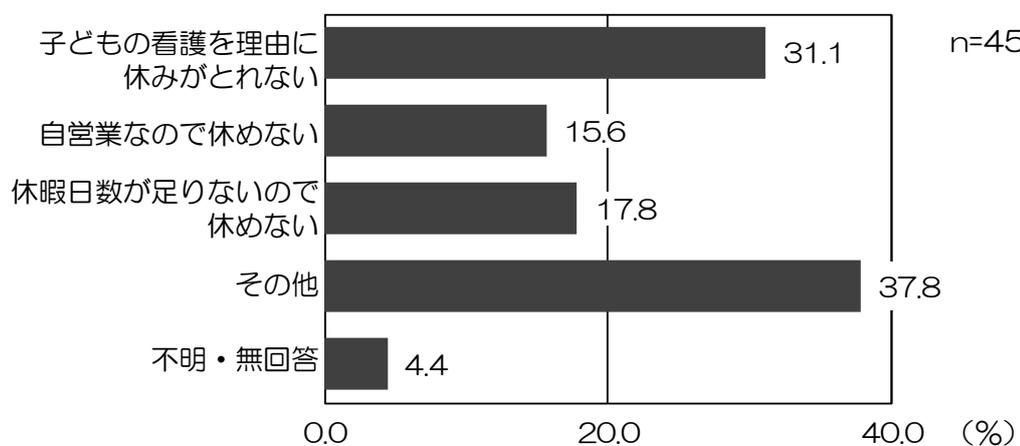


【問 30 で「2.」(休んで看することは考えられない)を選んだ方に伺います】

問 31 休んで看することは考えられない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

休んで看することは考えられない理由については、「その他」が37.8%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.1%、「休暇日数が足りないので休めない」が17.8%となっています。



6 休日や長期休暇の施設（事業）利用希望

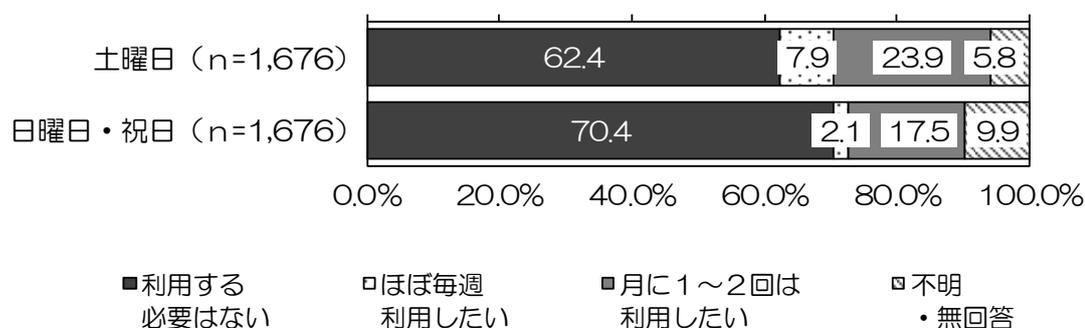
問 32 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の施設(事業)の定期的な利用希望はありますか。

土曜日、日曜日・祝日のそれぞれについてあてはまるものを選び、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかります。 (単数回答)

土曜日、日曜日・祝日ともに事業の利用希望については、「利用する必要はない」が土曜日で62.4%、日曜日・祝日で70.4%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が土曜日で23.9%、日曜日・祝日で17.5%となっています。

「利用する必要はない」が多数を占める一方で、「月に1～2回は利用したい」と「ほぼ毎週利用したい」を合わせると、土曜日で約3割、日曜日・祝日では約2割となります。



問 32 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育所等の施設(事業)の定期的な利用における希望の開始時刻をお答えください。 (数量回答)

施設(事業)の希望の利用開始時刻については、「9時」が土曜日、日曜日・祝日ともに37%台と最も多く、次いで「8時」となっています。

(単位: %)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	不明・無回答
土曜日 (n=401)	0.0	10.2	28.2	37.2	9.7	1.0	0.0	1.2	12.5
日曜日・祝日 (n=294)	0.0	8.8	27.6	37.8	11.2	1.4	0.3	1.4	11.6

問 32 土曜日と日曜日・祝日の幼稚園・保育所等の施設(事業)の定期的な利用における希望の終了時刻をお答えください。 (数量回答)

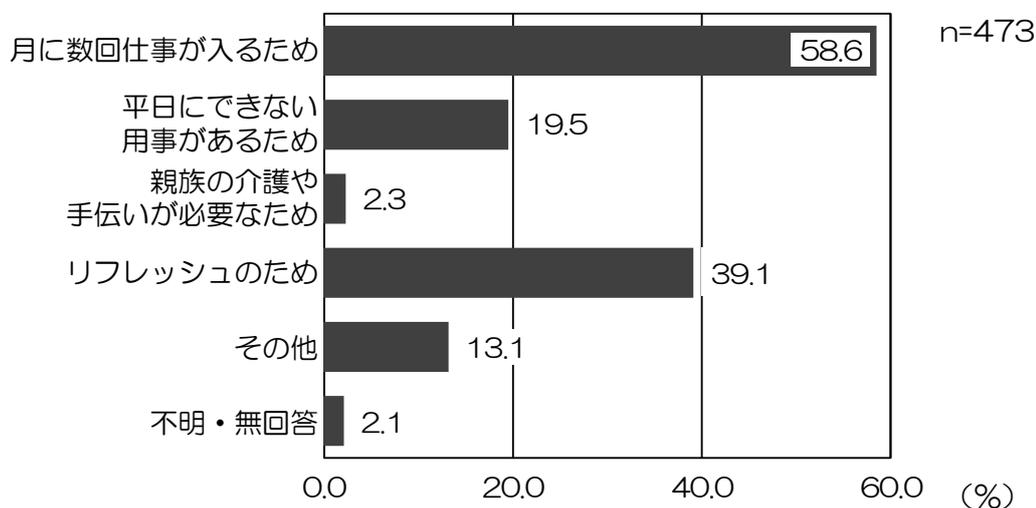
施設(事業)の希望の利用終了時刻については、土曜日で「17時」が23.4%と最も多く、日曜日・祝日で「18時」が28.2%と最も多くなっています。

(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
土曜日 (n=401)	8.2	13.5	12.7	23.4	22.7	5.7	1.2	12.5
日曜日・祝日 (n=294)	8.8	10.5	12.2	20.4	28.2	6.5	1.7	11.6

【問 32 で「3.」(月に1~2回は利用したい)を選んだ方に伺います】

問 33 毎週ではない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

休日の施設(事業)の利用希望が毎週ではない理由については、「月に数回仕事が入るため」が58.6%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が39.1%、「平日にできない用事があるため」が19.5%となっています。

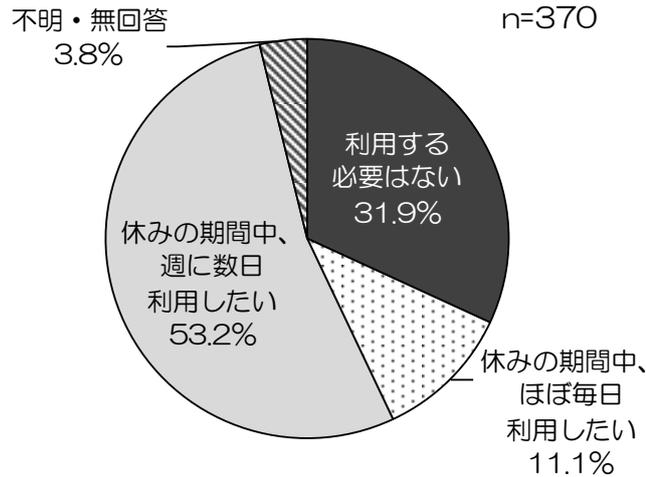


【平日、幼稚園を利用されている方に伺います。】

問 34 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中に施設(事業)を利用したいですか。あてはまるものを選び、利用したい時間帯をご記入ください。

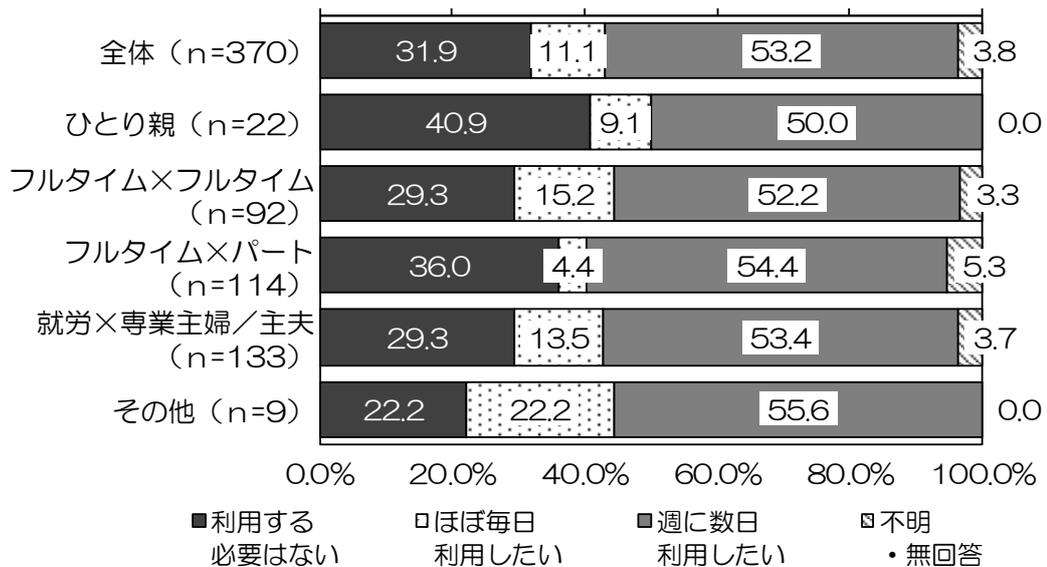
(単数回答)

長期休暇中の事業の利用については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が53.2%と最も多くなっています。「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の11.1%と合わせ、64.3%の方が長期休暇中に事業を利用したいと回答しています。



◆クロス集計 問 34×問 12(親の就労分類)

親の就労分類別でみると、全ての区分で「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も多くなっています。その中で、『ひとり親』と『フルタイム×パート』で「利用する必要はない」が3割を超え、他の区分より多くなっています。



【「2.」「3.」(長期休暇中に施設(事業)を利用したい)を選んだ方に伺います】

問 34 長期休暇中の施設(事業)の定期的な利用における希望の開始時刻・

終了時刻をお答えください。

(数量回答)

施設(事業)の希望の利用開始時刻については、「9時」が62.6%と最も多く、次いで「8時」が24.8%となっています。利用終了時刻については、「17時」が27.7%と最も多く、次いで「15時」が24.8%となっています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	不明・無回答
長期休暇 利用開始時刻 (n=238)	0.0	1.3	24.8	62.6	6.7	0.8	0.0	0.4	3.4

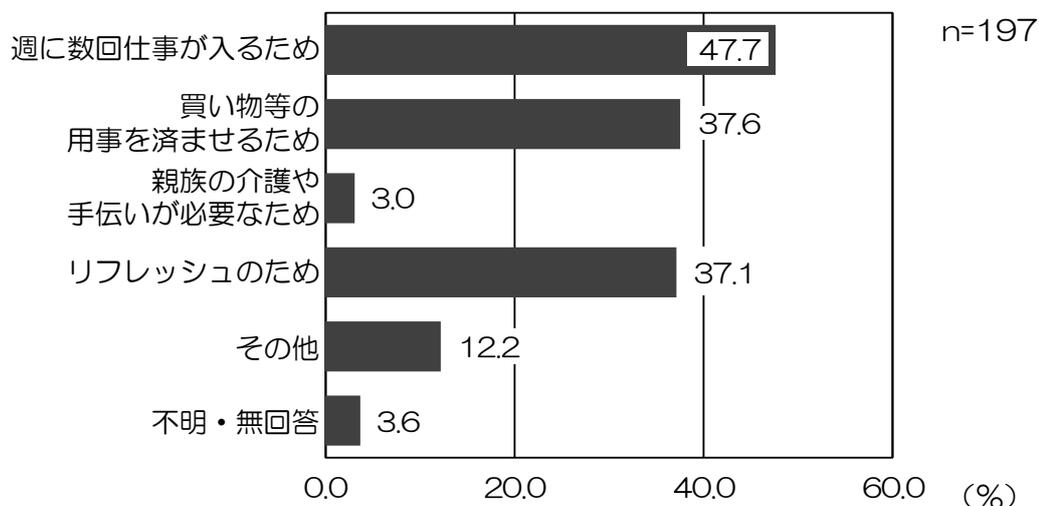
(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
長期休暇 利用終了時刻 (n=238)	18.9	24.8	16.8	27.7	6.7	1.3	0.4	3.4

【問 34 で「3.」(週に数日利用したい)を選んだ方に伺います】

問 35 毎日ではない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

長期休暇の施設(事業)の利用希望が毎日ではない理由については、「週に数回仕事が入るため」が47.7%と最も多く、次いで「買い物等の用事を済ませるため」が37.6%、「リフレッシュのため」が37.1%となっています

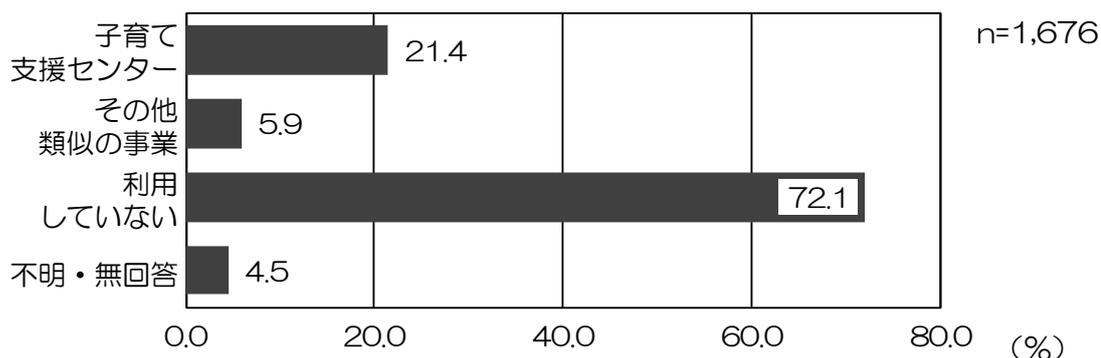


7 地域の子育て支援事業の利用状況

問 36 お子さんは、現在、子育て支援センター等を利用していますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

子育て支援センター等の利用状況については、「利用していない」が72.1%と最も多く、「子育て支援センター」が21.4%、「その他類似の事業」が5.9%となっています。なお、問36×地区・利用している事業のクロス集計を60ページに掲載しています。



【「1.」「2.」(子育て支援センター等を利用している)を選んだ方に伺います】

問 36 子育て支援センター・その他類似の事業をそれぞれ月当たり何回程度

利用していますか。 (数量回答)

利用している月当たり回数については、「1回」が子育て支援センターで32.7%、その他類似の事業で28.3%と最も多く、次いで「2回」となっています。子育て支援センターでは、「10回以上」も12.3%と、その他類似の事業に比べて多くなっています。

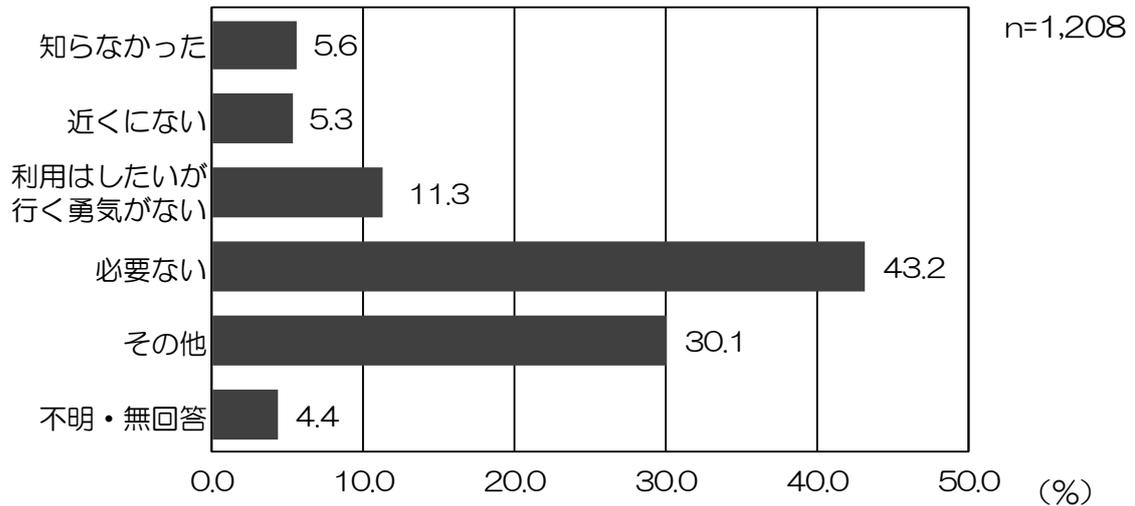
(単位: %)	1回	2回	3回	4回	5回	6~9回	10回以上	不明・無回答
子育て支援センター (n=358)	32.7	19.8	9.8	10.6	5.0	7.8	12.3	2.0
その他類似の事業 (n=99)	28.3	22.2	19.2	14.1	5.1	6.1	3.0	2.0

【問 36 で「3. 」(利用していない)を選んだ方に伺います】

問 37 利用していない理由について、最もあてはまるものを1つ選んでください。

(単数回答)

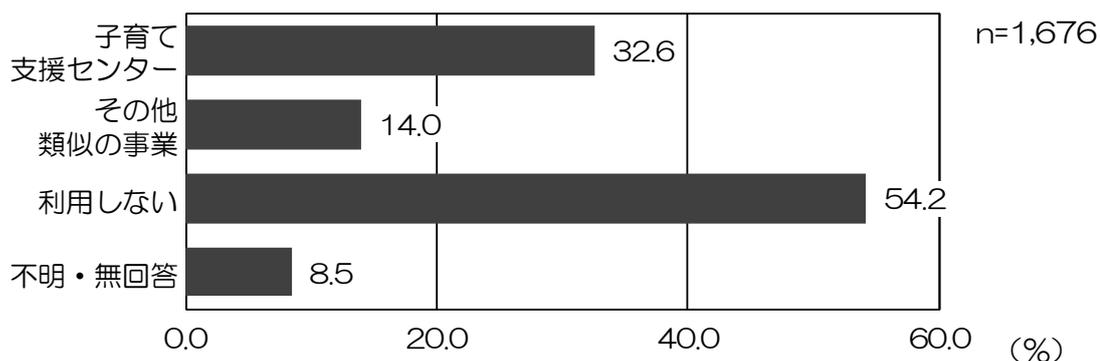
子育て支援センター等を利用していない理由については、「必要ない」が43.2%と最も多く、次いで「その他」が30.1%、「利用はしたいが行く勇気がない」が11.3%となっています。



【全員に伺います】

問 38 問 36 の事業について、今は利用していないが今後利用したい、あるいは今より利用日数を増やしたいと思いませんか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

子育て支援センター等の利用を今後増やしたいかについては、「利用しない」が54.2%と最も多く、次いで「子育て支援センター」が32.6%、「その他類似の事業」が14.0%となっています。



【「1.」「2.」(子育て支援センター等の利用を増やしたい)を選んだ方に伺います】

問 38 子育て支援センター・その他類似の事業をそれぞれ月当たり何回程度利用したいと思いませんか。 (数量回答)

利用したい月当たり回数については、子育て支援センターでは「4回」が21.8%、その他類似の事業では「1回」が35.9%で、それぞれ最も多くなっています。

(単位：%)	1回	2回	3回	4回	5回	6~9回	10回以上	不明・無回答
子育て支援センター (n=546)	17.2	16.3	9.7	21.8	7.0	8.8	15.0	4.2
その他類似の事業 (n=234)	35.9	24.8	8.1	16.7	2.6	3.8	3.8	4.3

◆クロス集計 問36・問38×問1・問17・18(地区・利用している事業)

地区別で現在の利用状況を見ると、全ての地区で「利用していない」が最も多くなっています。その中で、「子育て支援センター利用」は『南畑』の16.0%から『ふじみ野』の24.1%まで開きがあり、南畑や水谷など市の東部では利用している方が少ないことが分かります。利用希望については、おおむねどの地区も3割程度となっており、これらの地区も利用したいと考えている方が一定数いることが分かります。

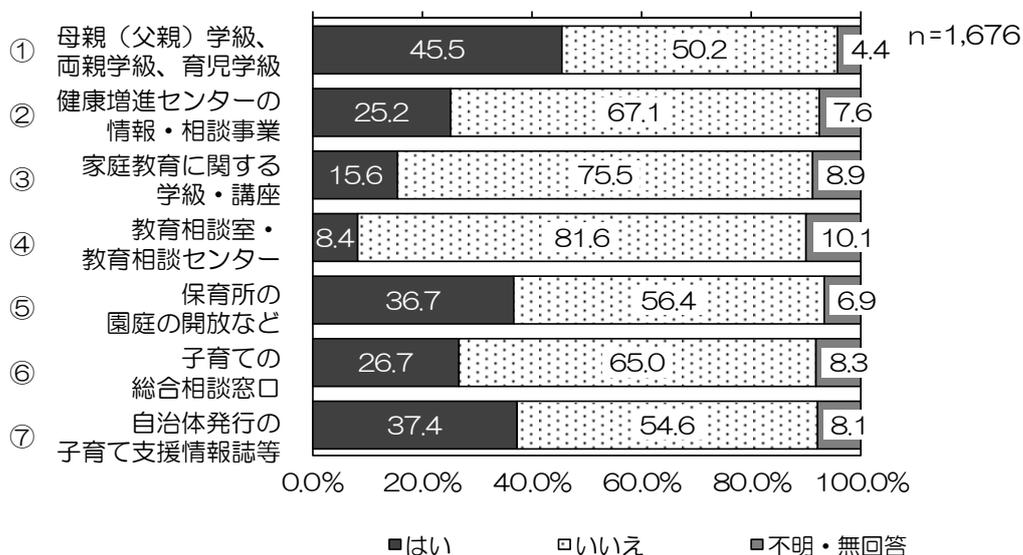
利用している事業の有無・種類別で見ると、事業を『利用していない』で「子育て支援センター利用」が39.0%、今後の利用希望の割合については52.8%と他の区分より多くなっています。

(単位：%)		問36					問38			
		セ 子 育 て 支 援 用	事 業 の 利 用 類 似 の	利 用 し て い ない	・ 不 明 回 答		支 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	事 業 の 他 類 似 の	利 用 し な い	・ 不 明 回 答
全体 (n=1,676)		21.4	5.9	72.1	4.5	新 た に 利 用 す る ・ 利 用 を 増 や す 希 望 の 有 無	32.6	14.0	54.2	8.5
問1 地区別	鶴瀬・鶴馬 (n=446)	21.1	4.7	73.3	4.5		33.2	14.8	55.8	7.2
	上沢 (n=237)	22.4	8.0	70.9	5.1		28.7	13.5	57.4	10.1
	南畑 (n=81)	16.0	9.9	75.3	2.5		29.6	12.3	53.1	12.3
	ふじみ野 (n=228)	24.1	5.7	69.7	3.5		33.8	13.2	53.1	7.5
	水谷 (n=311)	19.9	5.1	75.9	1.9		31.8	11.6	56.9	6.8
	みずほ台 (n=350)	22.0	6.0	70.3	5.7		35.4	16.3	49.7	8.3
問17 利用の有無別	利用していない (n=695)	39.0	11.2	51.7	6.0		52.8	19.4	34.0	9.2
	利用している・小計 (n=942)	8.6	2.1	87.4	2.9		18.3	10.4	68.8	7.5
問18 利用している事業別	幼稚園 (n=362)	8.3	3.0	86.7	3.0		19.1	11.3	67.1	8.0
	幼稚園の預かり保育 (n=95)	3.2	0.0	93.7	3.2		15.8	15.8	69.5	5.3
	保育所 (n=340)	5.6	1.2	91.8	2.4		12.6	9.4	74.4	7.6
	小規模保育事業 (n=22)	13.6	4.5	81.8	4.5		27.3	9.1	59.1	9.1
	認定こども園 (n=143)	8.4	1.4	86.7	3.5	20.3	9.8	71.3	3.5	
	事業所内保育施設 (n=19)	0.0	5.3	94.7	0.0	10.5	5.3	73.7	10.5	
	家庭保育室 (n=2)	0.0	0.0	100	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	
	企業主導型保育 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
	その他の認可外保育施設 (n=8)	37.5	0.0	62.5	0.0	37.5	0.0	62.5	0.0	
ファミリー・サポート・センター (n=8)	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5	25.0	50.0	25.0		

問 39 下記の①から⑦の事業を利用したことがあるかについてお答えください。

(単数回答)

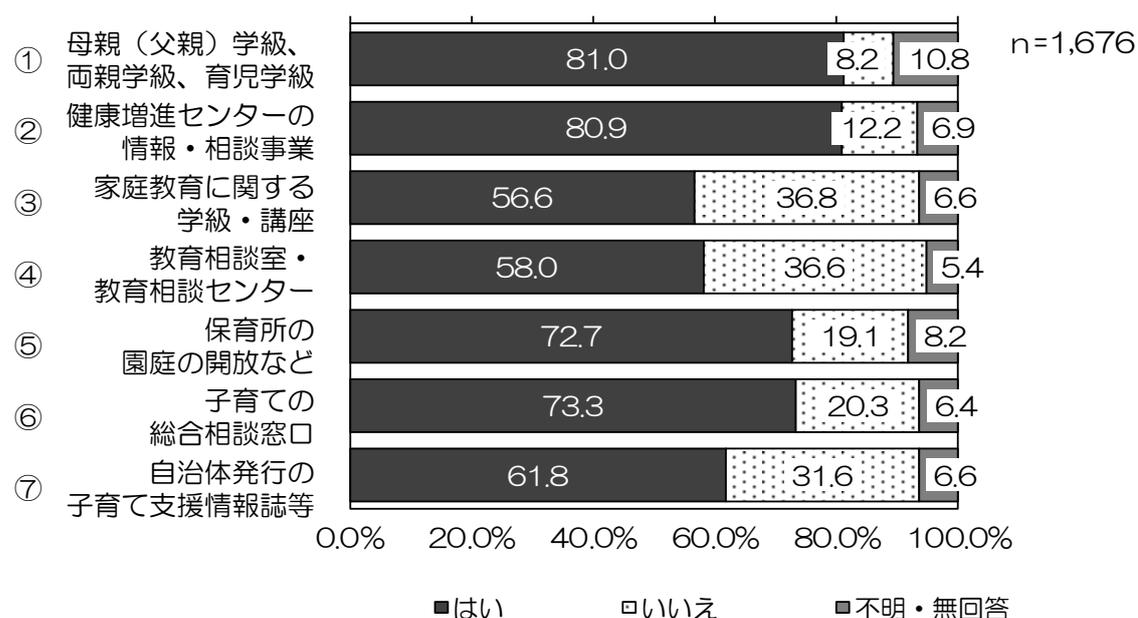
各子育て支援事業を利用したことがあるかについて、「はい」の割合は、①の「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が45.5%と最も多く、次いで⑦の「自治体発行の子育て支援情報誌等」が37.4%、⑤の「保育所の園庭の開放など」が36.7%となっています。



問 39 下記の①から⑦の事業を知っているかについてお答えください。

(単数回答)

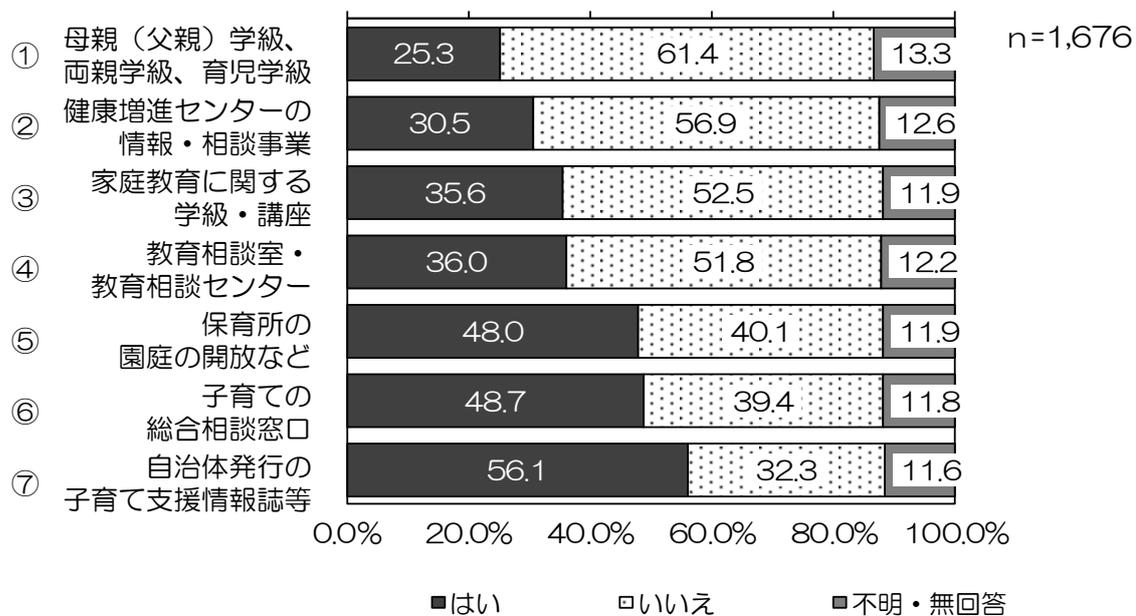
各子育て支援事業を知っているかについて、「はい」の割合は、①の「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が81.0%と最も多く、次いで②の「健康増進センターの情報・相談事業」が80.9%、⑥の「子育ての総合相談窓口」が73.3%となっています。



問 39 下記の①から⑦の事業を今後利用したいかについてお答えください。

(単数回答)

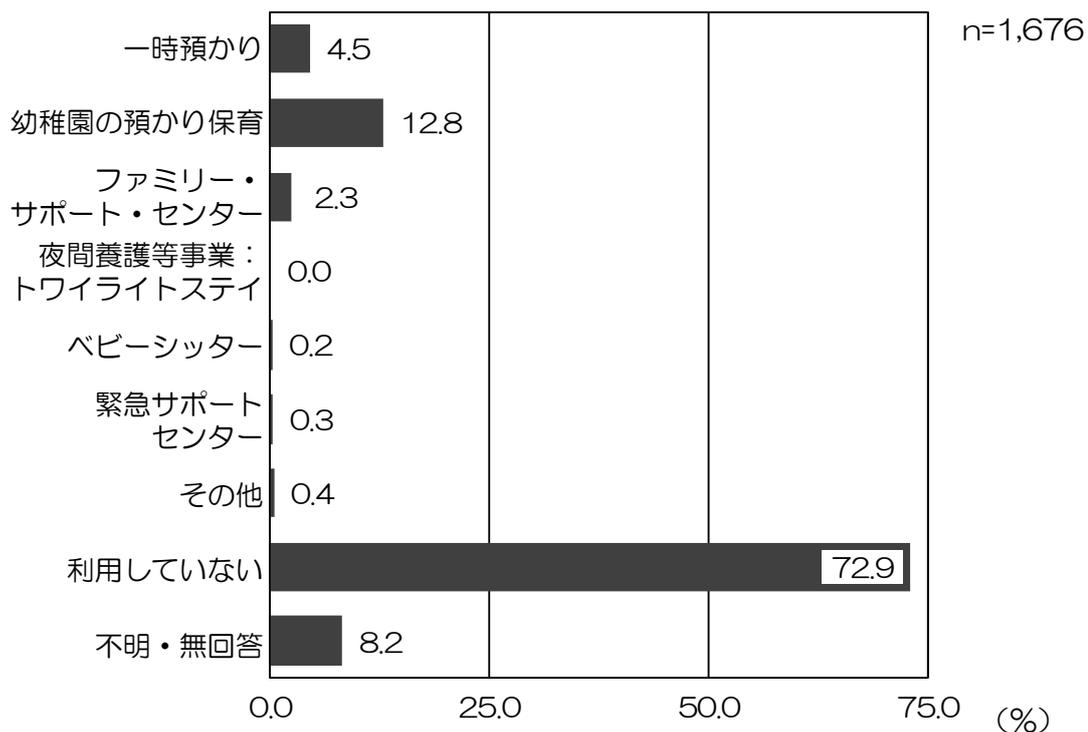
各子育て支援事業を「今後利用したい」かについて、「はい」の割合は、⑦の「自治体発行の子育て支援情報誌等」が56.1%と最も多く、次いで⑥の「子育ての総合相談窓口」が48.7%、⑤の「保育所の園庭の開放など」が48.0%となっています。



8 一時預かり等の利用状況

問 40 お子さんについて、保護者の私用、通院、就労等の目的で、下表の施設(事業)を利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

一時預かり等の利用については、「利用していない」が72.9%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が12.8%、「一時預かり」が4.5%となっています。



問 40 それぞれの施設(事業)を利用した日数(最近1年間当たり)をお答えください。

(数量回答)

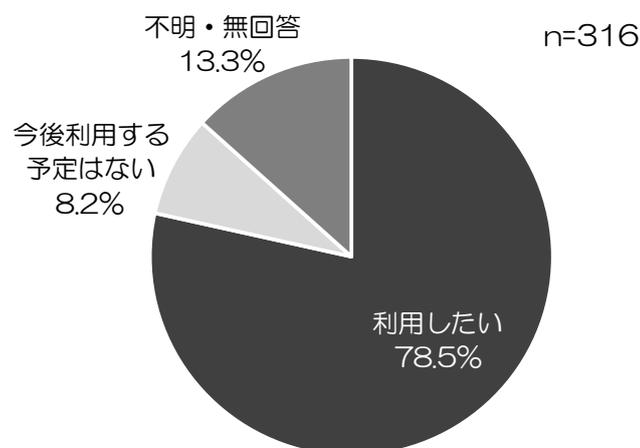
一時預かり等の施設(事業)を利用した日数については、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」、「ベビーシッター」、「緊急サポートセンター」で「10日以下」が最も多くなっています。その中で、「一時預かり」と「幼稚園の預かり保育」、「その他」では1割以上の方が「50日以上」と回答しています。

(単位：%)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	緊急サポートセンター	その他
	n=75	n=215	n=38	n=4	n=5	n=7
10日以下	56.0	42.3	57.9	100.0	80.0	28.6
10～19日	10.7	20.9	23.7	0.0	0.0	42.9
20～29日	8.0	6.5	5.3	0.0	20.0	14.3
30～39日	0.0	8.4	0.0	0.0	0.0	0.0
40～49日	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
50日以上	18.7	17.2	5.3	0.0	0.0	14.3
不明・無回答	6.7	2.8	7.9	0.0	0.0	0.0

【問 40 で「1.」から「7.」まで(利用している)を選んだ方に伺います】

問 41 問 40 で選んだ施設(事業)について、今後保護者の私用、通院、就労等の目的で、利用する必要があると思いますか。 (単数回答)

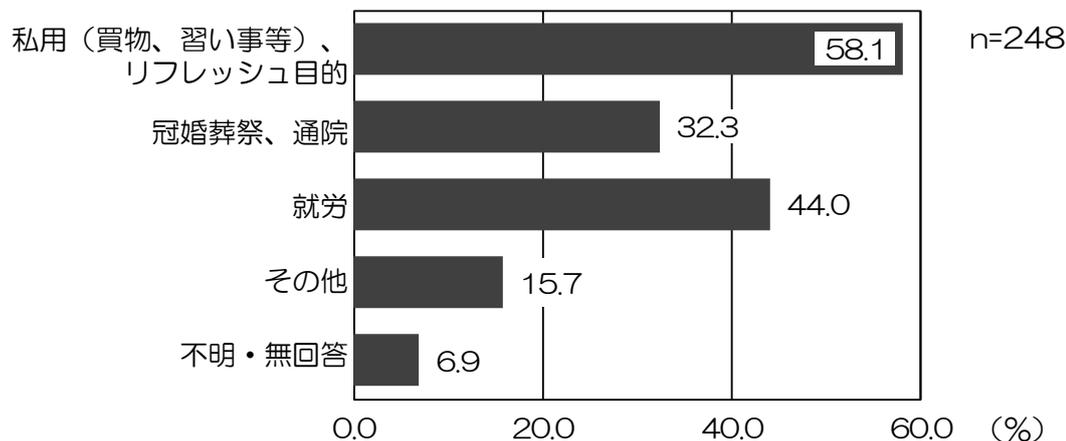
現在一時預かり等の施設(事業)を利用している方が今後も利用する必要があると思うかについては、「利用したい」が78.5%と「今後利用する予定はない」の8.2%を上回っています。



【「1.」(利用したい)を選んだ方に伺います】

問 41 一時預かり等の施設(事業)の利用目的についてあてはまる記号をすべて
選んでください。 (複数回答)

一時預かり等の施設(事業)の利用目的については、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が58.1%と最も多く、次いで「就労」が44.0%、「冠婚葬祭、通院」が32.3%となっています。



問 41 一時預かり等の施設(事業)の利用を希望する、目的別の日数をそれぞれ
ご記入ください。 (数量回答)

目的別の利用希望日数については、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、通院」、「その他」で「10日以下」が最も多く、「就労」で「50日以上」が最も多くなっています。

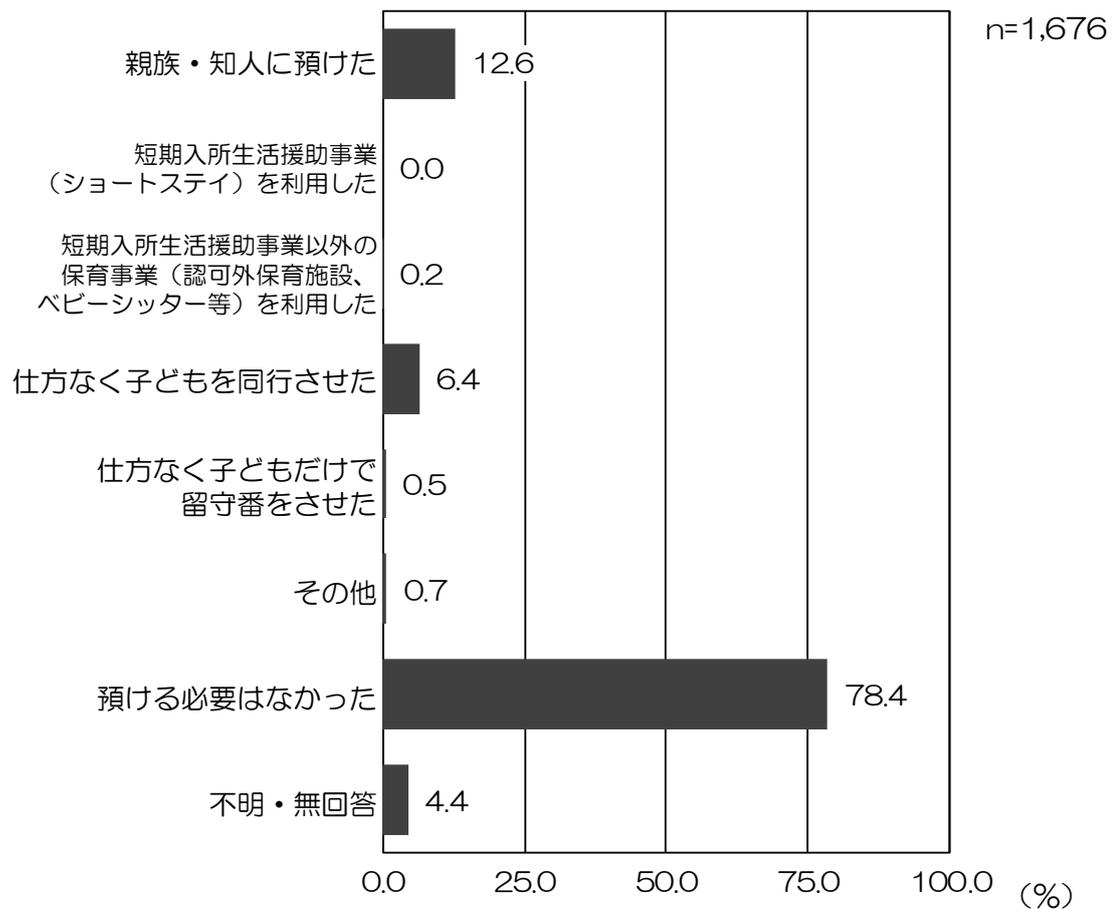
(単位: %)	私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、通院	就労	その他
	n=144	n=80	n=109	n=39
10日以下	42.4	70.0	11.9	51.3
10~19日	33.3	22.5	19.3	23.1
20~29日	9.0	5.0	11.0	7.7
30~39日	4.2	1.3	9.2	5.1
40~49日	3.5	0.0	6.4	0.0
50日以上	4.2	0.0	34.9	5.1
不明・無回答	3.5	1.3	7.3	7.7

【全員に伺います】

問 42 この1年間に、保護者の私用(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)で、お子さんを泊りがけで家族以外に預ける必要はありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

泊りがけで家族以外に預ける必要があったかとその対処方法については、「預ける必要はなかった」が78.4%と最も多く、次いで「親族・知人に預けた」が12.6%、「仕方なく子どもを同行させた」が6.4%となっています。



問 42 この1年間に、保護者の私用でお子さんを泊りがけで預ける必要があった時にとった、対応ごとの日数をお答えください。 (数量回答)

保護者の私用でお子さんを泊りがけで預ける必要があった時にとった、対応ごとの日数については、全ての対応について「10 日以下」が最も多くなっています。

(単位：%)	親族・知人に預けた	等(短期入所生活援助事業以外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
	n=212	n=3	n=108	n=8	n=12
10 日以下	68.4	100.0	67.6	62.5	75.0
10～19日	16.0	0.0	10.2	25.0	25.0
20～29日	3.3	0.0	0.9	12.5	0.0
30～39日	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0
40～49日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50日以上	0.9	0.0	2.8	0.0	0.0
不明・無回答	9.4	0.0	16.7	0.0	0.0

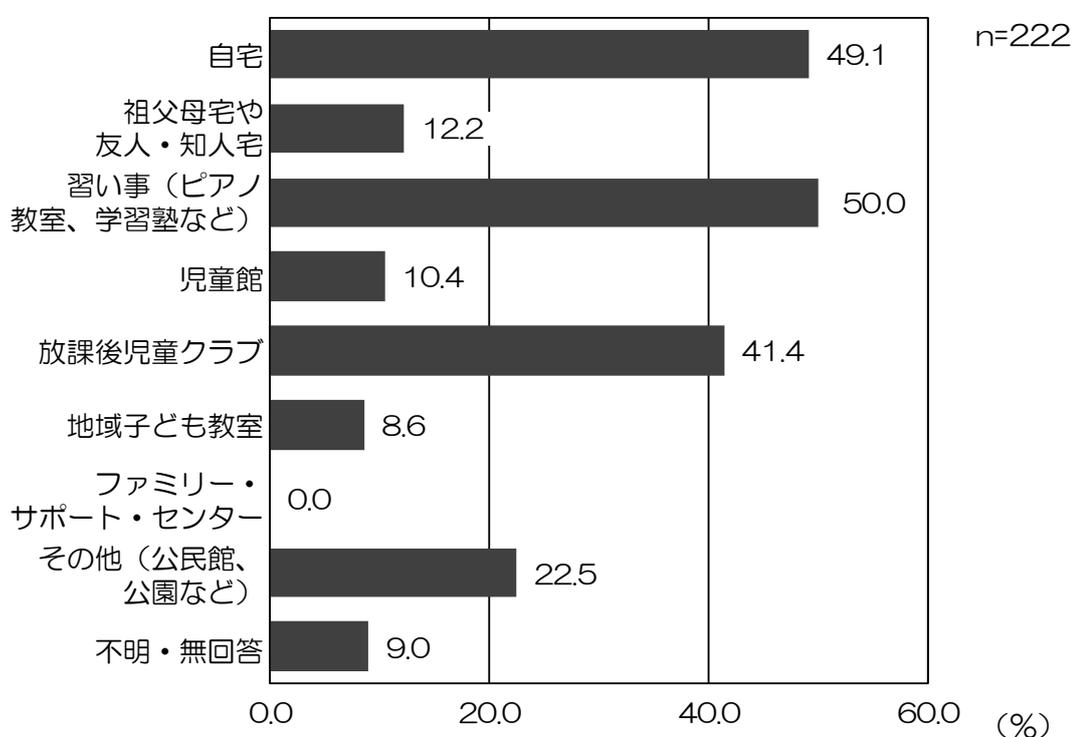
9 小学校就学後の放課後の過ごし方

【平成 31 年4月に小学校に入学するお子さんにのみ伺います】

問 43 お子さんが小学校入学後、低学年(1～3年生)のときは、放課後(平日の小学校終了後)をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかる場合があります。

(複数回答)

小学校入学後、低学年の時の放課後を過ごさせたい場所については、「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が50.0%と最も多く、次いで「自宅」が49.1%、「放課後児童クラブ」が41.4%となっています。



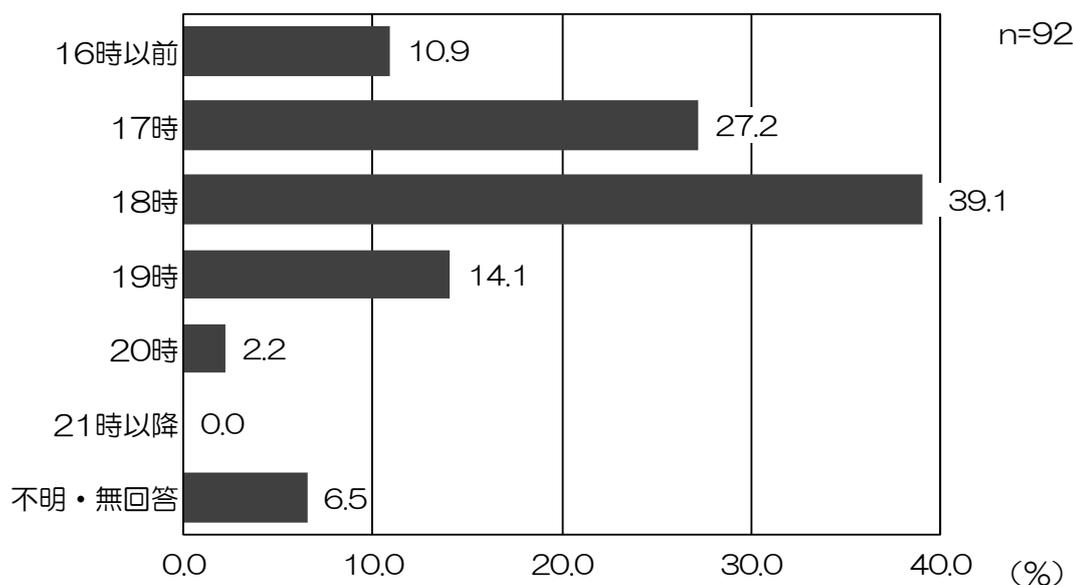
**問 43 小学校入学後、低学年のうちは、それぞれの場所で週に何日過ごさせたい
ですか。日数をご記入ください。 (数量回答)**

小学校入学後、低学年の時の放課後をそれぞれの場所で週に何日過ごさせたいかについては、「1日」が「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館」、「地域子ども教室」、「その他（公民館、公園など）」で最も多くなっています。その一方で、「5日」が「自宅」では33.9%、「放課後児童クラブ」では64.1%と最も多くなっています。「習い事（ピアノ教室・学習塾など）」については、「1日」、「2日」、「3日」でそれぞれ2割を超えています。

(単位：%)	自宅	祖父母 ・友人 ・知人 宅	習い事 （ピアノ 教室、 学習塾 など）	児童 館	放課 後児 童ク ラブ	地 域 子 ど も 教 室	公 園 な ど ） そ の 他 （ 公 民 館 、
	n=109	n=27	n=111	n=23	n=92	n=19	n=50
1日	13.8	63.0	32.4	47.8	2.2	89.5	30.0
2日	14.7	14.8	34.2	21.7	7.6	5.3	26.0
3日	11.0	3.7	20.7	0.0	9.8	0.0	22.0
4日	11.9	0.0	6.3	4.3	6.5	0.0	8.0
5日	33.9	3.7	1.8	13.0	64.1	0.0	10.0
6日	0.9	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0
7日	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
不明・無回答	8.3	14.8	4.5	13.0	3.3	0.0	4.0

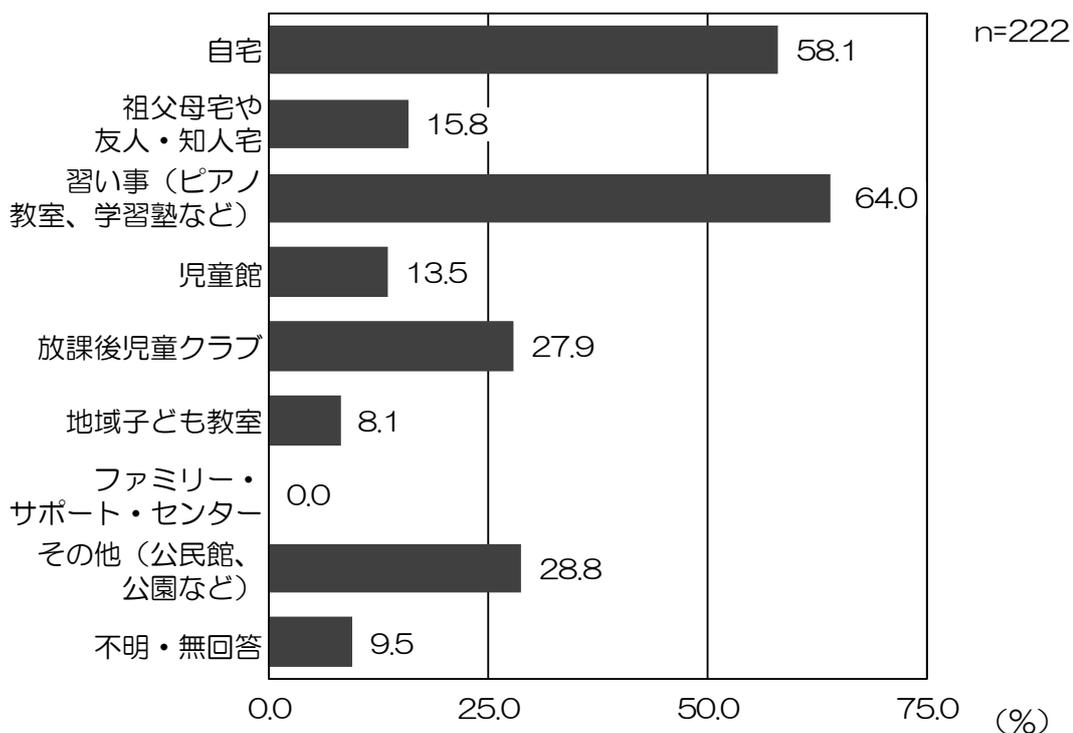
問 43 放課後児童クラブの希望する終了時間についてお答えください。(数量回答)

低学年のうちに放課後児童クラブを下校時から何時まで利用したいかについては、「18時」が39.1%と最も多く、次いで「17時」が27.2%、「19時」が14.1%となっています。



問 44 お子さんが小学校入学後、高学年(4～6年生)になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

高学年の時の放課後を過ごさせたい場所については、「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が64.0%と最も多く、次いで「自宅」が58.1%、「その他(公民館、公園など)」が28.8%となっています。



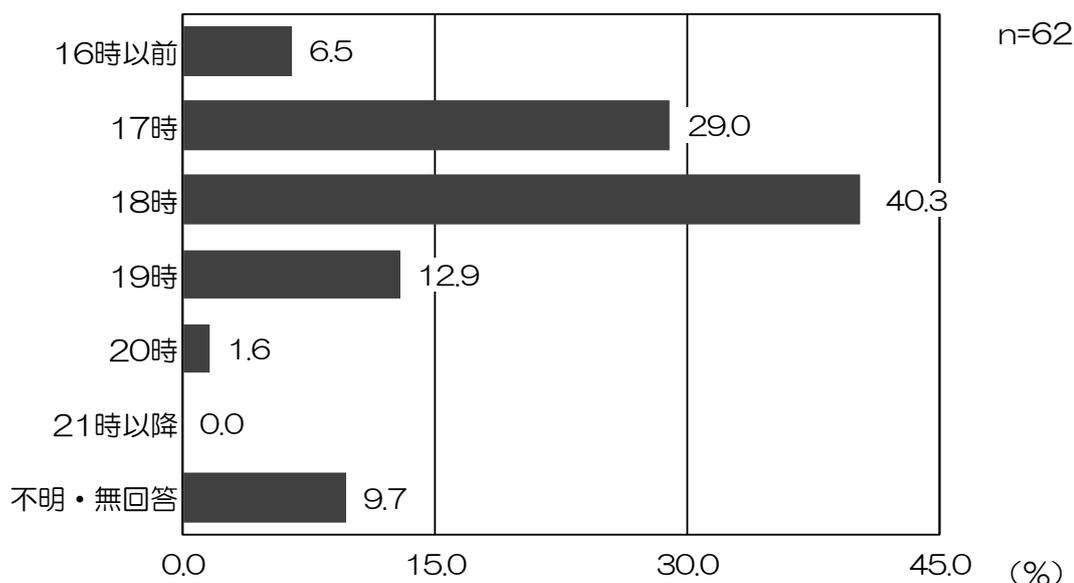
**問 44 小学校入学後、高学年になったら、それぞれの場所で週に何日過ごさせたい
ですか。日数をご記入ください。(数量回答)**

高学年の時の放課後をそれぞれの場所で週に何日過ごさせたいかについては、低学年のうちと同じく「1日」が「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館」、「地域子ども教室」、「その他（公民館、公園など）」で最も多くなっています。その一方で、「5日」が「自宅」では34.9%、「放課後児童クラブ」では37.1%と最も多くなっています。「習い事（ピアノ教室・学習塾など）」については、「1日」、「2日」、「3日」でそれぞれ2割を超えています。

(単位：%)	自宅	祖父母 ・友人 ・知人 宅	習い事 （ピアノ 教室、 学習塾 など）	児童 館	放課 後児 童ク ラブ	地 域 子 ど も 教 室	公 園 な ど （ 公 民 館 、 そ の 他 ）
	n=129	n=35	n=142	n=30	n=62	n=18	n=64
1日	15.5	62.9	20.4	36.7	6.5	72.2	28.1
2日	14.0	17.1	37.3	33.3	14.5	27.8	25.0
3日	10.9	0.0	27.5	6.7	19.4	0.0	23.4
4日	6.2	0.0	4.9	3.3	6.5	0.0	4.7
5日	34.9	8.6	3.5	10.0	37.1	0.0	9.4
6日	1.6	0.0	1.4	0.0	3.2	0.0	0.0
7日	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	12.4	11.4	4.9	10.0	12.9	0.0	9.4

問 44 放課後児童クラブの希望する終了時刻についてお答えください。(数量回答)

高学年になったら放課後児童クラブを下校時から何時まで利用したいかについては、「18時」が40.3%と最も多く、次いで「17時」が29.0%、「19時」が12.9%となっています。

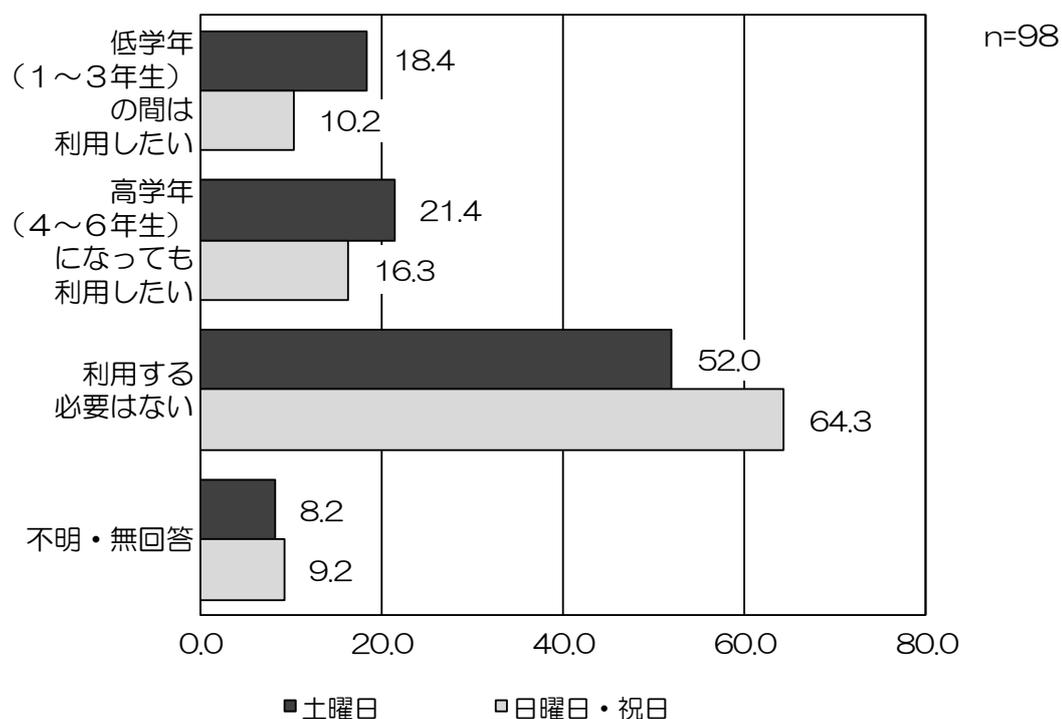


【問 43 又は問 44 で「5.」(放課後児童クラブを利用したい)を選んだ方に伺います】

問 45 土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。土曜日、日曜日・祝日のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。

なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかります。 (単数回答)

土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が土曜日で52.0%、日曜日・祝日で64.3%と最も多くなっています。



【「1.」「2.」(利用したい)を選んだ方に伺います】

問 45 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望する開始時刻・終了時刻を
お答えください。 (数量回答)

①開始時刻

放課後児童クラブ利用にあたって希望する開始時刻については、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」が最も多く、次いで「9時」となっています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	不明・無回答
土曜日 (n=39)	0.0	12.8	56.4	25.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6
日曜日・祝日 (n=26)	0.0	7.7	50.0	30.8	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7

②終了時刻

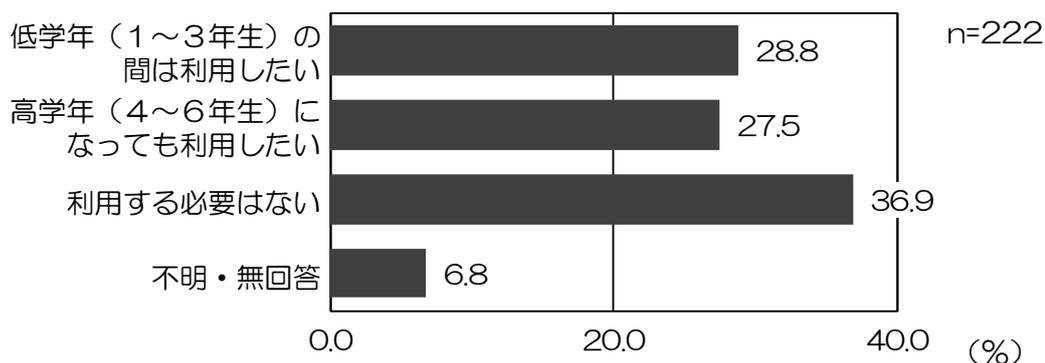
終了時刻については、土曜日、日曜日・祝日ともに「18時」が30.8%と最も多くなっています。

(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
土曜日 (n=39)	5.1	2.6	7.7	25.6	30.8	23.1	2.6	2.6
日曜日・祝日 (n=26)	7.7	0.0	7.7	19.2	30.8	19.2	3.8	11.5

【平成31年4月に小学校に入学するお子さんのみ、全員に伺います】

問 46 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまるものを1つ選び、利用希望がある場合は時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかります。
(単数回答)

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が36.9%と最も多くなっていますが、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせると56.3%となり、5割以上の方が利用したいと回答しています。



◆クロス集計 問 46×問 12(親の就労分類)

親の就労分類別でみると、『就労×専業主婦/主夫』と『その他』では「利用する必要はない」が、『フルタイム×パート』では「低学年の間は利用したい」が、『ひとり親』と『フルタイム×フルタイム』では「高学年になっても利用したい」がそれぞれ最も多くなっています。

(単位：%)	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	利用する必要はない	不明・無回答
全体 (n=222)	28.8	27.5	36.9	6.8
ひとり親 (n=15)	26.7	46.7	26.7	0.0
フルタイム×フルタイム (n=49)	24.5	38.8	30.6	6.1
フルタイム×パート (n=82)	37.8	23.2	30.5	8.5
就労×専業主婦/主夫 (n=71)	22.5	21.1	49.3	7.0
その他 (n=5)	20.0	20.0	60.0	0.0

【「1.」「2.」(利用したい)を選んだ方に伺います】

問 46 長期休暇中の放課後児童クラブの希望する開始時刻・終了時刻を

お答えください。

(数量回答)

①開始時刻

長期休暇中の放課後児童クラブ利用にあたって希望する開始時刻については、「8時」が58.4%と最も多く、次いで「9時」が24.0%、「7時」が10.4%となっています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	・不明回答
長期休暇 利用開始時刻 (n=125)	0.0	10.4	58.4	24.0	1.6	0.0	0.0	1.6	4.0

②終了時刻

終了時刻については、「18時」が33.6%と最も多く、次いで「17時」が24.0%、「16時」が12.0%となっています。

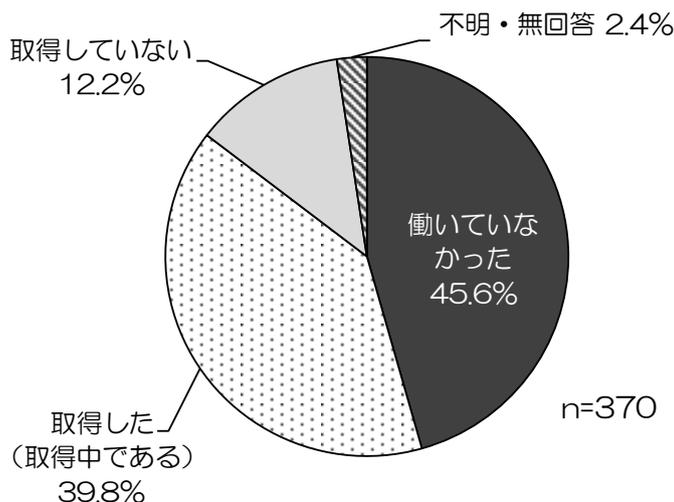
(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	・不明回答
長期休暇 利用終了時刻 (n=125)	5.6	8.8	12.0	24.0	33.6	11.2	1.6	3.2

10 育児休業の状況

問 47 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

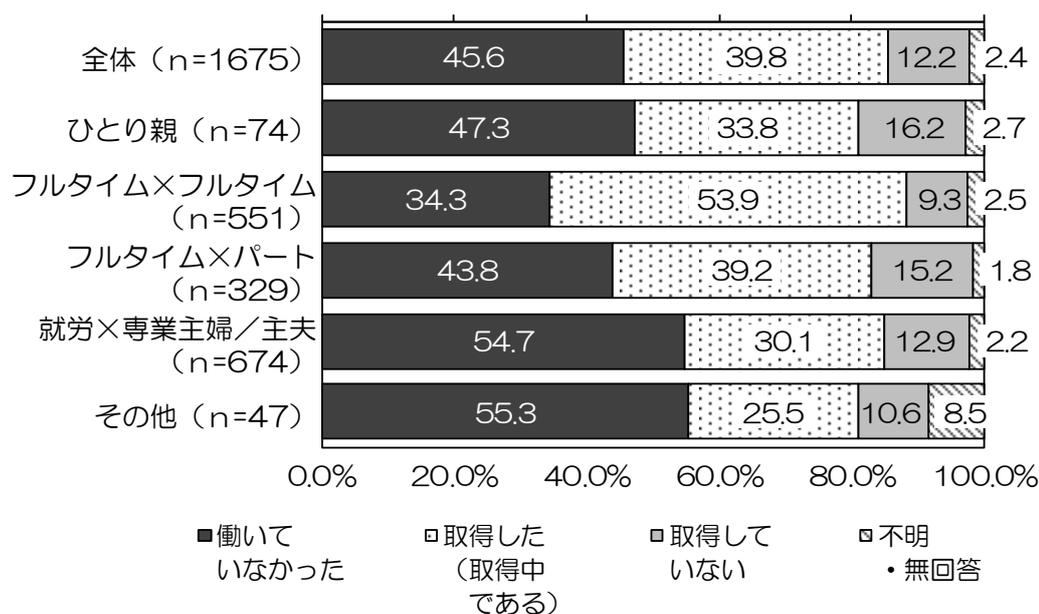
(1)母親の育児休業取得

母親が育児休業を取得したかどうかについては、「働いていなかった」が45.6%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が39.8%となっています。



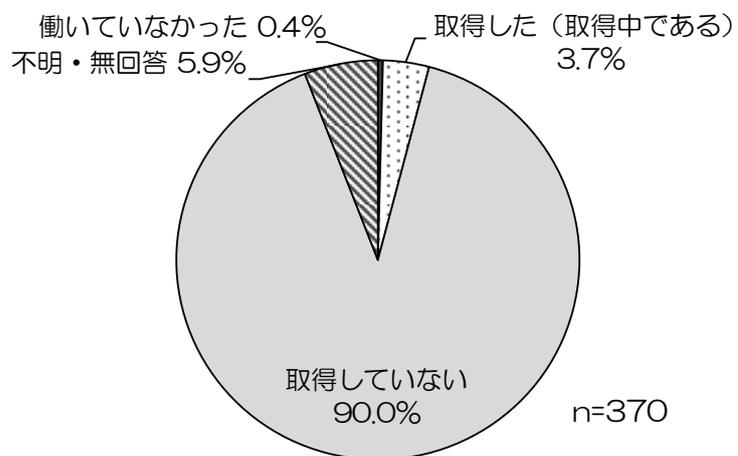
◆クロス集計 問 47×問 12(親の就労分類)

母親の育児休業の取得について、親の就労分類別でみると、『フルタイム×フルタイム』では「取得した(取得中である)」が53.9%と他の区分よりも高くなっています。『ひとり親』では「取得していない」が16.2%と他の区分より高くなっています。



(2)父親の育児休業取得

父親が育児休業を取得したかどうかについては、「取得していない」が90.0%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が3.7%となっています。

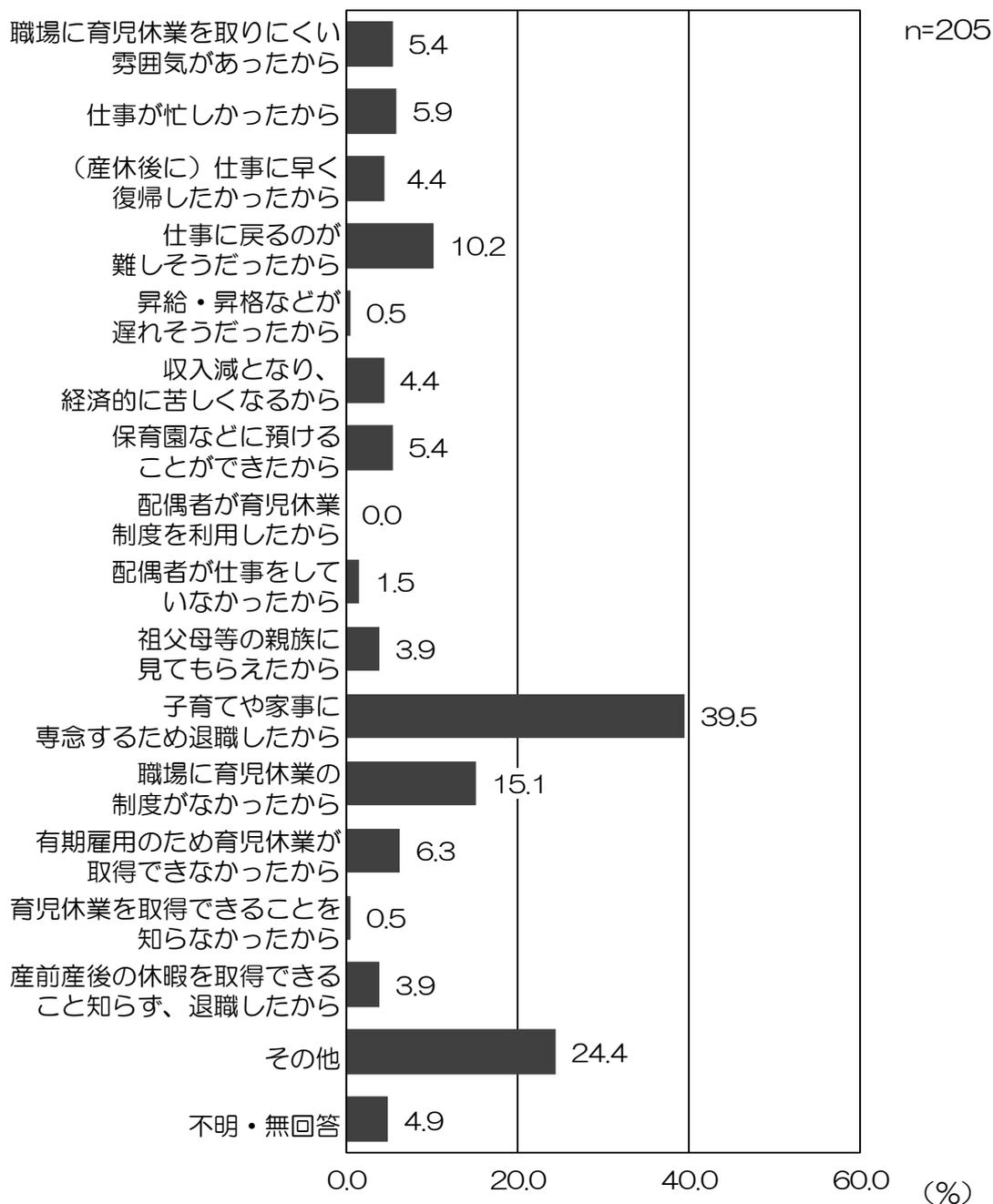


【問 47 の母親・父親それぞれで「3. 」(取得していない)を選んだ方に伺います】

問 47 育児休業を取得していない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)

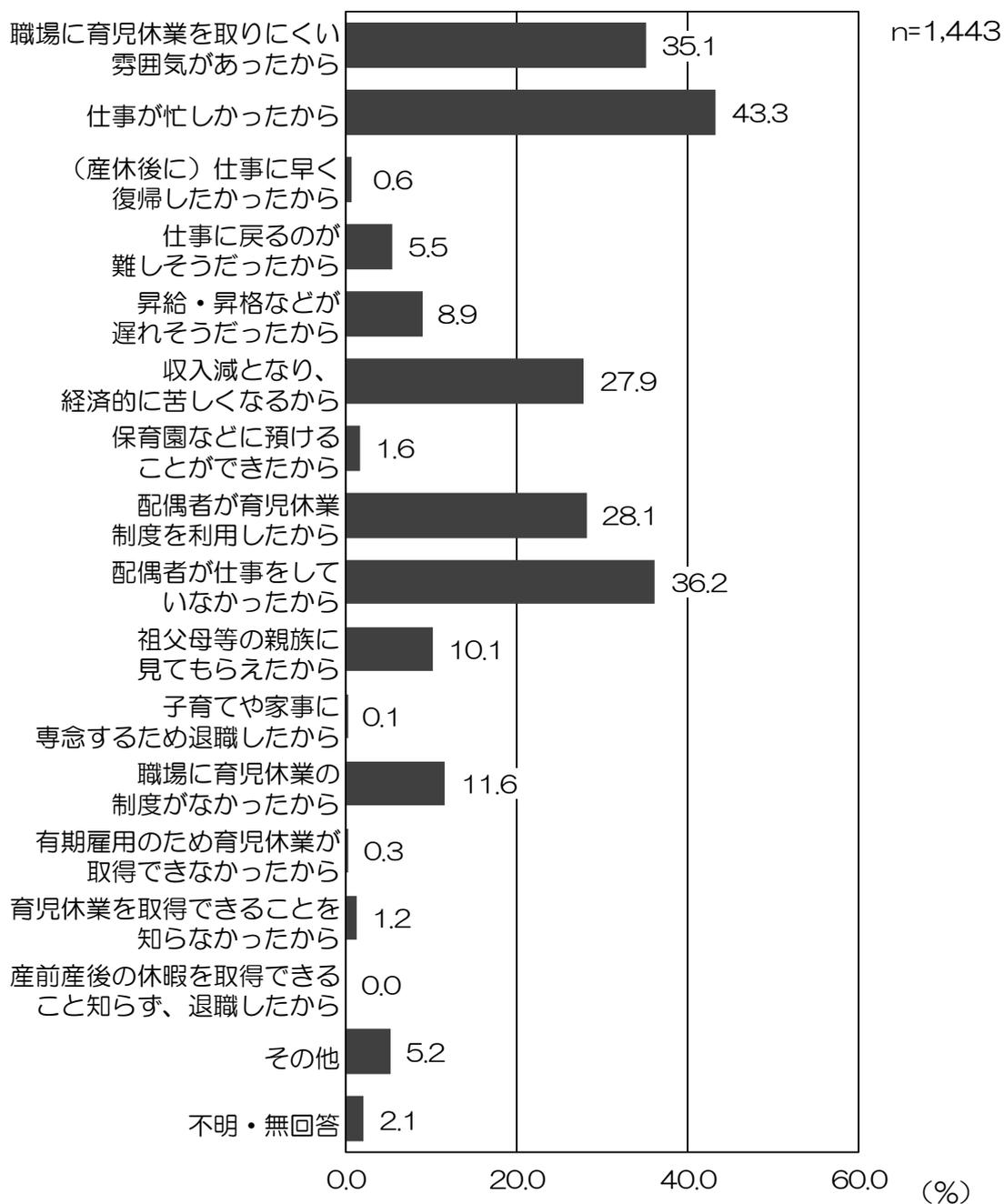
(1)母親が育児休業を取得していない理由

母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職したから」が 39.5%と最も多く、次いで「その他」が 24.4%、「職場に育児休業の制度がなかったから」が 15.1%となっています。



(2)父親が育児休業を取得していない理由

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかったから」が43.3%と最も多く、次いで「配偶者が仕事をしていなかったから」が36.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから」が35.1%となっています。



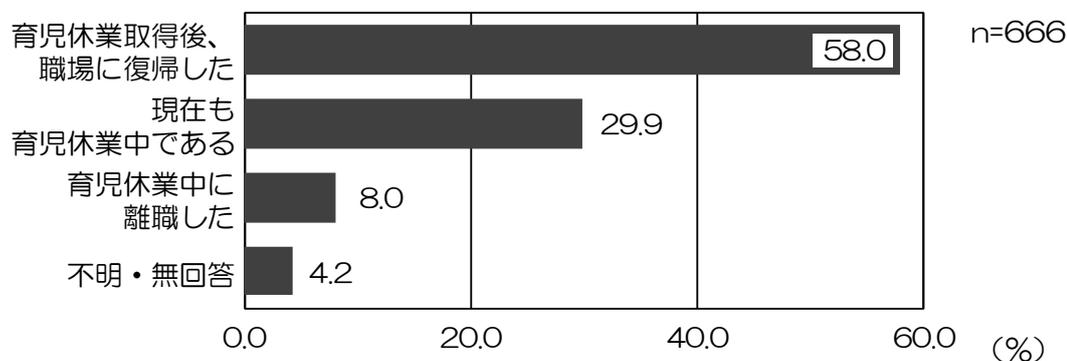
【問 47 で「2. 」(取得した・取得中である)を選んだ方に伺います】

問 48 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

(単数回答)

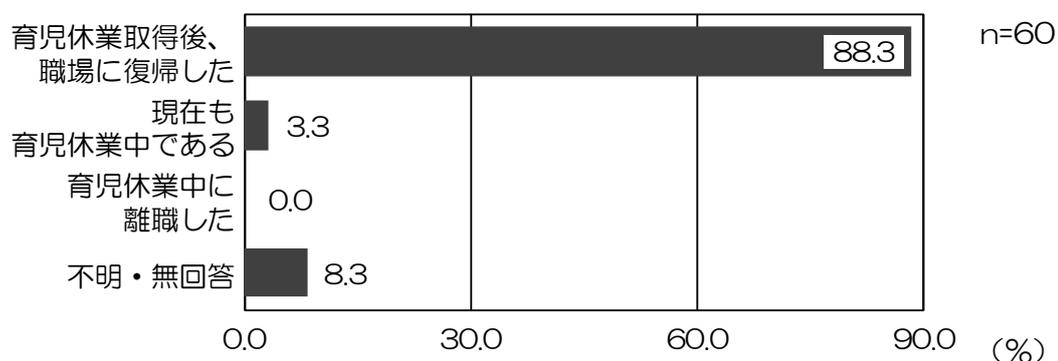
(1)母親の育児休業取得後の職場への復帰

母親が育児休業取得後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 58.0%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 29.9%となっています。



(2)父親の育児休業取得後の職場への復帰

父親が育児休業取得後職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 88.3%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 3.3%となっています。



【問 48 で「1.」(育児休業取得後職場に復帰した)を選んだ方に伺います】

問 49 育児休業取得後、職場に復帰した時のお子さんの年齢はいくつでしたか。

また、3歳まで育児休業を取れるとしたら、いくつまで取りたかったですか。

(1)母親が職場に復帰した時のお子さんの年齢とその希望

母親が復帰した時のお子さんの年齢については「1歳」が51.3%と最も多く、次いで「0歳」が35.0%となっています。希望については、「1歳」が37.3%と最も多く、次いで「3歳」が33.9%、「2歳」が16.8%となっています。

(単位：%)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	・不 無明 回答
復帰時 (n=386)	35.0	51.3	2.8	0.8	0.3	0.0	9.8
希望 (n=386)	2.3	37.3	16.8	33.9	0.0	0.0	9.6

(2)父親が職場に復帰した時のお子さんの年齢とその希望

父親が復帰した時のお子さんの年齢については「0歳」が62.3%と最も多く、次いで「1歳」が13.2%となっています。希望については、「1歳」が30.2%と最も多いものの、次いで「0歳」とともに「3歳」が15.1%となっています。

(単位：%)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	・不 無明 回答
復帰時 (n=53)	62.3	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	24.5
希望 (n=53)	15.1	30.2	0.0	15.1	0.0	0.0	39.6

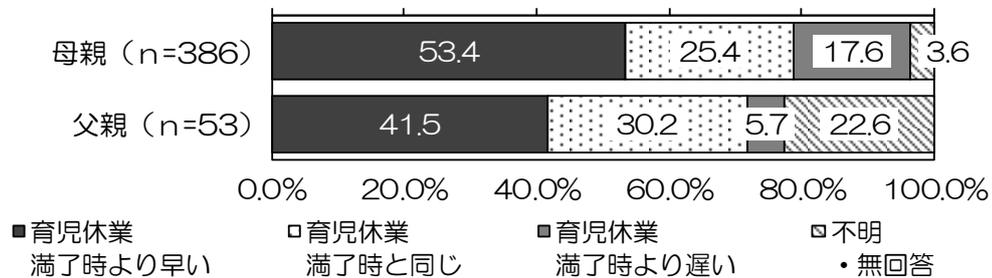
問 50 育児休業から職場に復帰した時期をお答えください。 (数量回答)

育児休業から職場に復帰した月については、母親で「4月」が64.5%、父親で「1月」が20.8%とそれぞれ最も多くなっています。

(単位：%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明・無回答
母親 (n=386)	1.8	1.3	2.8	64.5	13.7	2.1	2.3	0.8	0.8	2.6	1.3	2.6	3.4
父親 (n=53)	20.8	3.8	1.9	7.5	11.3	5.7	1.9	3.8	0.0	9.4	1.9	3.8	28.3

問 50 育児休業から職場に復帰したのは、育児休業満了時と比べてどうでしたか。
(単数回答)

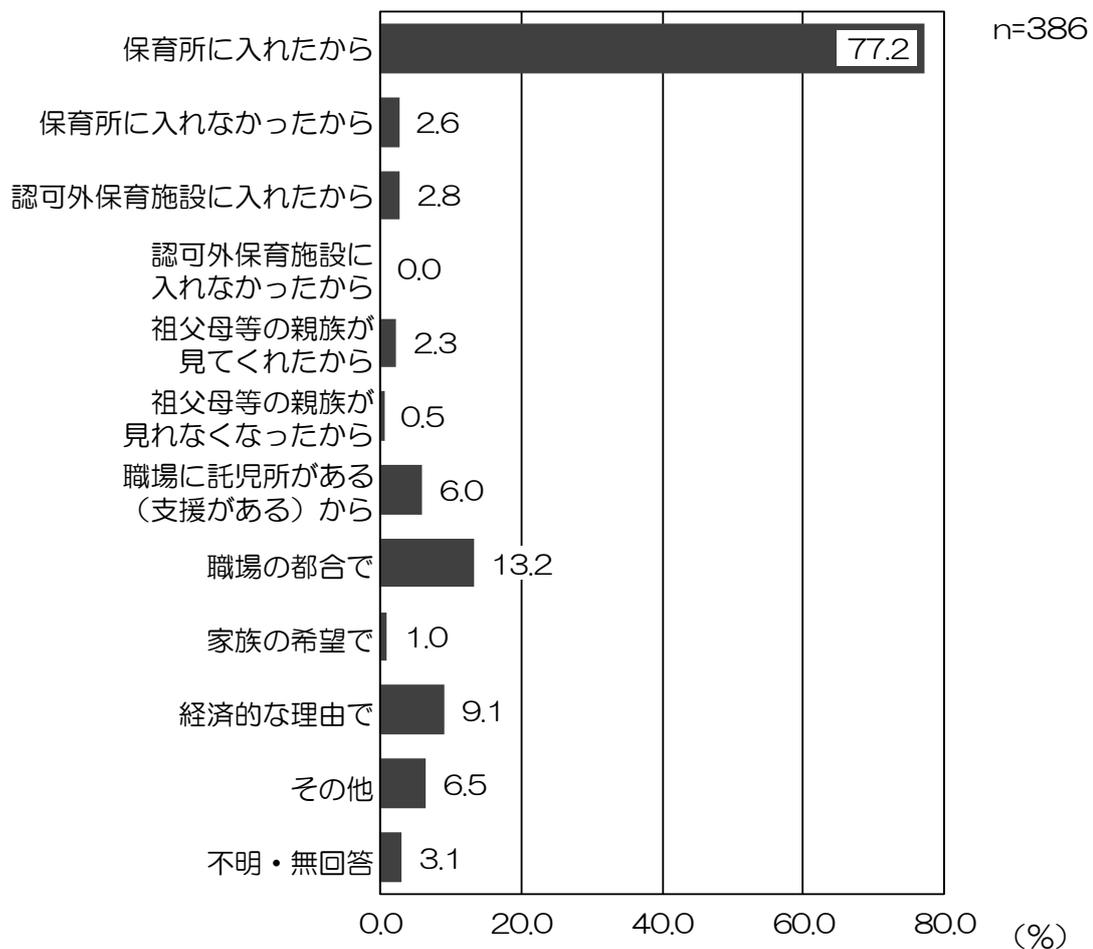
育児休業満了時と比べた、育児休業から職場への復帰時期については、「育児休業満了時より早い」が母親で53.4%、父親で41.5%と最も多くなっています。



問 50 育児休業から職場に復帰する時期が決まった理由をお答えください。
(複数回答)

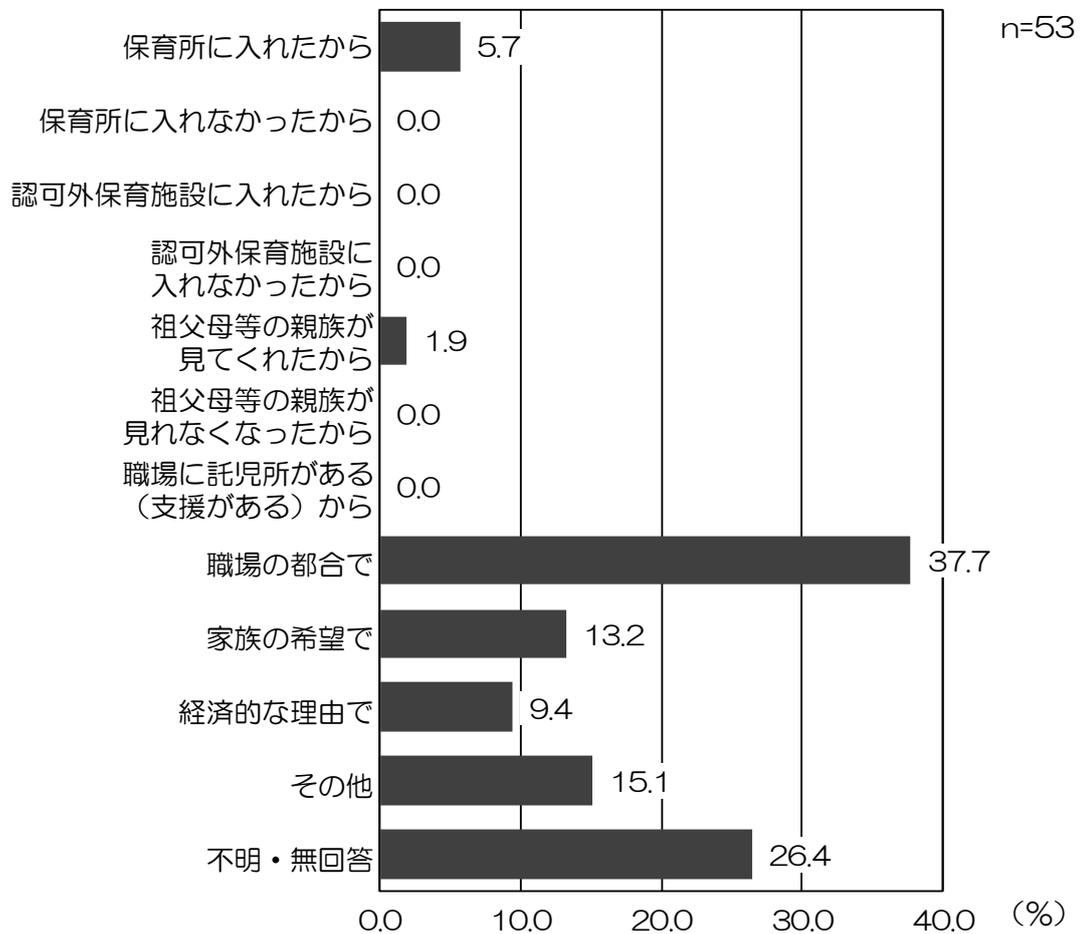
(1) 母親が職場に復帰する時期が決まった理由

母親が育児休業から職場に復帰する時期が決まった理由については、「保育所に入れたから」が77.2%と最も多く、次いで「職場の都合で」が13.2%、「経済的な理由で」が9.1%となっています。



(2)父親が職場に復帰する時期が決まった理由

父親が育児休業から職場に復帰する時期が決まった理由については、「職場の都合で」が37.7%と最も多く、「その他」が15.1%、「家族の希望で」が13.2%となっています。

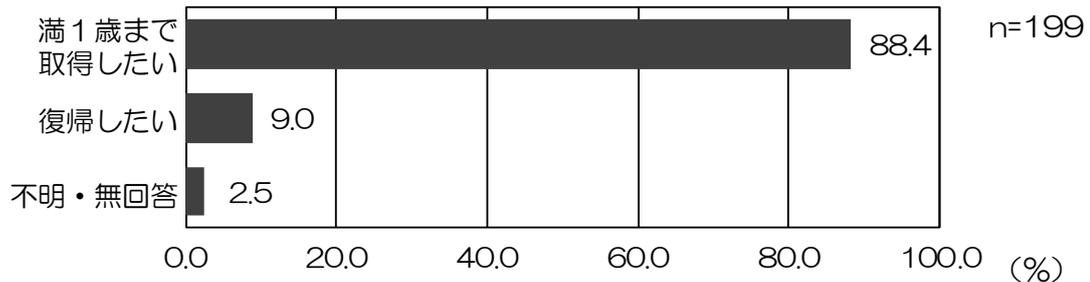


【問 48 で「2. 」(現在も育児休業中である)を選んだ方に伺います】

問 51 お子さんが満1歳になった時に必ず預けられる所があるとしたら、満1歳になるまで育児休業を取得しますか。母親・父親のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

(1)育児休業中の母親が満1歳まで育児休業を取得したいか

育児休業中の母親が満1歳まで育児休業を取得したいかについては、「満1歳まで取得したい」が88.4%と「復帰したい」の9.0%を上回っています。



(2)育児休業中の父親が満1歳まで育児休業を取得したいか

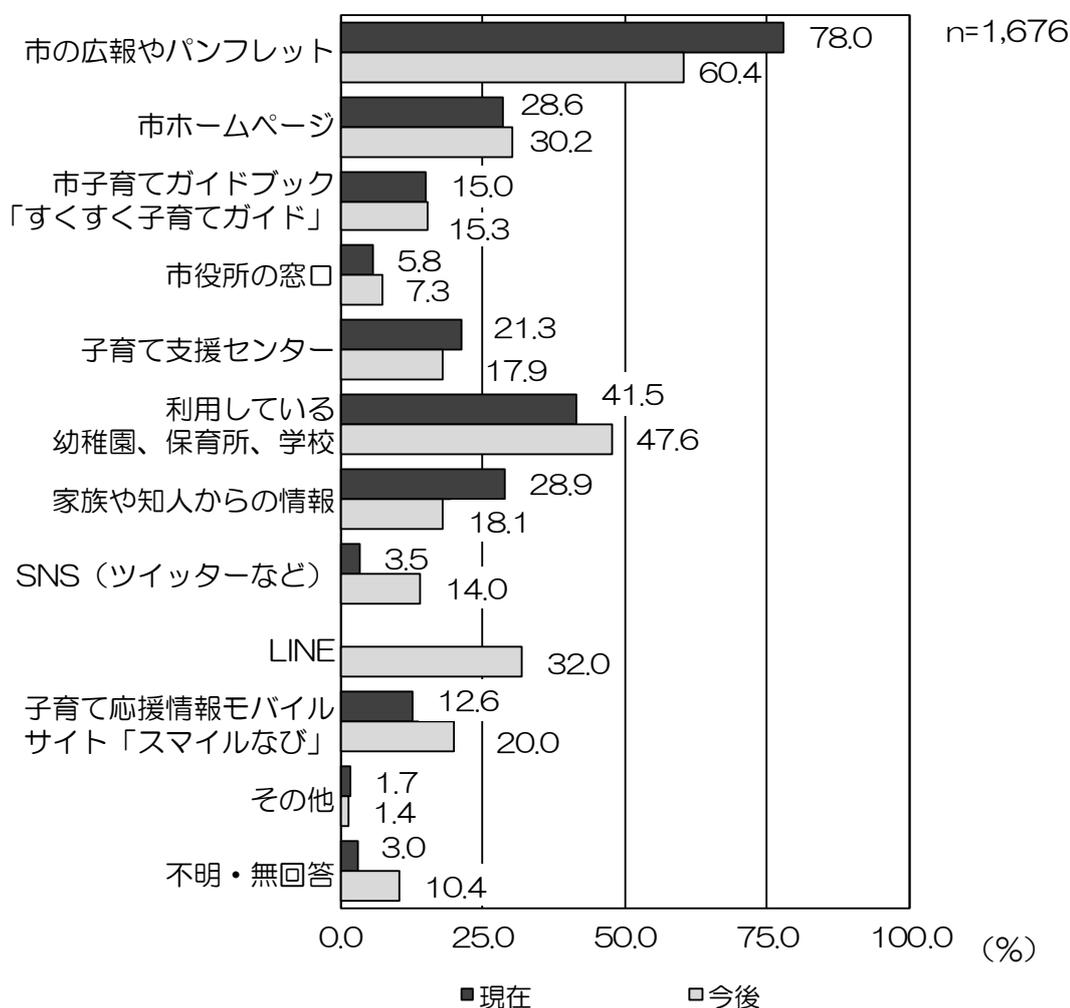
育児休業中の父親が満1歳まで育児休業を取得したいかについては2件の有効回答があり、どちらも「満1歳まで取得したい」でした。(図省略)

【全員に伺います】

問 52 富士見市の子育て施策などに関する情報を、どのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。それぞれについて、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

子育て施策等に関する情報をどのように受け取っているかについては、「市の広報やパンフレット」が78.0%と最も多く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」が41.5%、「家族や知人からの情報」が28.9%となっています。

今後受け取りたい方法については、「市の広報やパンフレット」が60.4%と最も多く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」が47.6%、「LINE」が32.0%となっています。なお、「LINE」については、今後の希望についてでのみ選択肢に含めています。



**問 53 最後に、子育て支援の充実などに関して、ご意見がございましたら、
ご自由にご記入ください。 (自由回答)**

自由記述欄には734名の方からご意見をいただき、その内容としては「保育サービスについて」が295件、「子育て支援サービスについて」が277件などでした。全ての内訳は以下の表の通りです。なお、複数のご意見をお書きいただいた方についてはその全ての分類についてカウントしているため、表中のご意見の合計数は1,122件となっています。

分類	ご意見の数
1. 保育サービスについて (保育所、幼稚園、病児保育など保育サービス)	295件
2. 子育て支援サービスについて (上記以外のサービスや、全体的なことなど)	277件
3. 遊び場や居場所について (公園や児童館等、場に関すること)	137件
4. 経済的支援について (経済的支援、補助に関すること)	129件
5. 小学校入学後の預け先について	89件
6. 道路や交通について (道が悪い、交通が不便等)	51件
7. 健康・医療について (健診や病院に関すること)	43件
8. 学校関係、教育について	34件
9. その他	67件

次のページから、自由回答のご意見を一部抜粋して上の表の分類ごとに掲載しています。掲載にあたって、文末・単語等で一部修正を加えさせていただいている箇所があります。

1. 保育サービスについて(295 件) (保育所、幼稚園、病児保育など保育サービス)

- 保育士の数が不足している為に、障がい児が断られる事やとても払えない様な高額料金でないと見て貰えない事が多いです。
- 保育士さんの待遇を良くして、保育士をやりたいという人を増やして、保育園を増やしたり、今あるそれぞれの園にもっと保育士を増やす様にしてほしいです。
- 親が病気、通院の時にも保育園で預かってほしい。体調が帰宅中に悪くなり、病院に行くので、延長をお願いしたら、親の通院でお預かりはできない。就労が理由で預かっているので迎えに来てくれと言われて、迎えに行き、体調が悪いまま何もできない状態で夜遅くの旦那の帰りを待つことになり、子どもも可哀想で、自分も翌日まで体調悪化で大変な思いをした。少し融通を利かせてくれてもいいと思う。
- 先生方はとても良くしていただいているのですが、園としてあまり預かりたくないのかな、と感じることも多々あります。行事では必ず親は休みを取る事を強制され、園が預かるか預からないかのルールも二転三転するので。前は預かり OK だったのが、今回は NG ということも。働いている親には、預けにくい環境に思えます。先生方がとてもいい人たちばかりなので、園としてもっとよくしていただけたらと思います。
- 1才で子どもを保育園に入れられるか不安だったため、0才で入れることにしました。もし満1才で確実に預けられる所があれば自分で1才までは子育てしたかったです。初めてのつかまり立ちやつたい歩きなどを見るのは自分ではなく保育園の先生なのだろうと思うと寂しいです。
- ベビーシッターやファミリーサポートがあることは知っているが、この世の中、子どもへの暴力や虐待事件が増えており、他人に預ける事にすごく躊躇う。親族も遠方の為、安心して子どもを預けられる環境ではない。幼稚園に関しても、園の様子がわかり、先生方とのコミュニケーションが取りやすく、また子どもたちとの関わり方をよく見て選択するようになった。そのため口コミも重要な情報源となる。各施設の現状や実績の様な情報をもっとオープンになると良いと思う。
- 保育園に入園できないことが就労を妨げている。現在は就労していなくても就職予定のある者の子は、等しく入園できるようにしていただきたい。
- これから働く女性もどんどん増えていこうし、保育所そして保育士も増やしていかななくてはならないと思います。育休の取り方も正直保育所に関わることが気がかりで、充分に取れていないママは多いです。0歳児からの方が入りやすいからとか、上の子をやめさせなければならないからとか。もっと色々な選択ができるようになっていくといいな、と感じています。

(1. 保育サービスについて)

- 一時預かりについてです。働いている場合は預けられたり、保育園に入れたりしましたが、無職になった途端に子どもを預けられる場所がなくなりました。二人目、三人目を育てた時はつわりが酷い時、産後間もない時、どうしても預けたいのに役所ではいっぱいです、の一点張りでした。またゆっくり買い物をしたい、気分転換をしたい時など本当、月一回でもいいので一時預かりを利用したいのですが、どの保育園もすぐにいっぱいになってしまいます。もう少し一時預かりの場所、定員を増やすなどの対策をお願いします。
- 3~4 時間でも働きたい人も預けられる施設があればと思います。実際に子どもが小さいうちは短時間で働きたいけど、それでは保育園に受からないし、と話した別のお母さんもいました。フルタイムで働いて、家事育児もほぼ一人でやるのはかなりしんどいです。
- 今回第二子を出産し、無事に保育所にも入れました。しかし兄弟で別々の保育所となり残念です。

2. 子育て支援サービスについて(277 件)

(上記以外のサービスや、全体的なことなど)

- 富士見市がこんなにも沢山の取組をして下さっている事に驚きと感謝の気持ちで一杯です。
- 育児休業中の現在、子育て支援の様々な取り組みに積極的に参加しています。仕事復帰後も参加したいですが、土日祝のイベントは少ない様に思います。
- 生後 2 ヶ月の頃に母子保健推進員の方に来ていただきました。何でも話して下さいと言っていたのでご相談させていただきましたが「医師ではないので。」と何度も言われて、では何を話して相談したら良いのかと解決出来ずモヤモヤしました。予防接種の事で電話した際にはとても親切に教えて貰えて嬉しかったです。初めての育児で不安だったので親切にしていただけた事が嬉しく、涙が出ました。
- 支援センターの情報の一覧(児童館も含む)をもっと見やすくしてほしい。対象年齢が不明だったり、それぞれの HP のリンクをはったりしてほしい。施設ごとにいちいち検索して予定詳細を確認するのが大変で利用意欲が下がる。月齢、学年ごとに参加資格のあるイベント、子育てサロン(要予約なのかも)、情報の集約をネット上で見られる様にしてほしい。
- 車が運転できない人にも行きやすい場所に支援センターがあれば、もっと行きたいと思います。
- 自分の子どもに合わせた情報が自動的に郵便やサイトで確認できるようにしてほしい。確認(情報)する媒体を 1 つにまとめてほしい。

(2. 子育て支援サービスについて)

- 平日1人で子育てをして、日々思うことは「だれかごはん作って」です。お母さん給食があればいいのに、と思います。子どもが少しさわいでも大丈夫なイベントやコンサートをしてほしい。子ども服の無料交換会があるとよい。
- 子育てに関する全ての施策において常に「未来を担う子どもたちにとって、それは良いことであるか、又は有益であるか」を第一に考えていただきたい。大人や親が利便性の追求をするがあまり子どもたちに負担を増やすことがないように、私たち親も自制しながら楽しく暮らしていきたいと思います。
- 子育て支援センターはとても貴重な場所だと思っています。幼児の室内での遊び場が少ないので、行く場所があるだけで助かります。母親としても、心のよりどころになっています。
- リフレッシュ目的でも、気軽に預けられるような場所がほしいです。ファミリーサポートはなんとなく頼みづらいです。
- 子ども未来応援センターがよくわからない。母子手帳を市役所にもらいに行き、子ども未来応援センターに行きと言われたという話をよく聞く。場所も遠いし不便。市役所や出張所でも母子手帳の配布は行ってほしい。
- 情報を取りにくい手間さえ惜しまなければ、十分な支援を得られている。子どもの体の発育や、教育について知る機会があると尚、良いと思う。ママへの精神的なケア。孤立しないようにする工夫。よろしくお願いします。
- 子育て支援は家庭の中に必要だと思います。頼る家族が居ない時、病気やケガ、出産などで困っている時に、何か支援を受ける内容があればいいと思います。
- 子どもの親や祖父母が入院した際、すぐに利用できる制度が欲しい。土日祝問わず頼れるところ。子どもは病院に入れないことがある。病室まで行けない子どもを病院に連れて行けない時、非常に困ることが有る。
- 「スマイルなび」のアプリ化をお願いします。
- パンフレットなどで「いつ」「どこで」「何があるか」はわかるのですが、それぞれがどのような集まりで、うちの状況にはどのイベントが向いているのかがよくわからないのが現状です。離乳食講座のように、明確なもの以外、ほとんど同じに感じ、全体的に気おくれしてしまいます。「はじめての参加におすすめ」「お母さん同士もゆっくりおしゃべりできます」「相談に乗る〇〇がいます」など特徴がわかりやすくなっていると、少し参加しやすいかもしれません。
- 他市より一年前に転居してきましたが、富士見市は子育て支援の政策が全然できていないと思います。
- こんなに色々な事業があるのだと初めて知った。もう少し興味を示そうと思った。

(2. 子育て支援サービスについて)

- 自営で農業をしており自宅を離れることが難しい。児童館や支援センターにもなかなか足を運べないので市の情報が得にくい。スマイルなびがあることも知らなかったなので、出産時などにどうやったらネット上でも情報が得られるのかもっと教えて貰えたら有難いです。
- 発達支援がもっとマンパワーが増えてサービスが向上することを願います。健診で発達に問題があっても保健師さんは様子を見て大丈夫とおっしゃる事が多いですが、心理の先生に気軽に話せる場を設けたらもっと早期に気づけるのに、と思う子が周りにたくさんいます。
- 保育付の勉強会（パソコンや色々な資格をとる）があったらいいなと思いました。今すぐは無理でも将来的に働きたい人も育児中少しでも子どもと離れて勉強することで前進している気持ちになれるのではと。
- 以前住んでいた新宿区では産後 2~3 か月目に保健センターで集まりがあります。（何月生まれ対象）そこで産後ケアの話や育児で困っていることがないか話し合うのですが、その時に住んでいる町ごとに円になります（例えば鶴瀬東、羽沢など）。そこに保健師さんや看護師さんがファシリテーターとしてはいります。最後に連絡先交換（自発的に）をするので近所にたくさんのママ友がここでできて一緒に児童館にいたりランチしたりする輪ができました。富士見市でも是非やっていただきたい。市外からの転入組は孤独なママが多いです。私も含めて。
- 子育て支援センター等に行っても母親の輪に入れず、子どもと2人で遊ぶ感じになってしまっていて行きづらい。足が遠のく。支援センターにいる先生がもっと子どもや母親と話しをする等先生と近くなれば母親の輪に入れなくても、行きやすくなるし、相談もしやすいので、事務的な対応でなく、やらないといけない仕事もあるかもしれませんが、話しかけやすい感じにしてほしい。

3. 遊び場や居場所について(137 件) (公園や児童館等、場に関すること)

- 子どもがのびのび楽しく遊べる大きな公園をつくってほしいです。
- もっと児童館の施設を充実させてほしい。大型施設を取り入れてほしい。市内の公園の遊具を充実しきれいに保ってほしい。
- 雨の日も遊べる室内施設がない。
- 公園等、子どもが遊ぶ所には必ず駐車場を設置してほしい。
- 富士見市は「文化の杜」など大きい広場はあるが、実家の東京大田区等と比較すると近所の公園が少なく子どもの遊び場が少ない。ボール遊びをしているだけで近所から怒鳴られ、肩身の狭い思いをしている。

(3. 遊び場や居場所について)

- 公園は沢山有るけれど1歳、2歳くらいの小さい子が安心して利用できる所が無い。ブランコも足をはめて落ちない様な物や床がクッション材になっているような所がほしい。児童館も駐車場が無いので朝霞市の児童館まで行っている。遊具も充実していて年齢別に遊べる時間や部屋が分かれていて安心できる。
- つるせ台小学区に児童館、又は子どもたちが出入りできる場所があったらいいなと、常々思っています。暑い時期、寒い時期、長期休暇時等々公民館や体育館開放とかも有れば良いなと思います。
- 文化の杜の遊具、バナナ滑り台になってから危険です。2歳の時に分岐でうまく方向が決まらず、落ちて大泣きました。他にも落ちている子が多く、危険な滑り台で有名です。
- 公園の遊具が少ないし、つまらない遊具ばかり。児童館とお年寄りの施設を融合させた様なのにすれば子どもとお年寄りと触れ合いになって良いのではないのでしょうか。屋上にゲートボール場を作ったり、ローラースケート場にしたり、お手玉作製やあぶりだしなど。
- 大きい公園が欲しい。林や山もあるような。文化の杜のキラリの池が汚い。生き物がいるようなビオトープに整備してほしい。
- 公園をキレイにしてほしい。トイレを増やしてほしい。
- 公園に子どもたちを見守っていてくれる人が欲しい。何もしなくてもいいので不審者がいないか見てほしい。

4. 経済的支援について(129件)

(経済的支援、補助に関すること)

- 延長保育の金額が高くて預けて働けない。預けて働いてもプラスマイナス0じゃ意味がない。
- 共働きだからといって手当が減らされたり、支援が受けられないのは不公平に思う。
- 子どもの医療費無料はすごく助かります。インフルエンザや任意の予防接種の負担も軽減されたらもっと助かります。
- 医療機関の窓口無料化の市町の拡大。一旦自費精算後に手続きをすれば全額返金となるが、就労の身で有り、保育施設へのお迎えもギリギリの中、手続きをするのは中々容易ではないと思っています。
- 高校生まで医療費を無料にしてください。
- 母子家庭でも同居家族に収入が有ると手当を貰えないと言う制度を見直してほしい。資金援助は一切受けて無く世帯も別なのに変だと思う。
- オムツやミルクなどの補助券。父親も気兼ねなく休める育休制度。

(4. 経済的支援について)

- 幼稚園の制服代、体操着代、そういった物全てを無料にしてもらいたい。また、妊婦健診や出産なども完全無料化してほしい。子どもは欲しいが、お金がかかって産むことが難しい人が多く感じる。
- 幼児教育、保育の無償化の決定した具体的な内容が知りたいです。所得や通っている園によっては、無償化の対象にならないのが不満です。子ども全てに同じサービスや支援があるといいと思います。条件を複雑にするのではなく、一律のサービスや支援を希望します。
- ファミリーサポートの送迎の利用について求職・就労以外にも病気等で送迎できない人の為にも半額支給があればいいと思う。

5. 小学校入学後の預け先について(89件)

- パートをしているが、今は幼稚園の預かり保育がある為安心して仕事ができるが、今後小学1年生になった時、最初の下校はしばらく早いのと、放課後の子どもの預かりの場所がなく1年生では心配。学童に入れる条件もみたしていない程度の仕事なので、1人で自宅は心配です。
- 学童に1日だけでも入れるようにしてほしい。病院等で帰りが遅くなる時に預かり先がない。
- 未就学児の間は、時短が取得できるが、小学校入学後はそれが出来なくなるため、朝夕や長期休みの預け先の体制がきちんとしているか心配しています。
- 学童の人数が多く、低学年の子どもでもすぐに辞めたがるとよく耳にします。保育所に預けている今より、小学校入学後の事が不安でなりません。各保育所でも学童クラブ事業を併設してくれたらいいのと思います。

6. 道路や交通について(51件)

(道が悪い、交通が不便等)

- 通学路の歩道と自転車専用道路の整備をしてほしいです。
- 通学路にガードレールを作してほしい。街灯が少ない。
- 増進センターは行きにくすぎます。利用し易い立地に有れば良い。タバコのポイ捨て、歩きタバコと歩道に傾斜、デコボコ、段差でベビーカーを押しにくいのが気になります。
- 富士見市内の交差点は歩行者用信号機が少なく歩道も狭い場所が多すぎます。
- 市営バスの料金が下がり、本数が増えればもっと利用したいと思う。
- 市内循環バスがすごく不便です。ベビーカーが乗せられない。年寄り多くて、子連れ、妊婦が席を譲る。そもそも便数が少ない。運転手もすごく冷たくてママたちに不評。
- 歩道もまともに無く、どんな細い道でも車がすごいスピードで走るし歩行者に対してマナーの無い車が多く、子どもと手を繋いで公園まで気軽に行くなんてことが絶対に出来ない所だと強く感じました。

(6. 道路や交通について)

- 施設も遠かったり、バスも充実していないし、移動も免許がない人にとっては大変。
- 住宅街の道路の停止線や標識の更新等も進めてほしいです。これから大きくなる沢山の子どものたちの行動範囲が拡大した時に交通ルールを守りやすい地域であれば悲しい事故なども減ると思います。

7. 健康・医療について(43 件)

(健診や病院に関すること)

- 小児医療の拡大をお願いしたいです。
- 子どもの定期検診が少ないのが心配。1歳7ヶ月を過ぎたが、1歳半の検診のお知らせがいつまでたっても来ないので驚いている。
- 母子手帳の交付が子ども未来応援センターのみになってしまい、つわりで大変な時期に遠くまで取りに行かなくてはならず困った。以前のように市役所や出張所でも交付してほしい。
- 増進センターが遠いので、数カ所似たような機能を持つ窓口みたいなものがあればいい。検診の待ち時間が長すぎて人が多いので、悩んでいる事を相談しづらい。1回の人数を減らしたり、時間を午前、午後で分けたりできないだろうか。
- 土日深夜に利用できる医療施設を整備してほしい。
- 検診を日時場所指定でなく、市内のいくつかの医院で、いつでも受けられるようにしていただきたい。もしくは土曜日もやっていただきたい。

8. 学校関係、教育について(34 件)

- 学童や小学校で給食がない日を減らしてほしい。4月は半月以上、その後も長期休みのたびに、お弁当。つらすぎます。費用がかかってももちろん良いので。
- 小学校の情報が中に入っていない。就学前なので、何処で教えて下さるか不明、参観日など、予定を空けなければいけない日は、2~3か月前には知っておかないと休めない。
- 通う小学校を選びたい。
- 教育ですが、小学校に相談員（ソーシャルワーカー）を増やしていただきたいです。就学までのサポートはとても手厚く助かりましたが親の目や手を離れた小学校内のことが心配です。よろしく願い申し上げます。

9. その他(67件)

- 母親たちの中で、ずっと主婦でいたい人は少ないと思います。その中でも子が幼い頃は、一緒にいてあげたくて離職しました。0歳から子どもを預けて復職するのは経済的な理由で止むをえない人を除いて本当は違うと思っています。産休が1年ではなく、3年ぐらい可能であれば、小規模保育などそれほど必要なくなるのに、と思っています。子どもを幼くして預ける環境づくりではなく、幼い頃は親が育てる環境になってほしいと切に願います。
- 子育てをする環境として、両親が定時で帰宅し、家庭で過せる時間を確保することが何より大切ではないかと思う。日本では、父親は残業し、母親が1人で子育てをするケースが多いように感じるが、社会全体で男女問わずライフワークバランスがとれるような仕組み作り、そのための支援が必要なのは。子どもが体調を崩した際も、仕事を休みやすい社会であってほしい。
- 役所が「おせっかい」を避けていたら、子育て支援はうまくいかないし、大きな事件や事故を無くすことはできないと思います。近所づきあいが減ってきているなかで、役所に期待することは増えています。大変なお仕事ですが、頑張ってください。
- 虐待のニュースが後を絶たずとても悲しいです。市で取り組んでいる事が一人でも多くの子の命を救ってくれればと思います。
- 子育てママ、社会復帰のママの就職支援とかあるといいなと思う。
- 施設やサービスがどうということより、子なし世帯、又は高齢者の「子どもがうるさい」という考え方や意識の変化が必要ではないかと思います。

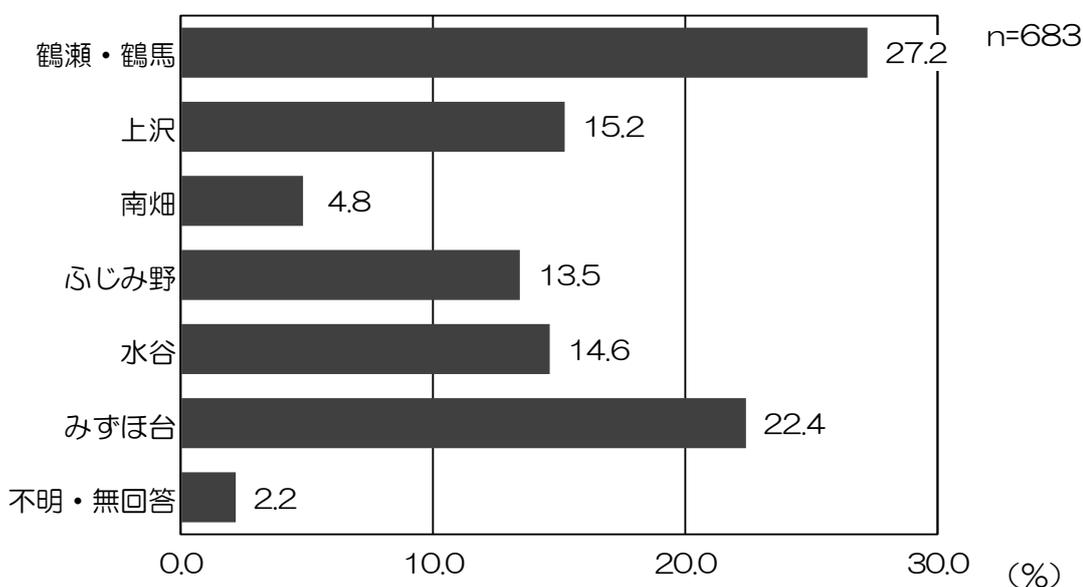
III. 小学生児童調査結果

1 お子さんのご家族の状況

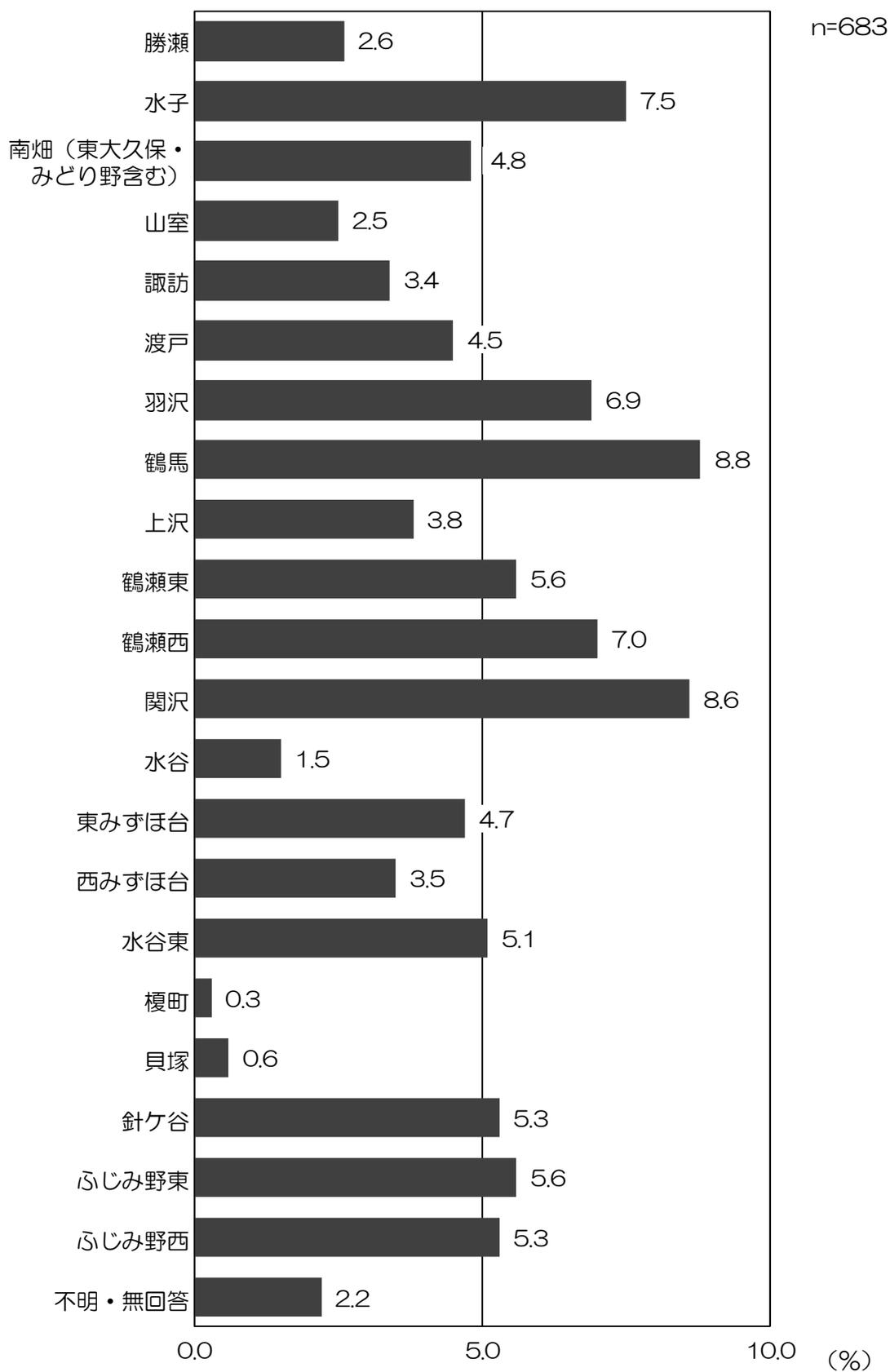
問1 お住まいの地域として、あてはまるものを1つ選んでください。（単数回答）

お住まいの地区については、6つの地区に分類した中では「鶴瀬・鶴馬」が27.2%と最も多く、次いで「みずほ台」が22.4%、「上沢」が15.2%となっています。

21の地域の中では、「鶴馬」が8.8%と最も多く、次いで「関沢」が8.6%、「水子」が7.5%となっています。



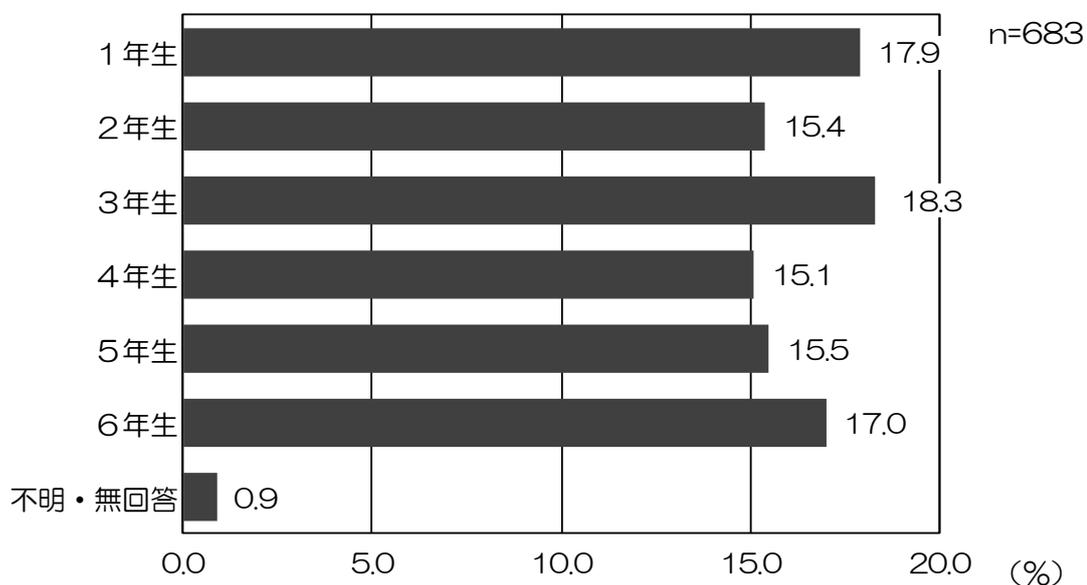
◆お住まいの地域(21 地域別)



問2 お子さんの生年月を教えてください。

(数量回答)

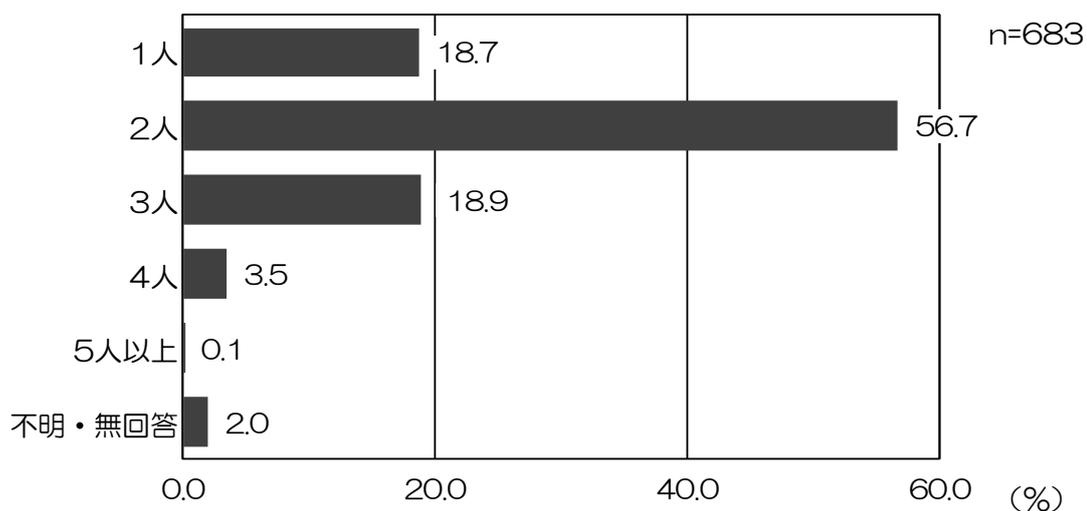
生年月から換算したお子さんの学年については、「3年生」が18.3%と最も多く、次いで「1年生」が17.9%、「6年生」が17.0%となっています。



問3 宛名のお子さんは何人兄弟(姉妹)ですか。宛名のお子さんを含んだ人数をお答えください。

(数量回答)

宛名のお子さんも含めた子どもの数については、「2人」が56.7%と最も多く、次いで「3人」が18.9%、「1人」が18.7%となっています。

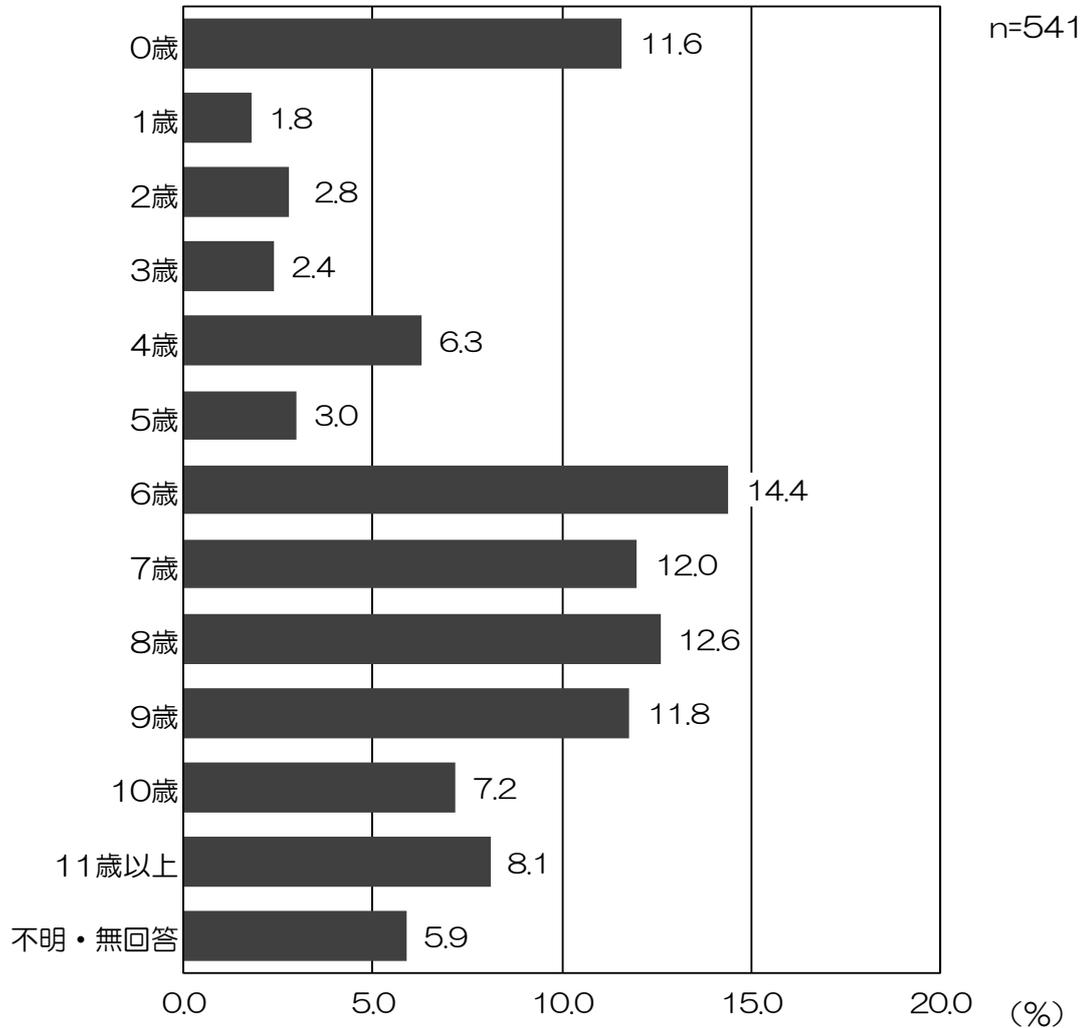


【「2人」以上と回答した方に伺います】

問3 末子の生年月をご記入ください。

(数量回答)

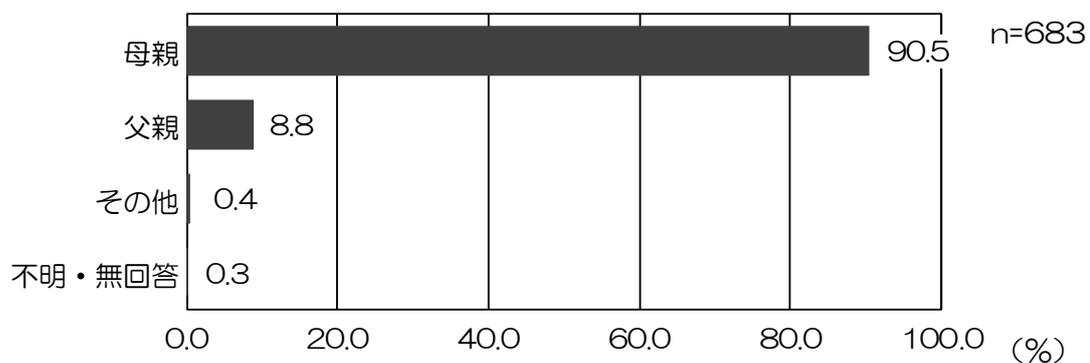
生年月から換算した、末子の年齢(学年年齢)については、「6歳」が14.4%と最も多く、次いで「8歳」が12.6%、「7歳」が12.0%となっています。



問4 この調査票を記入される方についてあてはまるものを1つ選んでください。

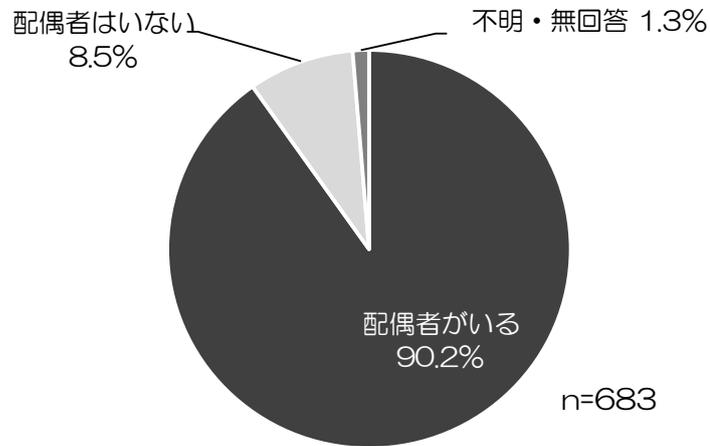
(単数回答)

調査票を回答される方については、「母親」が90.5%、「父親」が8.8%となっています。



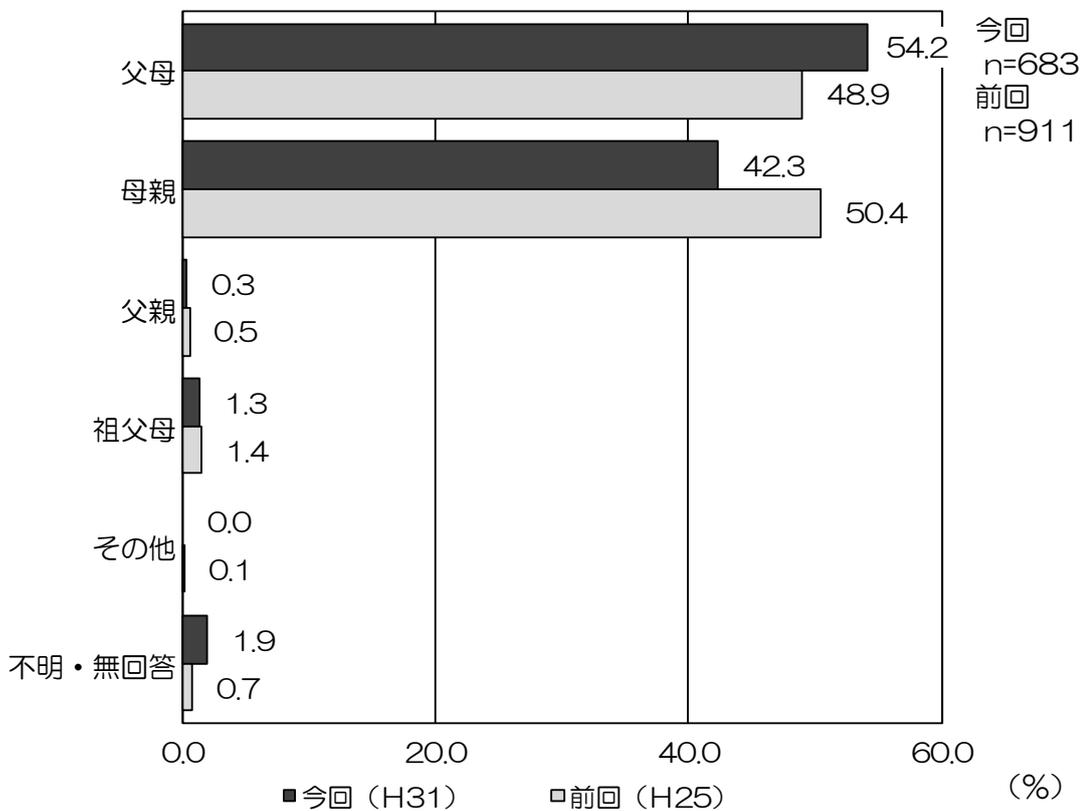
問5 この調査票を記入される方の配偶者について、あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

調査票を回答される方の配偶者については、「配偶者がいる」が90.2%、「配偶者はいない」が8.5%となっています。



問6 主に子育てをしているのはどなたですか。あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

子育てを主に行っている方については、「父母」が54.2%と最も多く、次いで「母親」が42.3%となっています。前回と比較すると、「母親」が8.1ポイント減少し、「父母」が5.3ポイント増加しています。



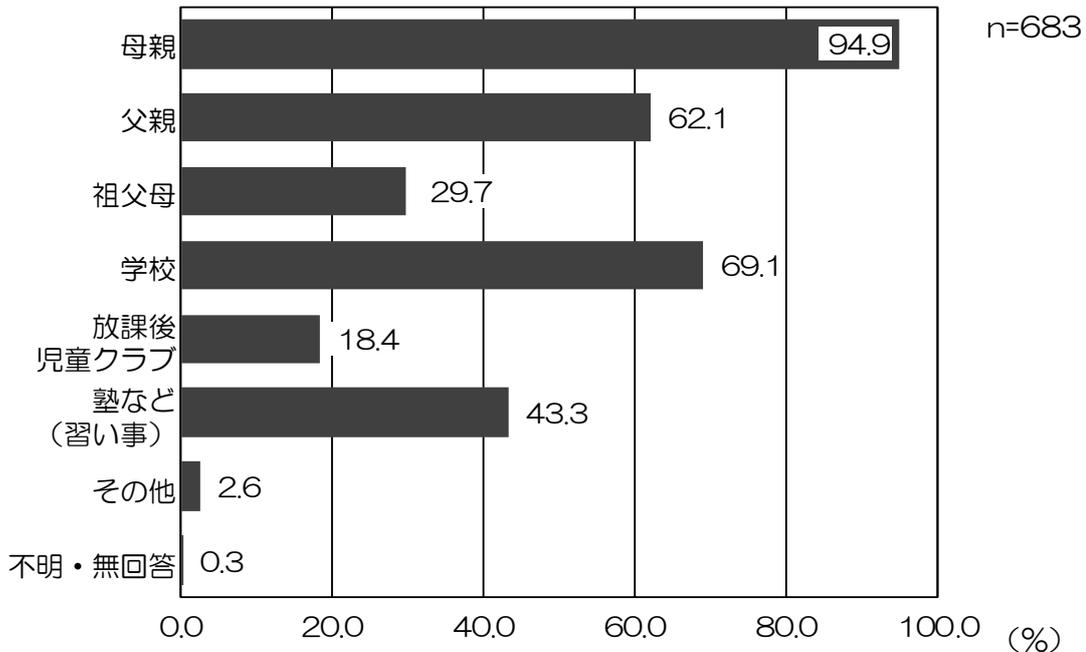
2 子育ての環境

問7 日頃、子育て(教育を含む)にかかわっている方はどなた(施設)ですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

日頃、子育てにかかわっている方(施設)は、「母親」が94.9%と最も多く、次いで「学校」が69.1%、「父親」が62.1%となっています。

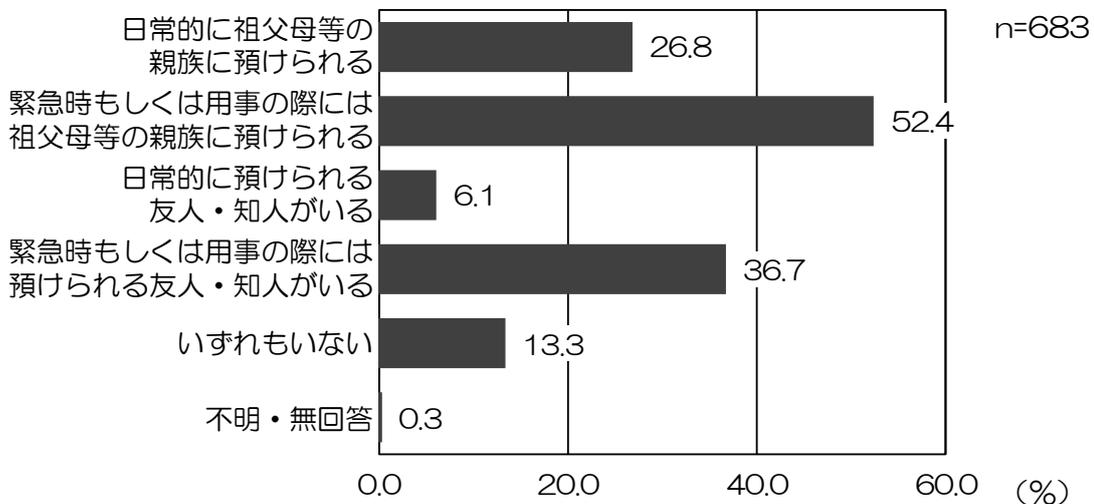


問8 日頃、お子さんを預けられる親族・知人はいますか。あてはまるものを

すべて選んでください。

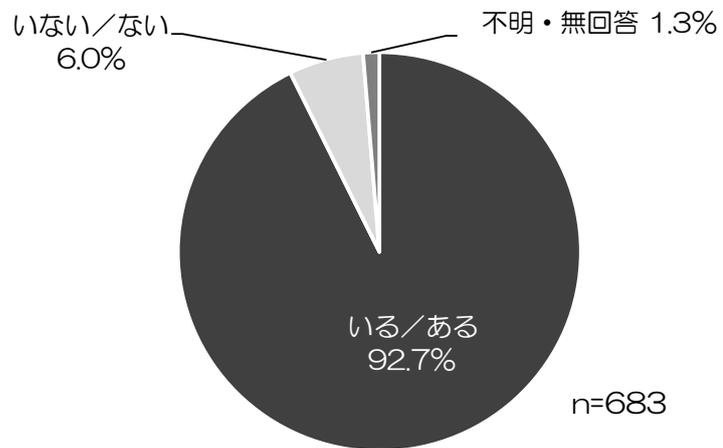
(複数回答)

日頃お子さんを預けられる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる」が52.4%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際に預けられる友人・知人がいる」が36.7%となっています。



問9 子育て(教育を含む)をするうえで、相談できる人(場所)はいますか。あてはまるものを1つ選んでください。(単数回答)

子育てをするうえで相談できる人(場所)については、「いる/ある」が92.7%と、「いない/ない」の6.0%を上回っています。

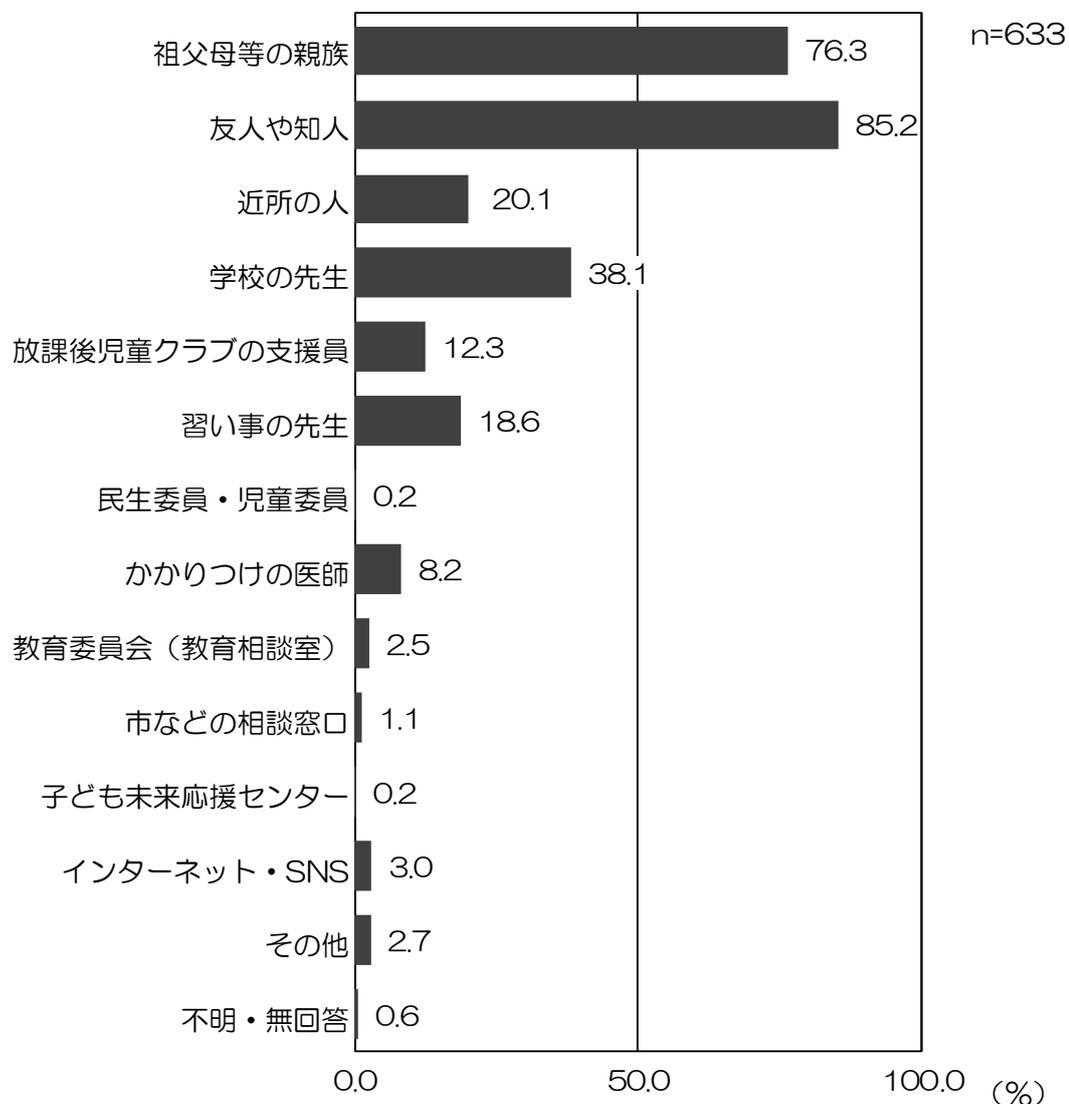


【問9で「1.」(相談できる人がいる又は場所がある)を選んだ方に伺います】

問 10 相談できる人はどなた(場所)ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

相談できる人(場所)については、「友人や知人」が85.2%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が76.3%、「学校の先生」が38.1%となっています。



問 11 子育て(教育を含む)をするうえで、周囲(身近な人、市の窓口など)からどのようなサポートが欲しいと思いますか。ご自由にお書きください。(自由回答)

問 11 には 271 名の方からご意見をいただき、その内容としては最も多い分類から、「一時預かりなどの体制について」が 62 件、「窓口や電話、メールなどでの相談について」が 42 件、「お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて」が 38 件でした。全ての内訳は以下の表の通りです。なお、複数のご意見をお書きいただいた方についてはその全ての分類についてカウントしているため、表中のご意見の合計数は 312 件となっています。

分類	ご意見の数
1. 保育園など、就学前の保育サービスについて	3 件
2. 一時預かりなどの体制について	62 件
3. 家事など、家庭内での子育てサポートについて	10 件
4. お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて	38 件
5. 講座やイベントなどの開催について	6 件
6. 健康・保健・医療などについて	8 件
7. 公園などの遊び場の充実について	20 件
8. 子育てに寄り添う地域づくりについて	9 件
9. 安心・安全な地域環境について	14 件
10. 教育・習い事などについて	36 件
11. クーポンや手当など経済的な支援について	17 件
12. 窓口や電話、メールなどでの相談について	42 件
13. 情報提供について	25 件
14. その他のご意見	22 件

以下に、自由回答のご意見を一部抜粋して上の表の分類ごとに掲載しています。掲載にあたって、文末・単語等で一部修正を加えさせていただいている箇所があります。

1. 保育園など、就学前の保育サービスについて(3件)

- ・ 自営業の為、子どもが小さかった頃は、保育園への入所が条件的に厳しく、でも仕事を休めるものでもない為苦労した。少数派へのケアは難しいと承知はしているけれど、非正規で働く人も多いので、保育所や放課後児童クラブの利用の仕組み条件に工夫が必要だと思う。

2. 一時預かりなどの体制について(62 件)

- ・ 短い時間でも、子どもを預けられる場所があると有り難い。
- ・ 夜間のみ子どもをみてくれるようなシステムがあると助かります。

3. 家事など、家庭内での子育てサポートについて(10件)

- ・ 残業で帰宅が遅くなると、20時位まで子どもが一人で家にいるので、ファミサポか家事代行でどういう支援が出来て、費用等が分かると使いやすかったのかなと思います。もし、そういうサポートがあったら情報を提供してほしい。
- ・ 平日夕食時に学校の役員会がよくあるので、その時の子どもたちを見てほしい。夕食を子どもだけ取るのが可哀そう。

4. お子さんや親の病気など緊急時のサポートについて(38件)

- ・ 就労している為、子どもの突然の熱などの時預けられる人・場所があると助かる。
- ・ 母子と一緒にインフルエンザにかかって大変なことがありました。そういう時に助けてもらえる制度があったらいいと思いました。

5. 講座やイベントなどの開催について(6件)

- ・ 上の子が生まれたばかりの頃、子育て仲間を市の子育てサロンで見つけました。出会いの場があると、孤立せず子育てをするきっかけになり、有難いです。

6. 健康・保健・医療などについて(8件)

- ・ 予防接種の種類拡充(水ぼうそう、おたふく等)予防接種情報拡充。転居前の自治体では、接種すべき予防接種の案内が該当年齢になると送付されてきた。転居後、何の説明もなく案内が来なかったため困った。

7. 公園などの遊び場の充実について(20件)

- ・ ボールを使用可能な公園がほしいです。
- ・ 気軽にいつでも(土日祝日でも)安全に子どもを遊ばせられる屋内のスペースを開放してほしい。遊具があると尚良いと思う。

8. 子育てに寄り添う地域づくりについて(9件)

- ・ 具体的なサポートより、子どもは社会で育てるといった雰囲気醸成が必要。
- ・ 地域全体で挨拶するまちづくりが必要。

9. 安心・安全な地域環境について(14件)

- ・ 子どもたちが放課後、遊ぶ場所や帰宅時間に見守り(パトロール)してくれるサポートがあると安心して遊びに出せる。
- ・ 下校時の見守り、同伴(人や車の往来の少ない地域なので)。

10. 教育・習い事などについて(36 件)

- ・ 習い事紹介。自分が住んでいる地域で、どこでどんな習い事ができるのかジャンル別やエリア別にまとまっているものがあると嬉しい。
- ・ 学校の勉強が遅れている子が塾に行かなくても良い様に学習面でもっとサポートが欲しい。集会所や交流センターで。
- ・ スポーツをさせる場所の提供をしてほしいです。勉強については塾に行かせれば良いと思いますが、バスケットボールやサッカーができる場所が欲しいです。

11. クーポンや手当など経済的な支援について(17 件)

- ・ 教育のフォロー、塾に行くための補助。
- ・ 下の子が産まれた時の上の子のサポート（在宅サービス、補助金など）が欲しい。
- ・ 金銭的に厳しいのでもっと母子家庭のサポートをしてほしい。給食費や、文具等。

12. 窓口や電話、メールなどでの相談について(42 件)

- ・ 1人で悩むより、周囲に人に聞いてもらえると気持ちが楽になる時があるので、まずは相談できる窓口、それから対策を一緒に考えてほしいと思う。
- ・ LINEなど気軽に聞ける方法も良いかもしれません。市の窓口は重すぎる。

13. 情報提供について(25 件)

- ・ 情報提供について、どんな時間でも調べられる環境、例えば市のホームページとかを充実させてほしい。また、ホームページでこんな事が分かる、という資料を広報などで案内してほしい。あとは小学校を通じて資料をもらえるなど。
- ・ 我が子は障害があるので、できるだけ沢山の情報を得たいです。様々な場所から別々に情報発信するのではなく、窓口一つであると良いと思います。それが通学している学校から入手できる方法が一番良いです。
- ・ 埼玉の高校入試は特殊なので、学校でもっと情報提供が欲しいです。

14. その他のご意見(22 件)

- ・ ADHD に対する理解をしてもらえる様なサポートが欲しい。
- ・ 共働きやシングルでの子育てが多いです。その上で PTA 活動を必ずやらなければならないのは非常に大変です。子どもたちのために PTA 活動をサポートしてほしいです。
- ・ 今は特に必要とはしていません。

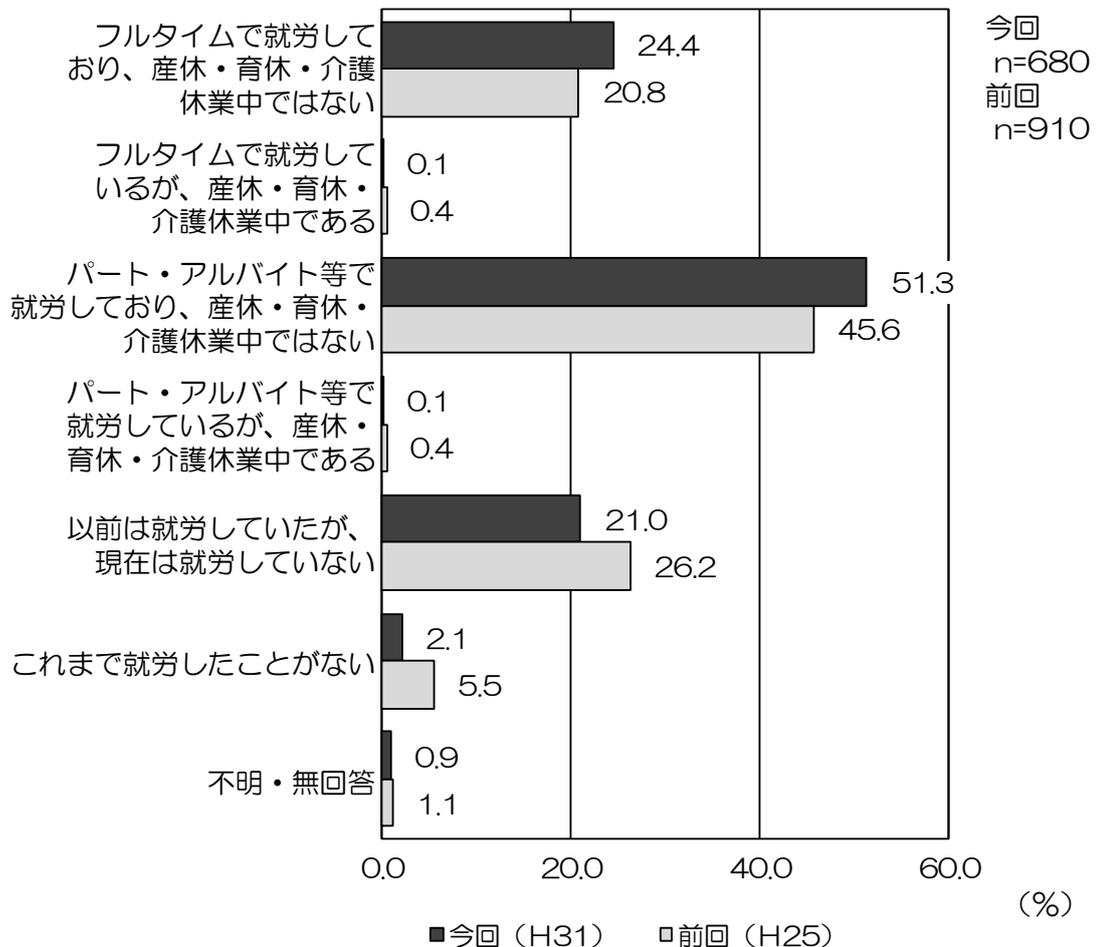
3 保護者の就労状況

問 12 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、あてはまるものを1つ選んでください。(単数回答)

(1)母親の就労状況

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が51.3%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.0%となっています。

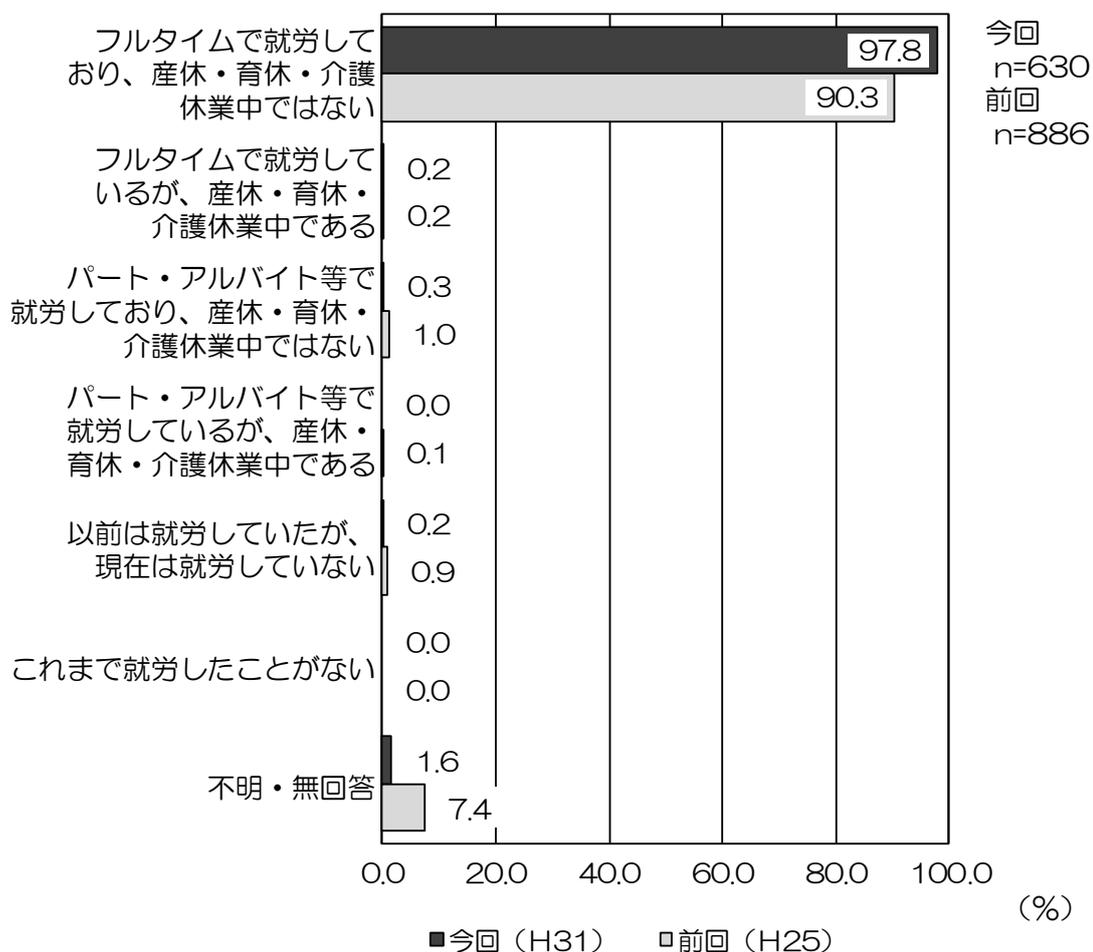
前回と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が5.2ポイント減少し、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が5.7ポイント増加しています。



(2)父親の就労状況

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が97.8%と最も多くなっています。

前回と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が7.5ポイント増加しています。



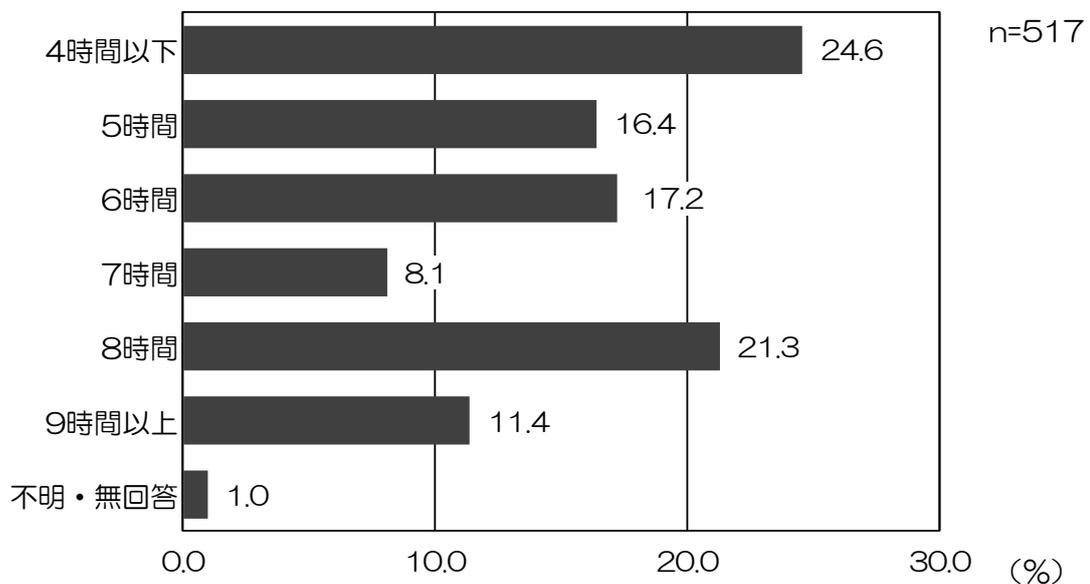
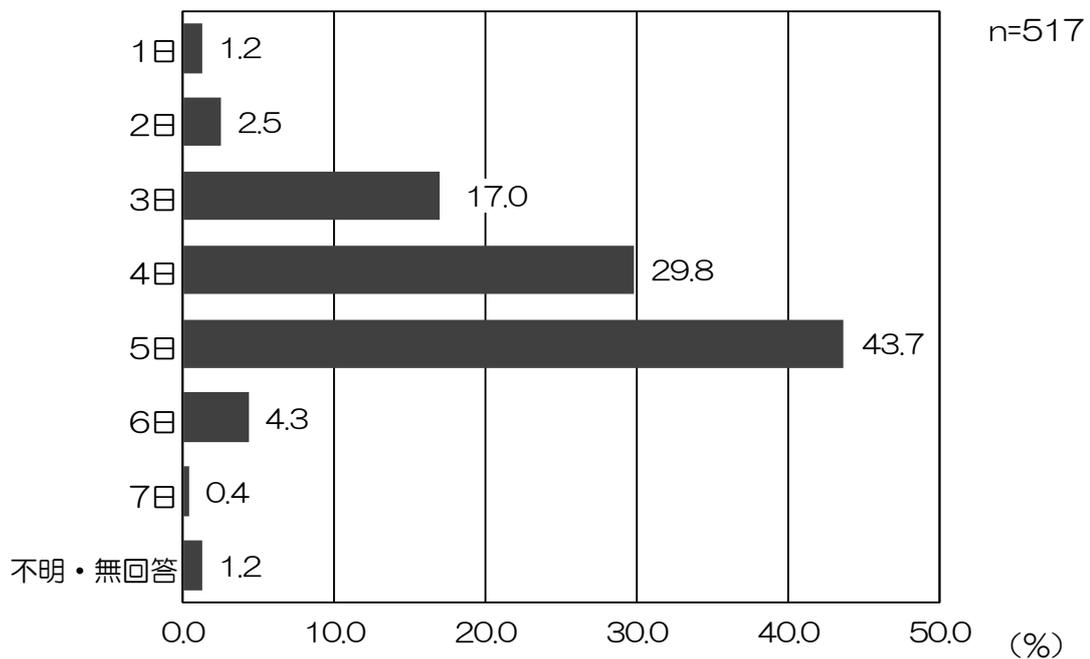
【問 12 で「1. 」から「4. 」まで(就労している)を選んだ方に伺います】

問 13 就労の状況(就労日数・就労時間)をお答えください。一定でない場合は最も多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業前の状況でお答えください。
(数量回答)

(1)母親の就労日数・時間

就労日数については、「5日」が43.7%と最も多く、次いで「4日」が29.8%、「3日」が17.0%となっています。

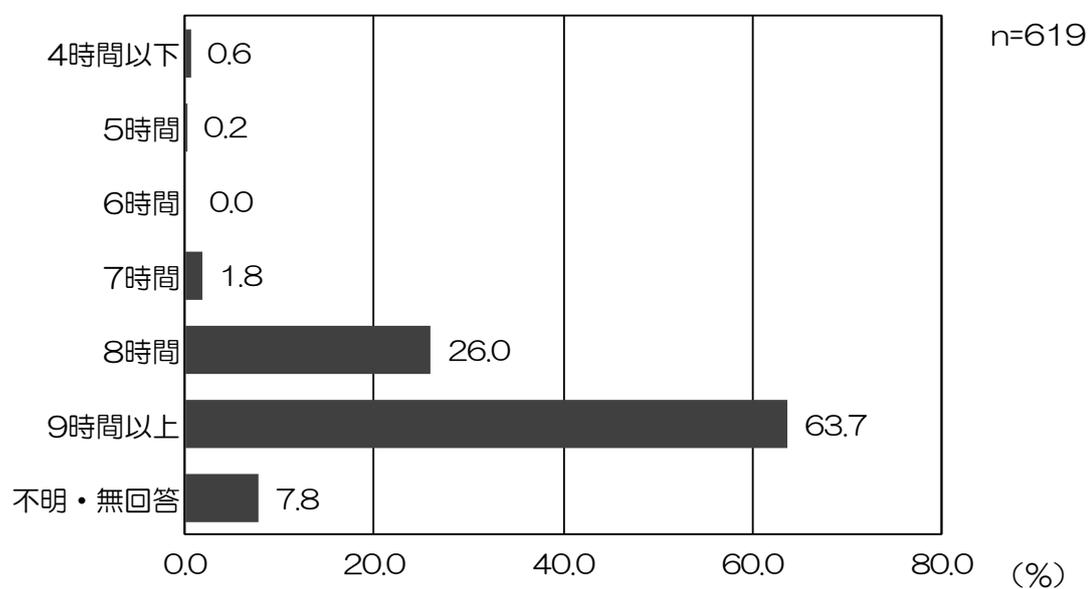
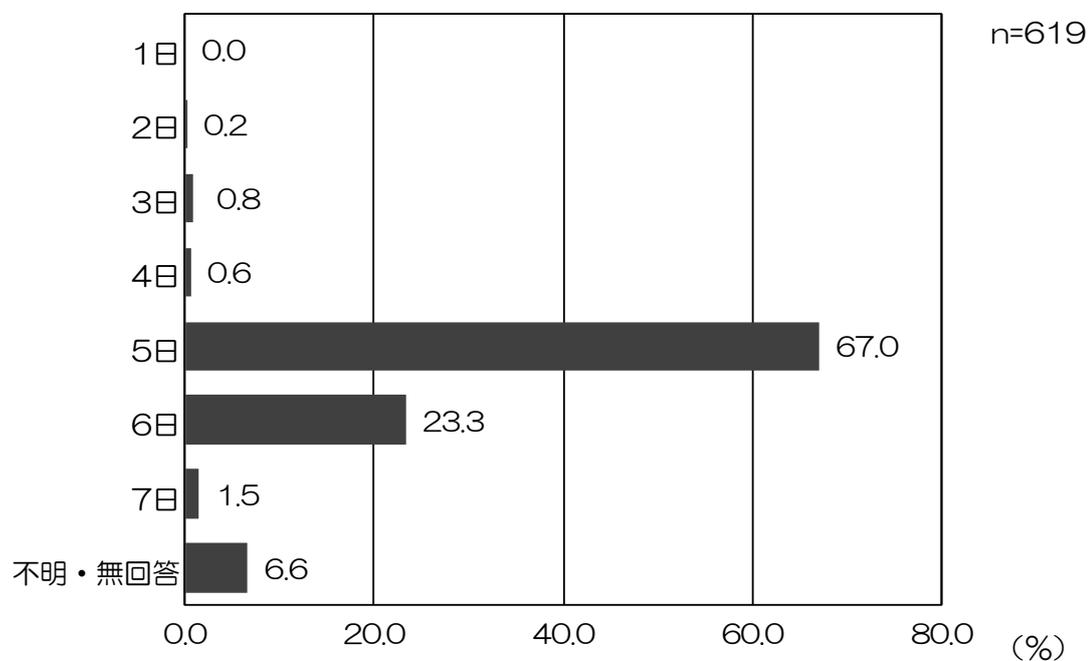
就労時間については「4時間以下」が24.6%と最も多く、次いで「8時間」が21.3%、「6時間」が17.2%となっています。



(2)父親の就労日数・時間

就労日数については、「5日」が67.0%と最も多く、次いで「6日」が23.3%、「7日」が1.5%となっています。

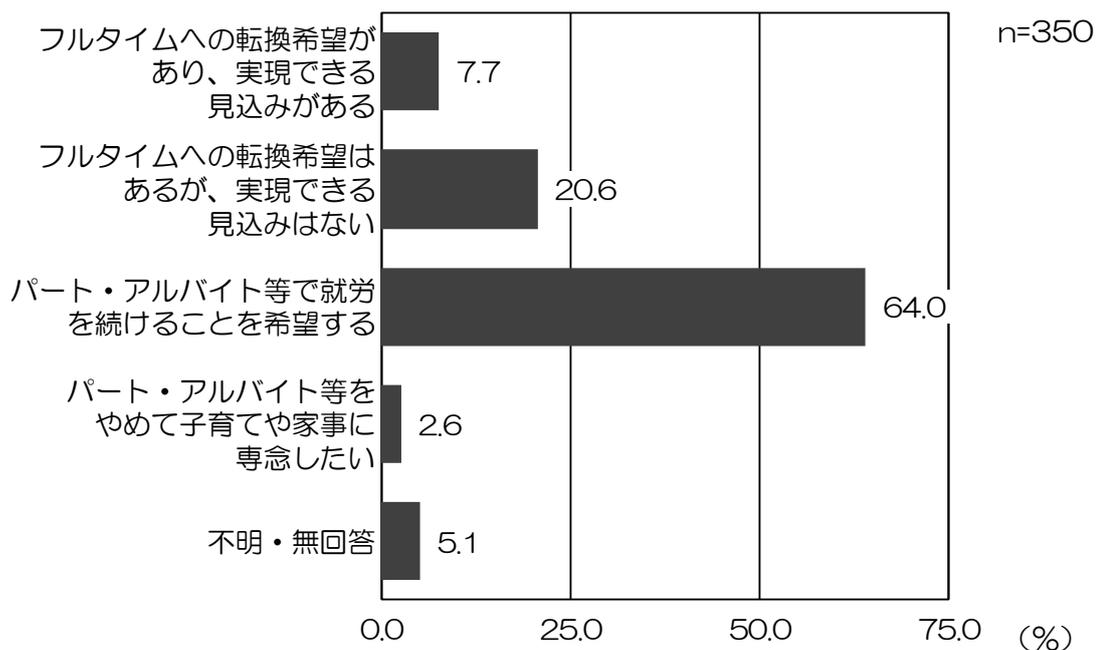
就労時間については「9時間以上」が63.7%と最も多く、次いで「8時間」が26.0%となっています。



【問 12 で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)を選んだ方に伺います】
 問 14 フルタイムへの転換希望はありますか。 (単数回答)

(1)母親のフルタイムへの転換希望

母親のパート・アルバイト等からの就労形態変更の希望については、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望する」が 64.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.7%となっています。



(2)父親のフルタイムへの転換希望

父親のパート・アルバイト等からの就労形態変更の希望については1件の有効回答があり、「パート・アルバイト等で就労を続けることを希望する」となっています。(図省略)

【問 12 で「5.」「6.」(就労していない)を選んだ方に伺います】

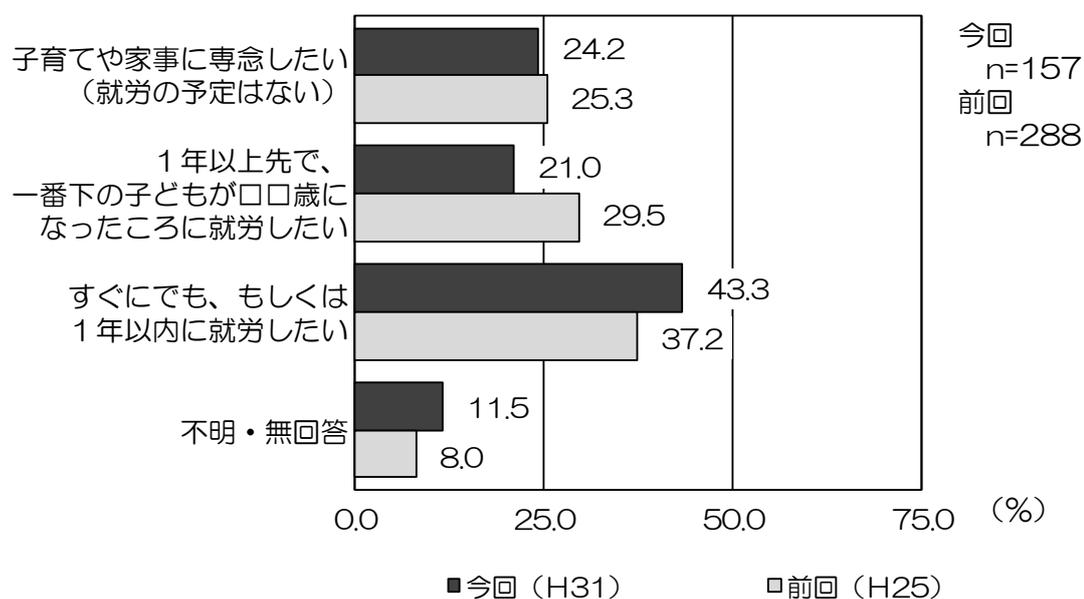
問 15 就労の希望はありますか。

(単数回答)

(1)働いていない母親の就労の希望

働いていない母親の就労の希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が43.3%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」が24.2%となっています。

前回と比較すると、「1年以上先で、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が8.5ポイント減少し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が6.1ポイント増加しています。



(2)働いていない父親の就労の希望

働いていない父親の就労の希望については1件の有効回答があり、「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」となっています。(図省略)

◆クロス集計 問 15×問2(学年)

働いていない母親の就労の希望を学年別で見ると、『4年生』以外で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、特に『3年生』と『6年生』では6割を超えています。

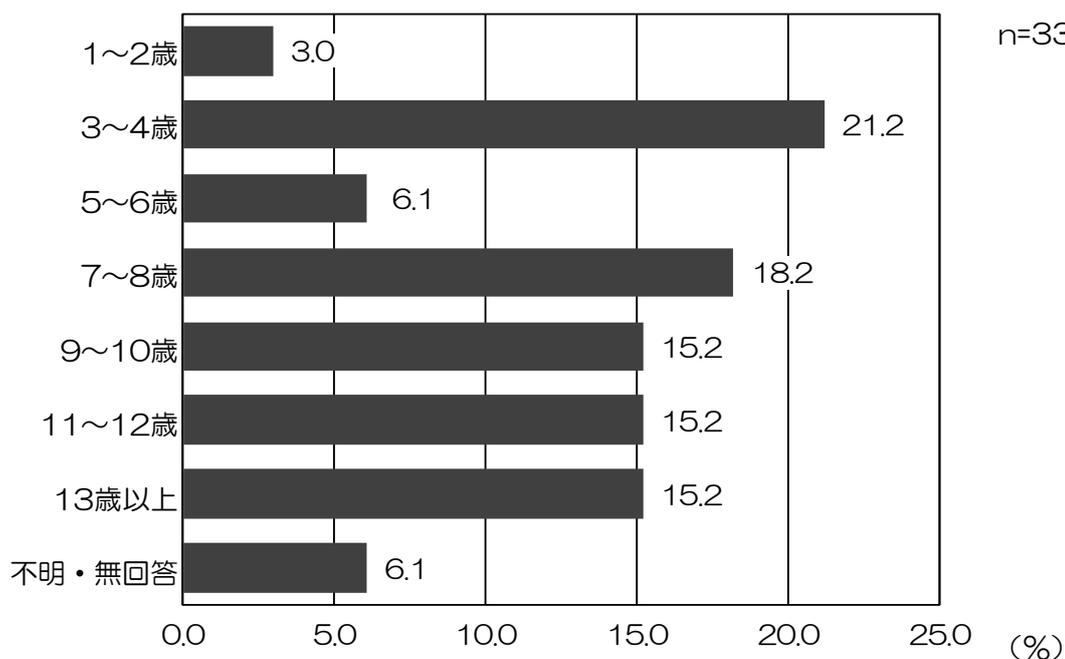
(単位：%)	(専子 就念育 労して のたや 予い家 定は事 はに ない)	こ口ー1 ろ口番 に歳下 就にの 上 労な子 しつ先 たたも い が	就もす 労しく くはに たはで い1も 年以 内に	・不 無明 回 答
全体 (n=157)	24.2	21.0	43.3	11.5
1年生 (n=38)	31.6	26.3	34.2	7.9
2年生 (n=26)	26.9	15.4	53.8	3.8
3年生 (n=24)	4.2	20.8	62.5	12.5
4年生 (n=14)	28.6	42.9	7.1	21.4
5年生 (n=32)	25.0	21.9	37.5	15.6
6年生 (n=20)	30.0	0.0	60.0	10.0

【問 15 で「2. 」(1年以上先に、就労したい)を選んだ方に伺います】

問 15 一番下の子どもが何歳になったところに就労したいですか。 (数量回答)

(1)母親が就労を希望する時の一番下の子どもの年齢

1年以上先に就労の希望がある母親が、一番下の子が何歳になったところに就労したいかについては、「3～4歳」が21.2%と最も多く、次いで「7～8歳」が18.2%となっています。



(2)父親が就労を希望する時の一番下の子どもの年齢

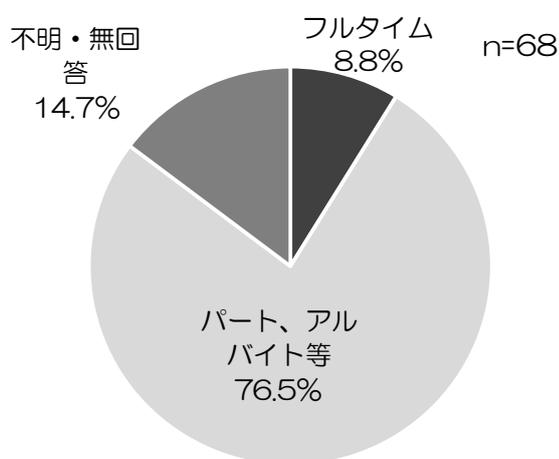
1年以上先に就労の希望がある父親が、一番下の子が何歳になったところに就労したいかについては、有効回答がありませんでした。(図省略)

【問 15 で「3. 」(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)を選んだ方に伺います】

問 15 希望する就労形態を選んでください。(単数回答)

(1)すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある母親が希望する就労形態

すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある母親が希望する就労形態については、「パート、アルバイト等」が76.5%と、「フルタイム」の8.8%を上回っています。



(2)すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある父親が希望する就労形態

すぐにでも、もしくは1年以内に就労の希望がある父親が希望する就労形態については、有効回答がありませんでした。(図省略)

【問 15 の希望する就労形態で「イ.」(パート・アルバイト等)を選んだ方に伺います】

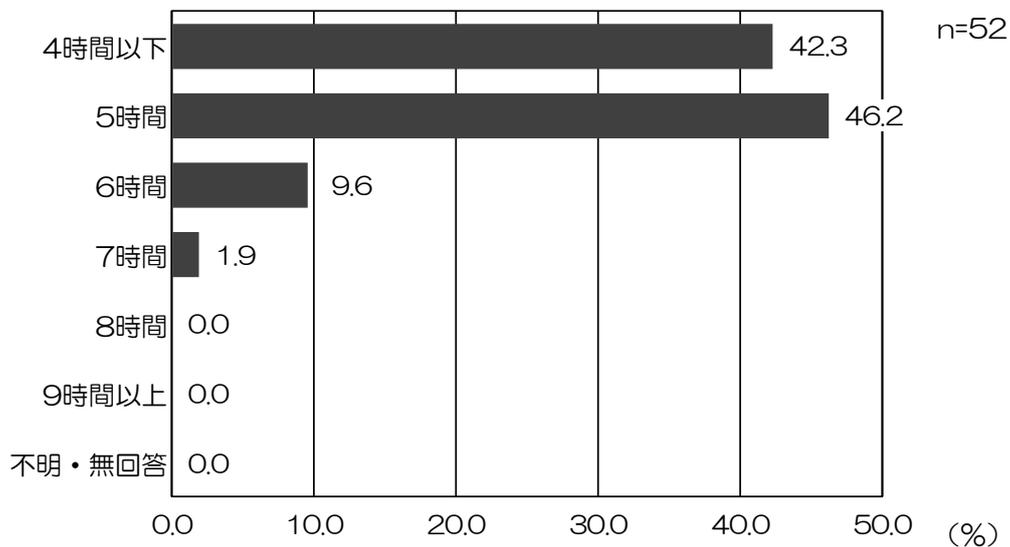
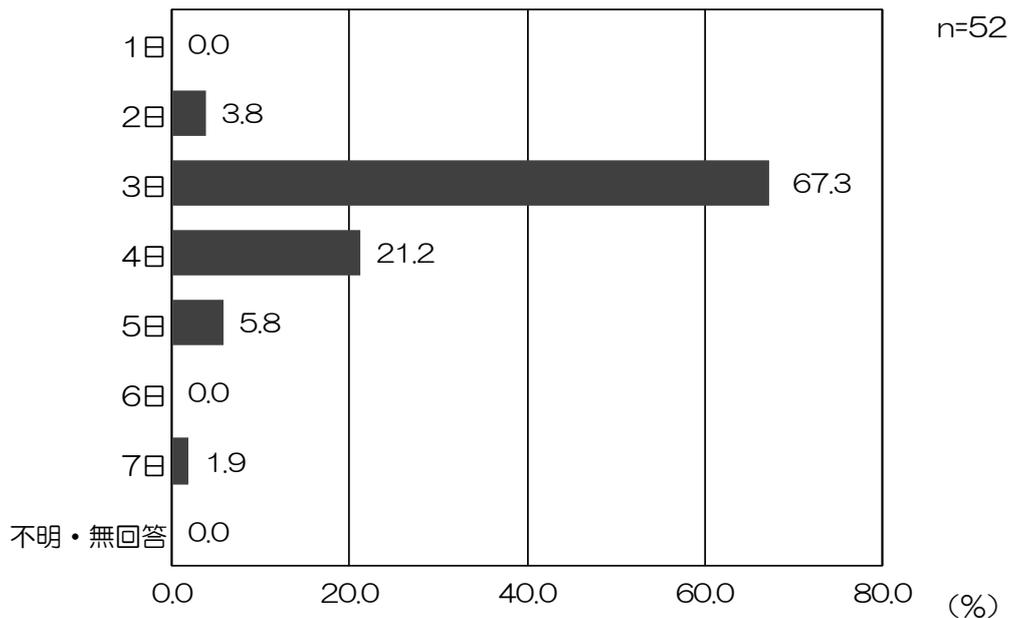
問 15 希望する週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間をお答えください。

(数量回答)

(1)パート・アルバイト等での就労を希望する母親の就労日数と時間の希望

パート・アルバイト等での就労を希望する方の週当たりの就労日数の希望については、「3日」が67.3%と最も多く、次いで「4日」が21.2%、「5日」が5.8%となっています。

1日当たりの就労時間の希望については、「5時間」が46.2%と最も多く、次いで「4時間以下」が42.3%、「6時間」が9.6%となっています。



(2)パート・アルバイト等での就労を希望する父親の就労日数と時間の希望

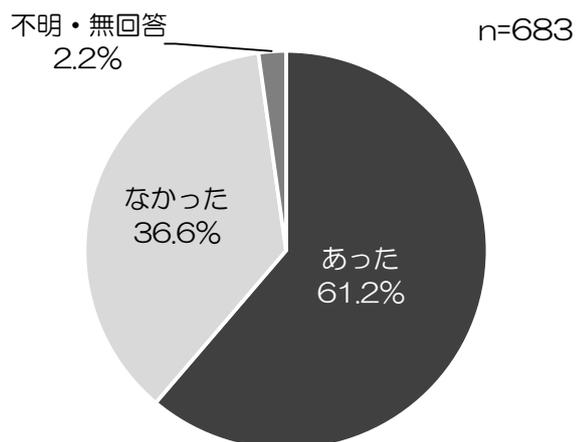
パート・アルバイト等での就労を希望する父親については、有効回答がありませんでした。

(図省略)

4 お子さんが病気の時の対応

問 16 お子さんが病気やケガで、最近1年間で学校を休まなければならない
ことはありましたか。 (単数回答)

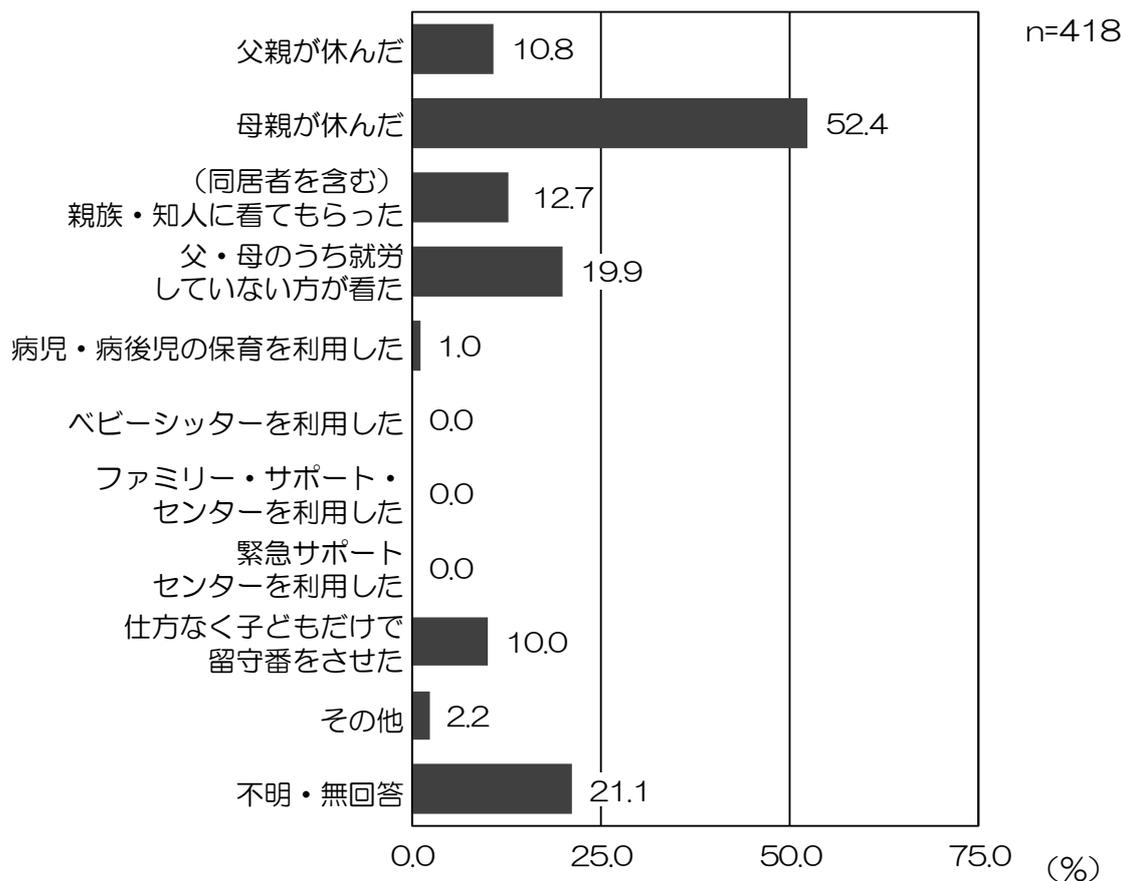
お子さんの病気やケガで、学校を休まなければならないことがあったかについては、「あ
った」が61.2%と「なかった」の36.6%を上回っています。



【問 16 で「1. 」(あった)を選んだ方に伺います】

問 17 お子さんが病気やケガで、学校を休まなければならなかった時に、どのように対応しましたか。あてはまるものをすべて選び、それぞれ日数もご記入ください。
(複数回答)

お子さんが病気やケガで、学校を休まなければならなかった時の対応については、「母親が休んだ」が52.4%と最も多く、次いで「父・母のうち就労していない方が見た」が19.9%、「(同居者を含む) 親族・知人に看てもらった」が12.7%となっています。



◆クロス集計 問 17×問 12(親の就労分類)

親の就労分類別でみると、『就労×専業主婦/主夫』で「父・母のうち就労していない方が見た」が73.6%と最も多くなっており、それ以外の区分では「母親が休んだ」が最も多くなっています。その中でも、『フルタイム×パート』では「母親が休んだ」が71.0%と他の区分に比べて多くなっている一方、『フルタイム×フルタイム』では「父親が休んだ」も27.0%と一定数見られます。

また、『ひとり親』では「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が16.7%と、他の区分に比べて多くなっています。

(単位：%)	父親が休んだ	母親が休んだ	看親(同居者を含む) て族も・居ら知つたに含む)	方就父 が労・ 看し母 たての いう ない	を病 利用 し・ 病 後 児 の 保 育	留子仕 守ども 番もな をだく させ て た	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=418)	10.8	52.4	12.7	19.9	1.0	10.0	2.2	21.1
ひとり親 (n=30)	3.3	50.0	30.0	3.3	3.3	16.7	6.7	20.0
フルタイム ×フルタイム (n=89)	27.0	50.6	23.6	2.2	3.4	9.0	2.2	33.7
フルタイム ×パート (n=210)	7.1	71.0	10.0	7.6	0.0	12.4	1.9	18.6
就労×専業 主婦/主夫 (n=87)	5.7	10.3	2.3	73.6	0.0	2.3	1.1	13.8
その他 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

問 17 それぞれの対処をした日数について

(数量回答)

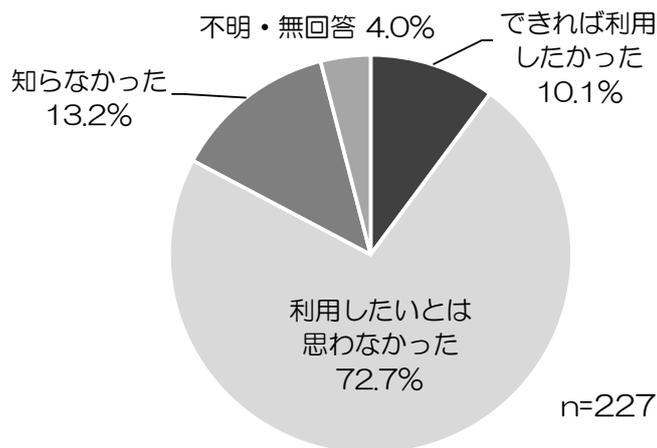
日数については、ほとんどの項目で「1～2日」が最も多くなっています。その中で、「9日以上」が「病児・病後児の保育を利用した」で25.0%、「父・母のうち就労していない方が見た」で13.3%となっています。

(単位：%)	父親が休んだ	母親が休んだ	看親(同居者を含む) て族も・居ら知つたに含む)	方就父 が労・ 看し母 たての いう ない	保病 育児 を・ 利病 用後 し児 たの	留子仕 守ども 番もな をだく させ て た	そ の 他
	n=45	n=219	n=53	n=83	n=4	n=42	n=9
1～2日	73.3	44.7	56.6	22.9	0.0	64.3	44.4
3～4日	15.6	20.1	22.6	16.9	75.0	21.4	11.1
5～6日	8.9	18.3	7.5	22.9	0.0	7.1	11.1
7～8日	0.0	4.6	1.9	13.3	0.0	0.0	0.0
9日以上	2.2	9.1	5.7	13.3	25.0	4.8	0.0
不明・無回答	0.0	3.2	5.7	10.8	0.0	2.4	33.3

【問 17 で「1. 」(父親が休んだ)または「2. 」(母親が休んだ)を選んだ方に伺います】

問 18 お子さんが病気やケガで施設(事業)を利用できなかった際、病児・病後児の保育を利用したいと思いましたか。1つ選び、希望する日数及び時間もご記入ください。なお、施設の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。 (単数回答)

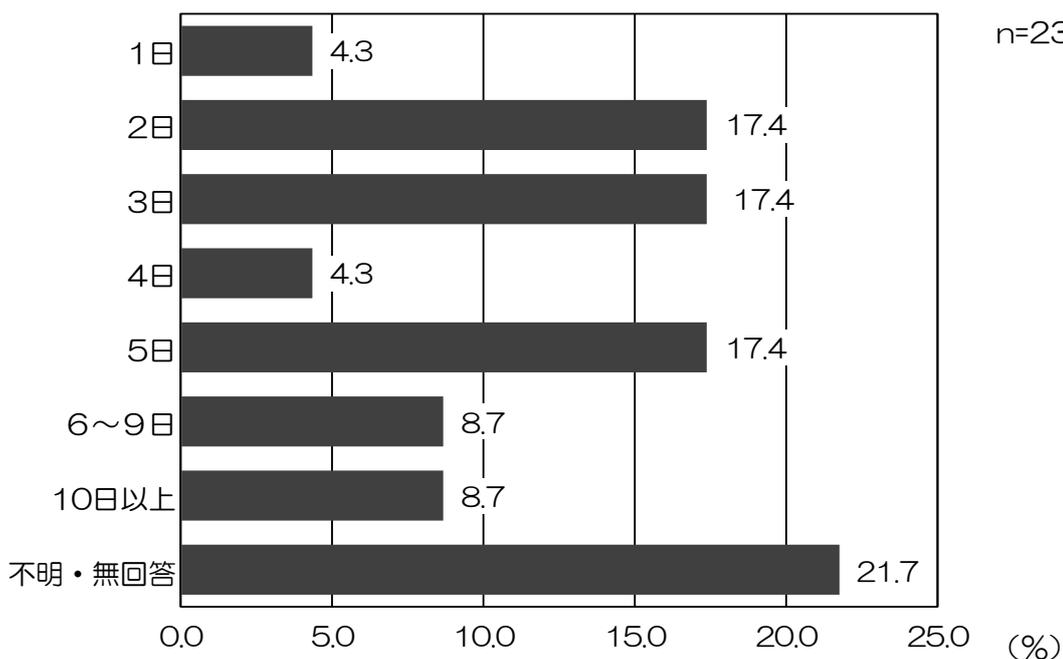
病児・病後児の保育の利用意向については、「利用したいとは思わなかった」が72.7%と、「知らなかった」の13.2%や、「できれば利用したかった」の10.1%を上回っています。



【「1. 」(できれば利用したかった)を選んだ方に伺います】

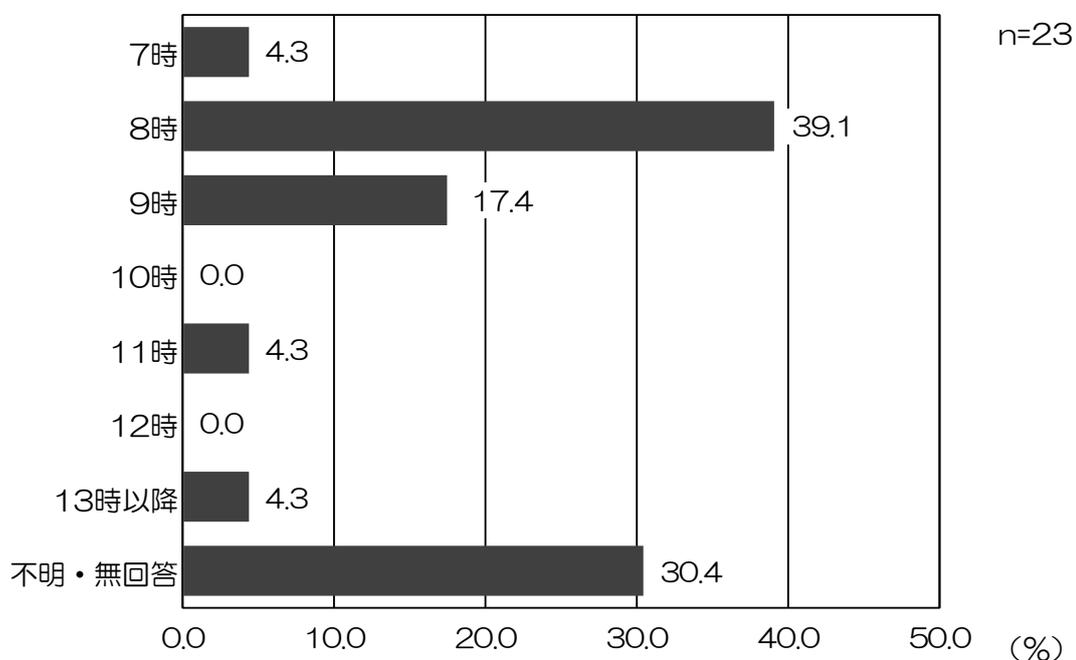
問 18 何日間利用したかったですか。 (数量回答)

病児・病後児の保育を利用したかった日数については、「2日」、「3日」、「5日」が17.4%と最も多くなっています。



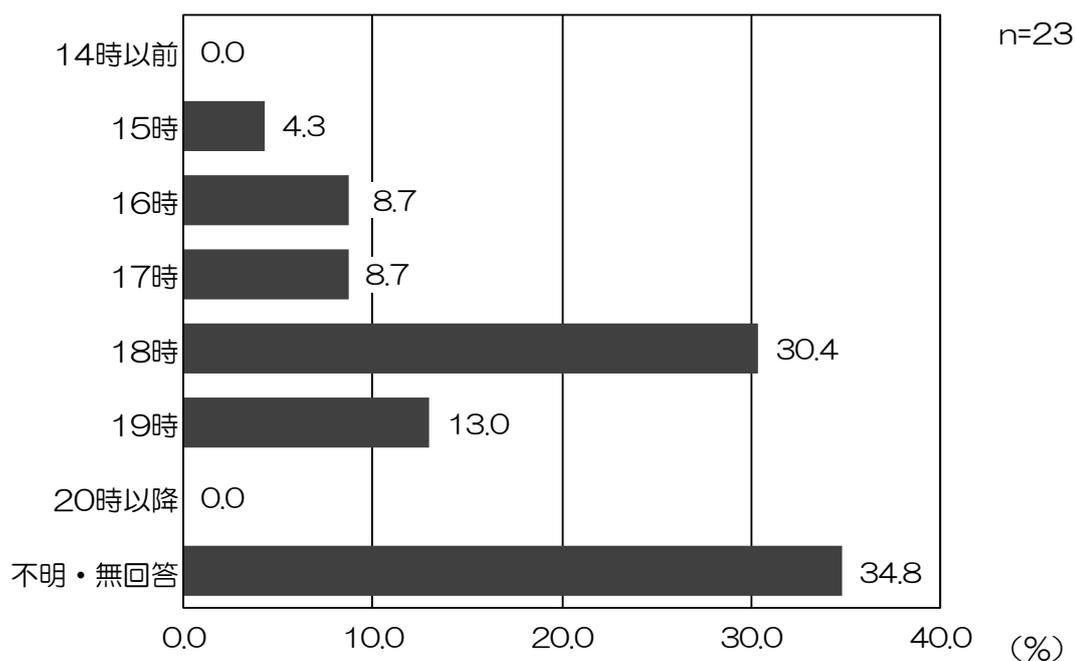
問 18 病児・病後児の保育について、希望する開始時刻をお答えください。(数量回答)

病児・病後児の保育を利用するにあたって希望する開始時刻については、「8時」が39.1%と最も多く、次いで「9時」が17.4%となっています。なお、6時以前を希望する回答はありませんでした。



問 18 病児・病後児の保育について、希望する終了時刻をお答えください。(数量回答)

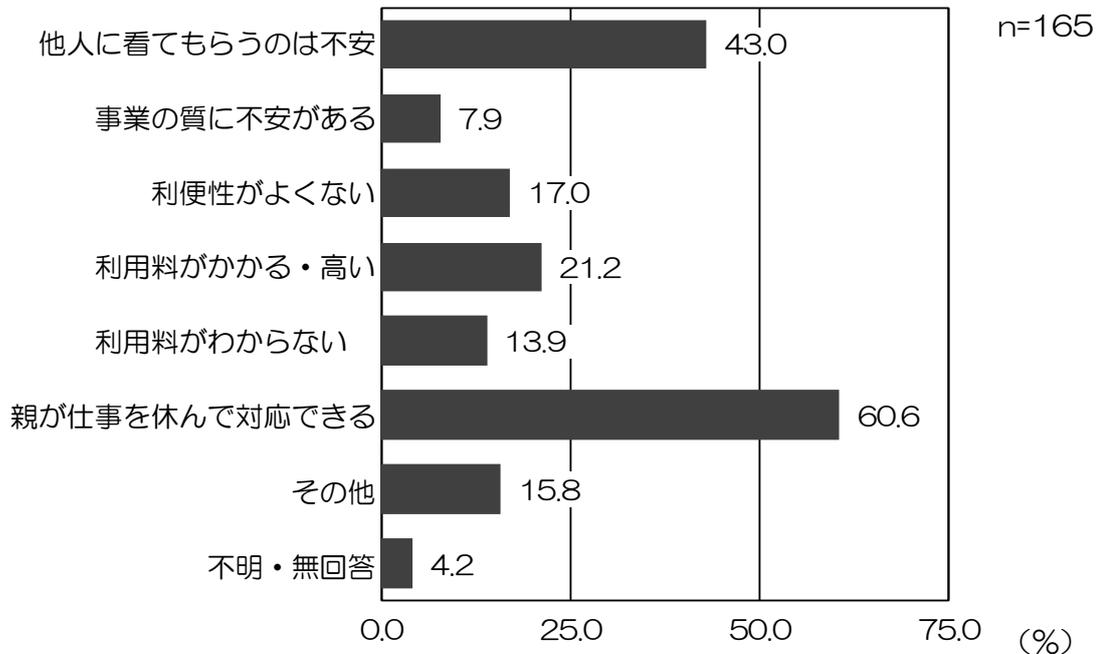
病児・病後児の保育を利用するにあたって希望する終了時刻については、「18時」が30.4%と最も多く、次いで「19時」が13.0%、「16時」と「17時」が8.7%となっています。



【問 18 で「2. 」(利用したいとは思わなかった)を選んだ方に伺います】

問 19 利用したいとは思わなかった理由について、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

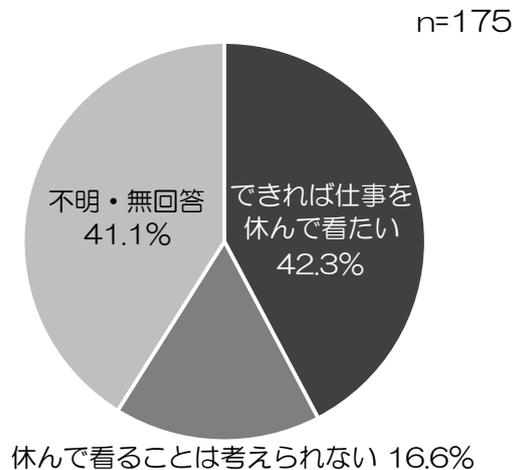
病児・病後児の保育を利用したいと思わなかった理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が 60.6%と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 43.0%、「利用料がかかる・高い」が 21.2%となっています。



【問 17 で「3. 」から「10. 」までを選んだ方に伺います】

問 20 お子さんが病気やケガで、幼稚園・保育園等を休まなければならない時、父母のいずれかが、できれば仕事を休んで看たいと思いましたが、あてはまるものを1つ選んでください。 (単数回答)

父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 42.3%、「休んで看ることは考えられない」が 16.6%となっています。

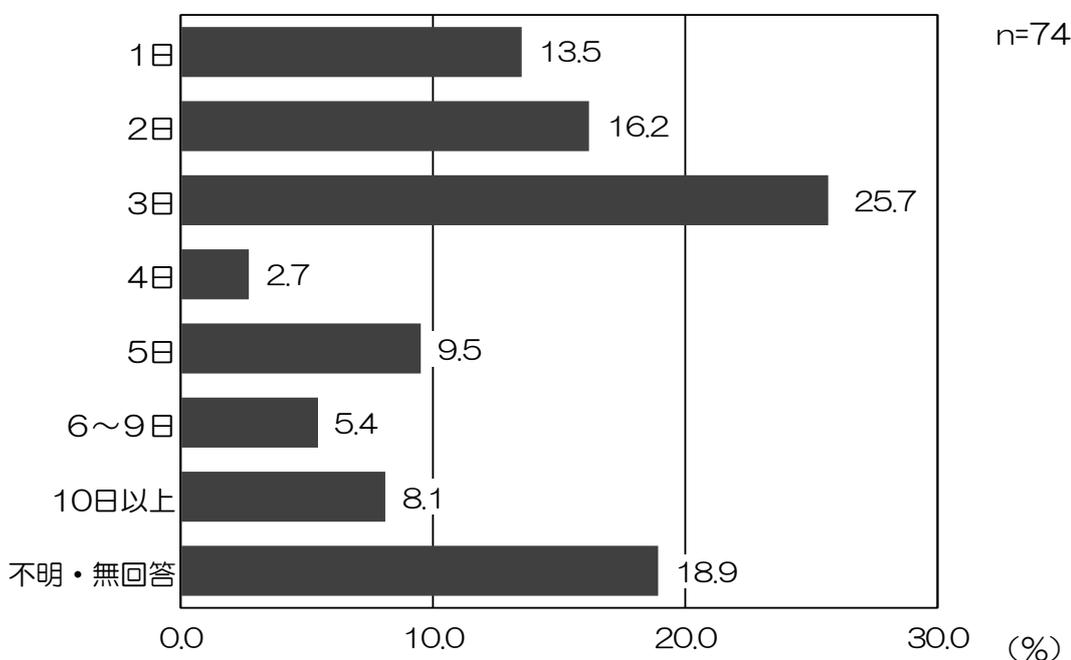


【「1.」(できれば仕事を休んで看たい)を選んだ方に伺います】

問 20 何日間休んで看たいと思われましたか。

(数量回答)

お子さんの病気やケガで、何日間仕事を休んで看たいかについては、「3日」が25.7%と最も多く、次いで「2日」が16.2%、「1日」が13.5%となっています。

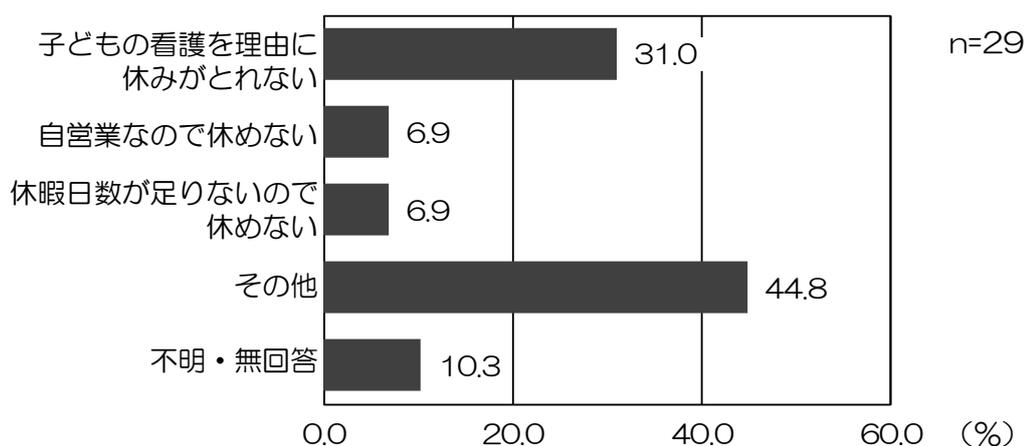


【問 20 で「2.」(休んで看ることは考えられない)を選んだ方に伺います】

問 21 休んで看ることは考えられない理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

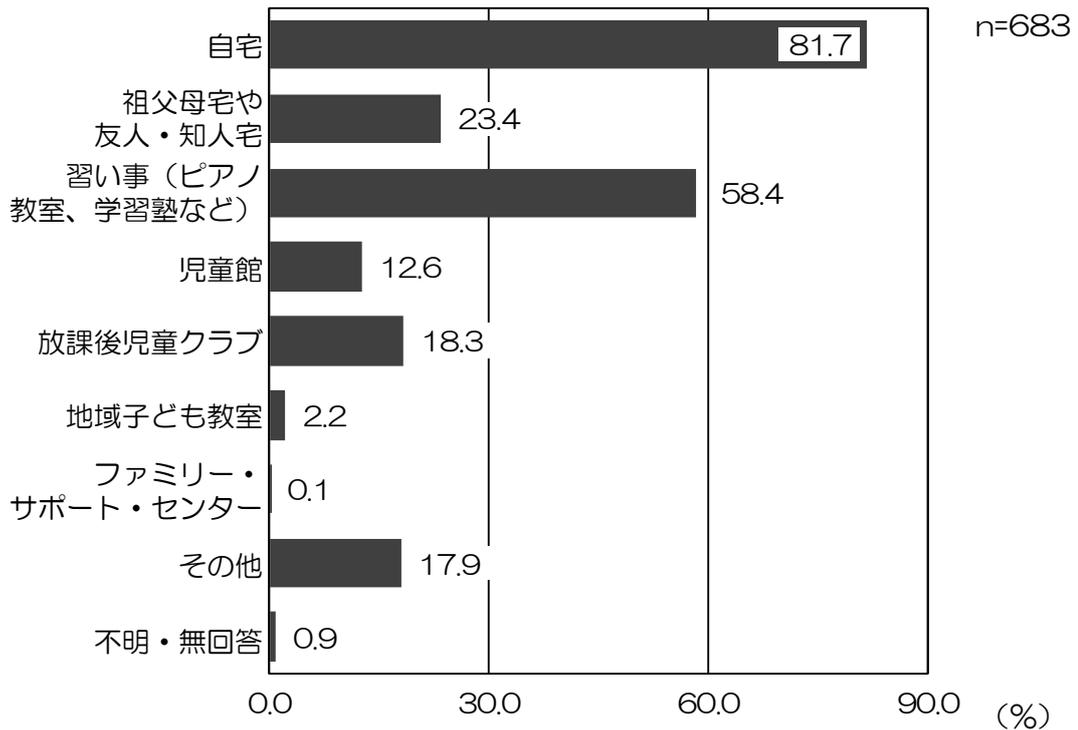
休んで看ることは考えられない理由については、「その他」が44.8%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みが取れない」が31.0%となっています。



5 放課後の過ごし方

問 22 お子さんは、現在、放課後(平日の小学校終了後)をどのような場所で過ごしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

放課後をどのような場所で過ごしているかについては、「自宅」が81.7%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が58.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が23.4%となっています。



◆クロス集計 問22×問2・問12(学年・親の就労分類)

学年別でみると、『1年生』から『3年生』の間で「放課後児童クラブ」が、『4年生』から『6年生』の間で「自宅」が、全体に比べて多くなっています。

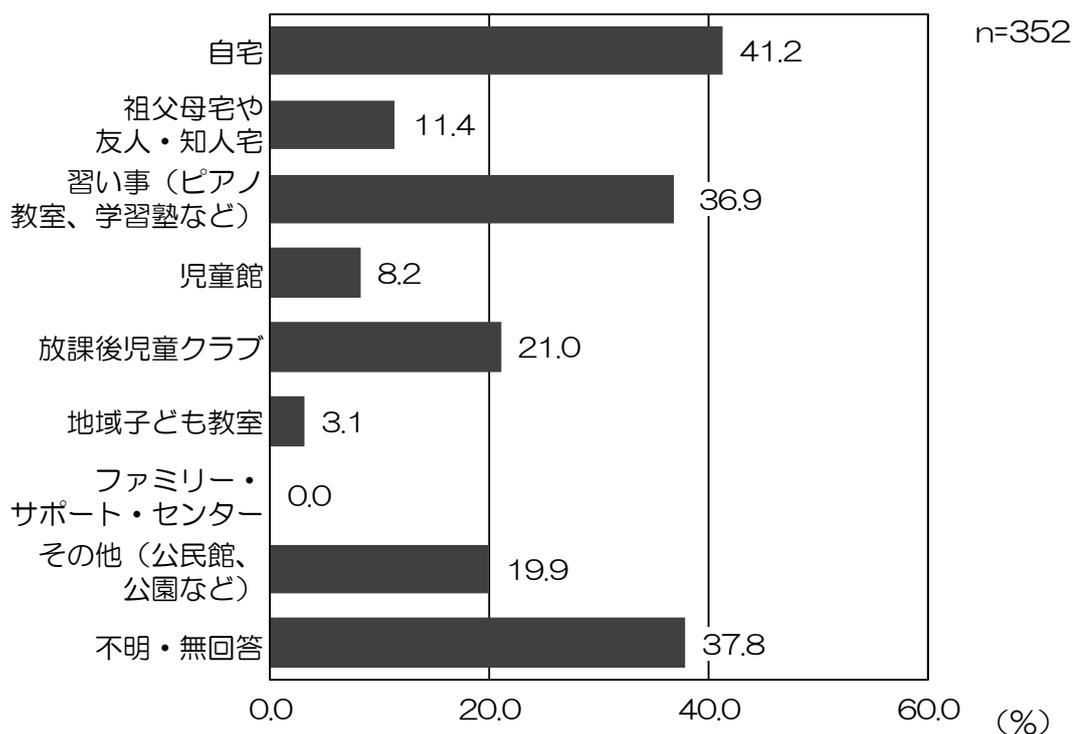
親の就労分類別でみると、『フルタイム×パート』と『就労×専業主婦／主夫』で「自宅」が8割を超えるとともに、「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が6割を超えて他の区分より多くなっています。一方で、『ひとり親』と『フルタイム×フルタイム』では「放課後児童クラブ」が3割を超え、他の区分に比べて多くなっています。

(単位：%)		自宅	祖父母・知人宅	習い事(ピアノ教室、学習塾など)	児童館	放課後児童クラブ	地域子ども教室	ファミリー・センター	その他	不明・無回答
全体 (n=683)		81.7	23.4	58.4	12.6	18.3	2.2	0.1	17.9	0.9
問2 年齢別	1年生 (n=122)	68.0	22.1	53.3	7.4	35.2	2.5	0.8	14.8	0.0
	2年生 (n=104)	76.0	23.1	61.5	15.4	28.8	4.8	0.0	19.0	1.0
	3年生 (n=123)	81.3	23.6	63.4	10.6	25.2	1.6	0.0	17.6	1.6
	4年生 (n=100)	89.0	25.0	60.0	18.0	13.0	2.0	0.0	16.5	2.9
	5年生 (n=106)	85.8	23.6	61.3	15.1	6.6	0.9	0.0	23.6	0.0
	6年生 (n=116)	94.8	25.9	55.2	12.1	0.9	0.9	0.0	15.5	0.0
問12 親の就労 分類別	ひとり親 (n=56)	67.9	21.4	44.6	17.9	33.9	1.8	0.0	8.9	1.8
	フルタイム×フルタイム (n=134)	52.2	19.4	47.8	6.7	49.3	3.0	0.7	7.5	0.7
	フルタイム×パート (n=333)	89.5	24.3	62.2	13.8	11.4	2.1	0.0	18.6	0.6
	就労×専業主婦／主夫 (n=148)	97.3	25.7	65.5	13.5	1.4	2.0	0.0	30.4	0.0
	その他 (n=12)	66.7	25.0	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

【低学年(1～3年生)の方に伺います】

問 23 お子さんが低学年(1～3年生)のときは、放課後をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかる場合があります。(複数回答)

低学年の時の放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が41.2%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が36.9%、「放課後児童クラブ」が21.0%となっています。



問 23 お子さんが低学年のときは、それぞれの場所で週に何日過ごさせたいですか。

日数をご記入ください。

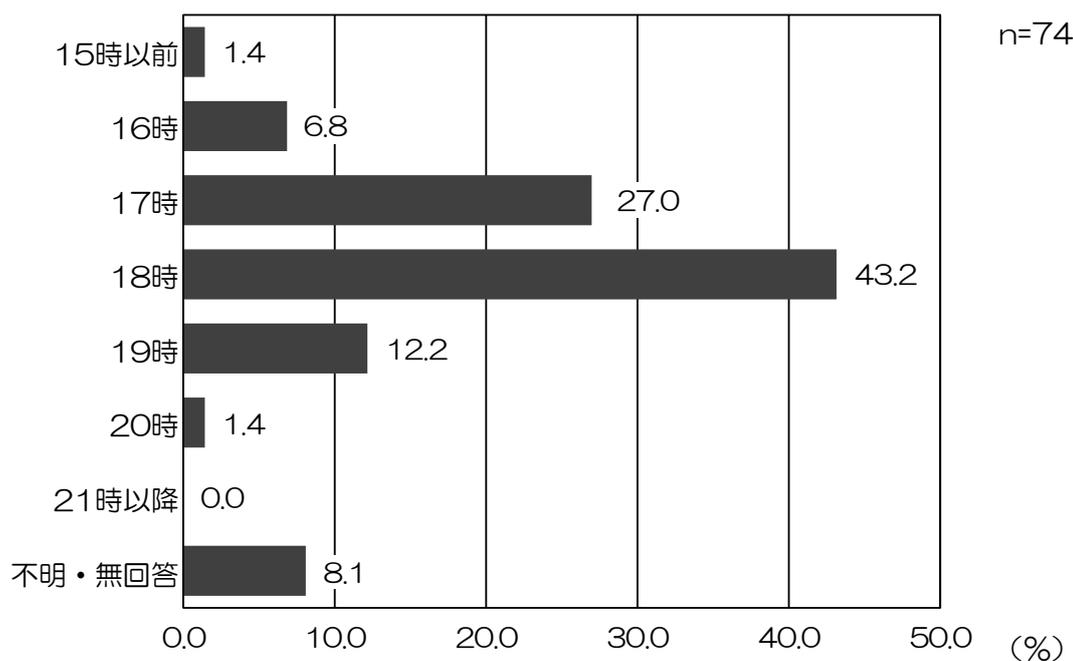
(数量回答)

低学年のうちに、それぞれの場所で週に何日過ごさせたいかについては、「1日」が「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館」、「地域子ども教室」で最も多くなっています。その一方で、「2日」が「習い事（ピアノ教室・学習塾など）」で46.9%、「3日」が「自宅」で21.4%、「5日」が「放課後児童クラブ」で52.7%と、それぞれ最も多くなっています。

(単位：%)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室・学習塾など）	児童館	放課後児童クラブ	地域子ども教室	その他（公民館、公園など）
	n=145	n=40	n=130	n=29	n=74	n=11	n=70
1日	18.6	57.5	29.2	51.7	4.1	90.9	32.9
2日	20.0	20.0	46.9	37.9	4.1	9.1	32.9
3日	21.4	5.0	15.4	6.9	12.2	0.0	20.0
4日	12.4	0.0	5.4	0.0	16.2	0.0	5.7
5日	17.2	7.5	0.8	0.0	52.7	0.0	2.9
6日	0.7	2.5	0.0	0.0	4.1	0.0	1.4
7日	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	7.6	7.5	2.3	3.4	6.8	0.0	4.3

問 23 放課後児童クラブの希望する終了時間についてお答えください。(数量回答)

低学年のうちに放課後児童クラブを下校時から何時まで利用したいかについては、「18時」が43.2%と最も多く、次いで「17時」が27.0%となっています。



◆クロス集計 問 23×問 12(親の就労分類)

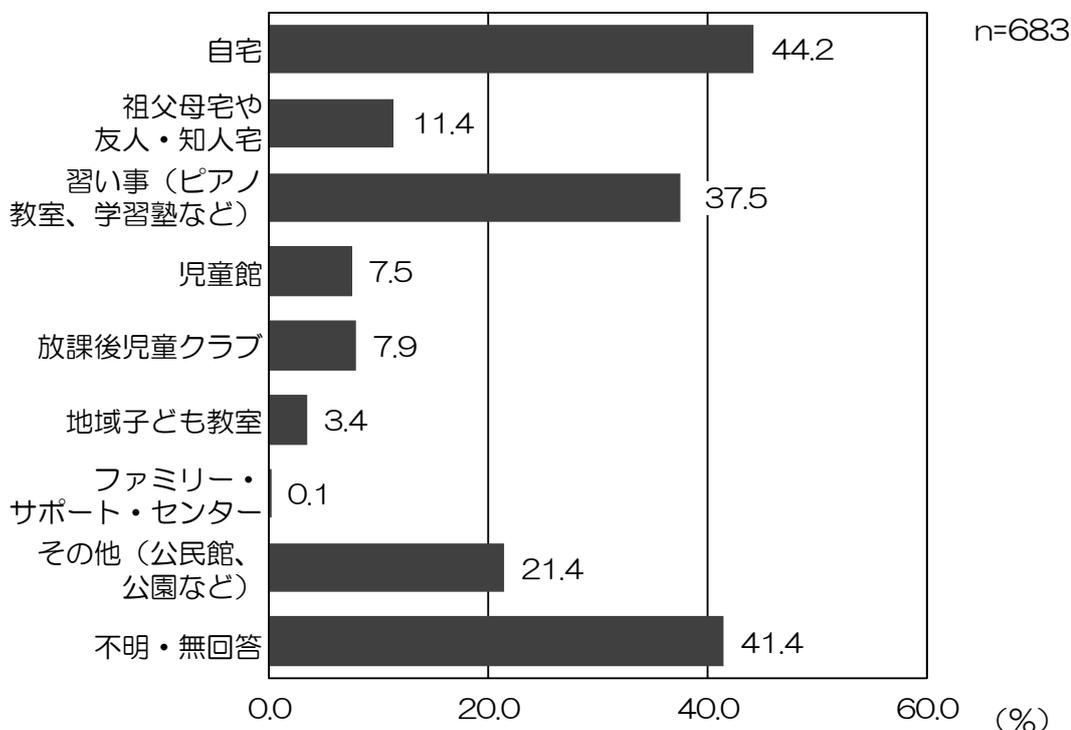
親の就労分類別でみると、『就労×専業主婦/主夫』で「16時」が、『フルタイム×パート』で「17時」が、『ひとり親』と『フルタイム×フルタイム』で「18時」がそれぞれ最も多くなっています。

(単位：%)	15時以前	16時	17時	18時	19時	20時以降	不明・無回答
全体 (n=74)	1.4	6.8	27.0	43.2	12.2	1.4	8.1
ひとり親 (n=7)	0.0	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0	14.3
フルタイム×フルタイム (n=34)	2.9	0.0	11.8	52.9	23.5	2.9	5.9
フルタイム×パート (n=28)	0.0	0.0	53.6	35.7	3.6	0.0	7.1
就労×専業主婦/主夫 (n=5)	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

【全員に伺います】

問 24 お子さんが高学年(4～6年生)のときは、放課後をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

高学年の時の放課後を過ごさせたい場所については、「自宅」が44.2%と最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室・学習塾など)」が37.5%、「その他(公民館、公園など)」が21.4%となっています。



問 24 お子さんが高学年のときは、それぞれの場所で週に何日過ごさせたいですか。

日数をご記入ください。

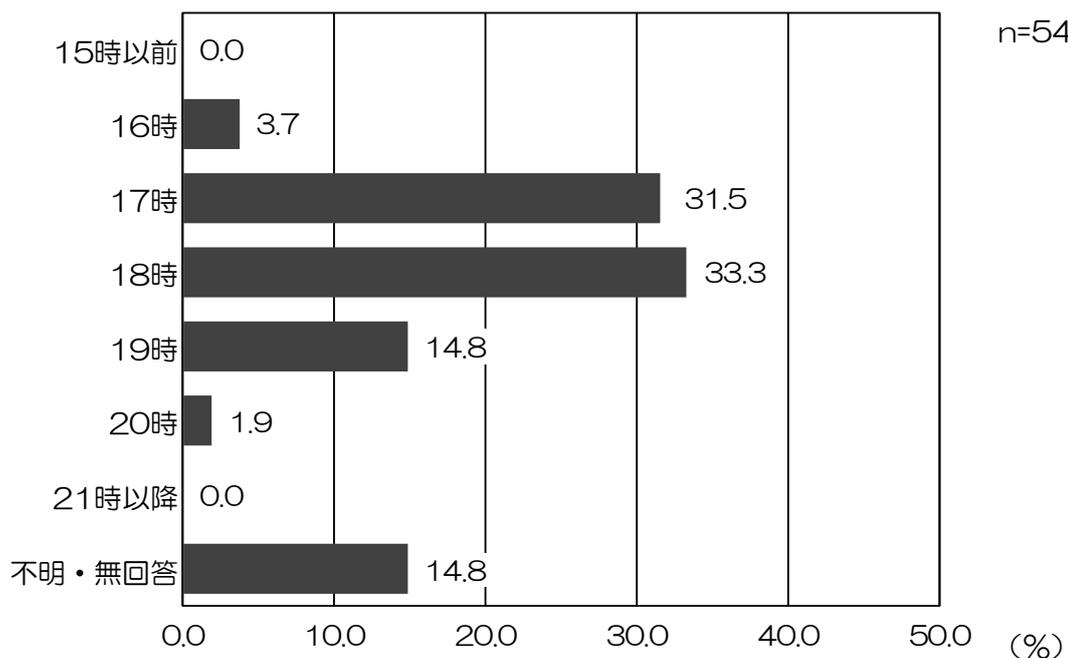
(数量回答)

高学年の時に、それぞれの場所で週に何日過ごさせたいかについては、「1日」が「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館」、「地域子ども教室」で、「2日」が「自宅」、「習い事（ピアノ教室・学習塾など）」、「その他（公民館、公園など）」で、それぞれ最も多くなっています。その一方で、「放課後児童クラブ」では「5日」が38.9%と最も多くなっています。

(単位：%)	自宅	祖父母・友人・知人宅	学習塾・ピアノ教室、習い事など	児童館	放課後児童クラブ	地域子ども教室	ファミリー・センター	その他（公民館、公園など）
	n=302	n=78	n=256	n=51	n=54	n=23	n=1	n=146
1日	15.9	53.8	19.1	52.9	3.7	43.5	0.0	24.7
2日	26.5	16.7	37.5	19.6	20.4	26.1	0.0	28.1
3日	19.5	10.3	27.0	3.9	18.5	8.7	100.0	17.8
4日	7.3	0.0	5.5	3.9	7.4	0.0	0.0	8.2
5日	16.6	5.1	4.3	3.9	38.9	8.7	0.0	10.3
6日	1.7	0.0	0.4	0.0	7.4	0.0	0.0	0.7
7日	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
不明・無回答	9.3	14.1	6.3	15.7	3.7	13.0	0.0	9.6

問 24 放課後児童クラブの希望する終了時刻についてお答えください。(数量回答)

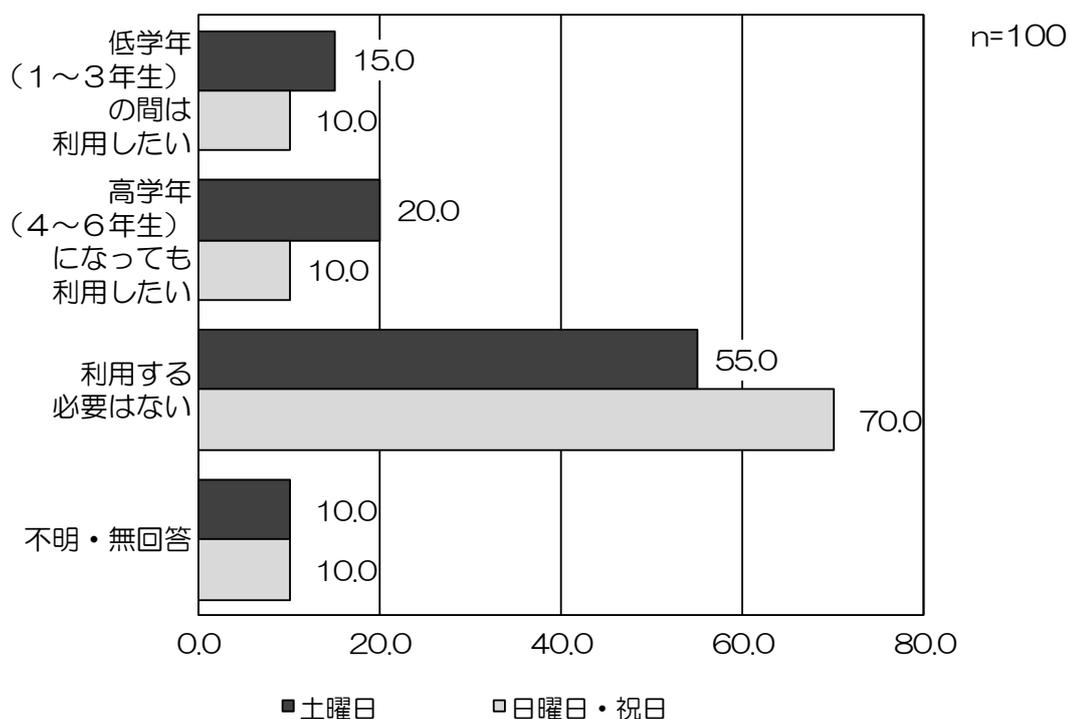
高学年の時に放課後児童クラブを下校時から何時まで利用したいかについては、「18時」が33.3%と最も多く、次いで「17時」が31.5%となっています。



【問 23 又は問 24 で「5.」(放課後児童クラブを利用したい)を選んだ方に伺います】

問 25 土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。土曜日、日曜日・祝日のそれぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。なお、これらの事業の利用には一定の利用料がかかります。 (単数回答)

土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が土曜日で55.0%、日曜日・祝日で70.0%と最も多くなっています。



【「1.」「2.」(利用したい)を選んだ方に伺います】

問 25 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望する開始時刻・終了時刻を
お答えください。 (数量回答)

①開始時刻

放課後児童クラブ利用にあたって希望する開始時刻については、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」が最も多く、次いで「9時」となっています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	・不 無明 回答
土曜日 (n=35)	0.0	5.7	65.7	20.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
日曜日・祝日 (n=20)	0.0	5.0	65.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

②終了時刻

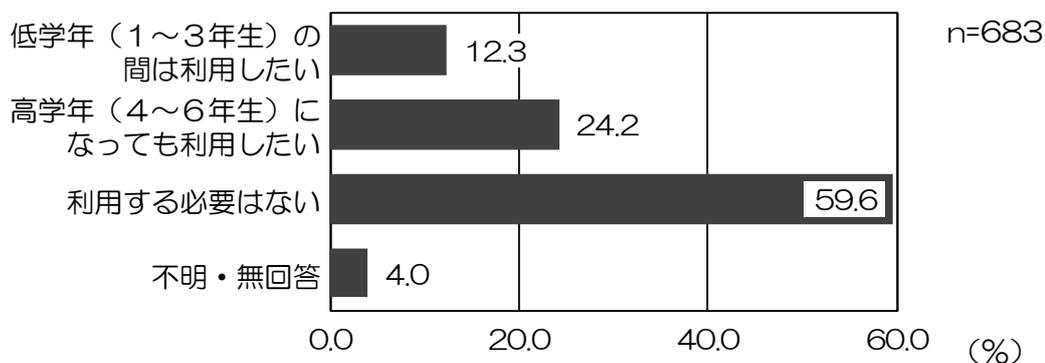
終了時刻については、土曜日、日曜日・祝日ともに「18時」と「19時」が、3割を超え、多くなっています。

(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	・不 無明 回答
土曜日 (n=35)	0.0	5.7	11.4	11.4	31.4	34.3	2.9	2.9
日曜日・祝日 (n=20)	10.0	0.0	0.0	10.0	35.0	35.0	0.0	10.0

【全員に伺います】

問 26 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、
放課後児童クラブの利用希望はありますか (単数回答)

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が59.6%と最も多く、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた、利用したい方の割合である36.5%を上回っています。



◆クロス集計 問 26×問 12(親の就労分類)

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について親の就労分類別でみると、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた、利用したい方の割合について、『フルタイム×パート』と『就労×専業主婦/主夫』で4割以下となっていますが、『ひとり親』と『フルタイム×フルタイム』では5割以上となっています。

(単位：%)	低学年の間は 利用したい	高学年に なっても 利用したい	利用する 必要はない	不明 ・無回答
全体 (n=683)	12.3	24.2	59.6	4.0
ひとり親 (n=56)	14.3	35.7	46.4	3.6
フルタイム ×フルタイム (n=134)	17.2	44.8	35.8	2.2
フルタイム ×パート (n=333)	12.0	20.4	64.6	3.0
就労×専業 主婦/主夫 (n=148)	8.8	11.5	75.7	4.1
その他 (n=12)	0.0	0.0	50.0	50.0

【「1.」「2.」(利用したい)を選んだ方に伺います】

問 26 長期休暇中の放課後児童クラブの希望する開始時刻・終了時刻をお答え
ください。 (数量回答)

①開始時刻

長期休暇中の放課後児童クラブ利用にあたって希望する開始時刻については、「8時」が57.0%と最も多く、次いで「9時」が26.9%となっています。

(単位：%)	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時以降	・不 無明 回答
長期休暇 利用開始時刻 (n=249)	0.0	5.2	57.0	26.9	4.0	0.4	0.0	2.0	4.4

②終了時刻

終了時刻については、「18時」が28.9%と最も多く、次いで「17時」が24.5%、「19時」が17.3%となっています。

(単位：%)	14時以前	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	・不 無明 回答
長期休暇 利用終了時刻 (n=249)	6.0	6.4	10.4	24.5	28.9	17.3	2.0	4.4

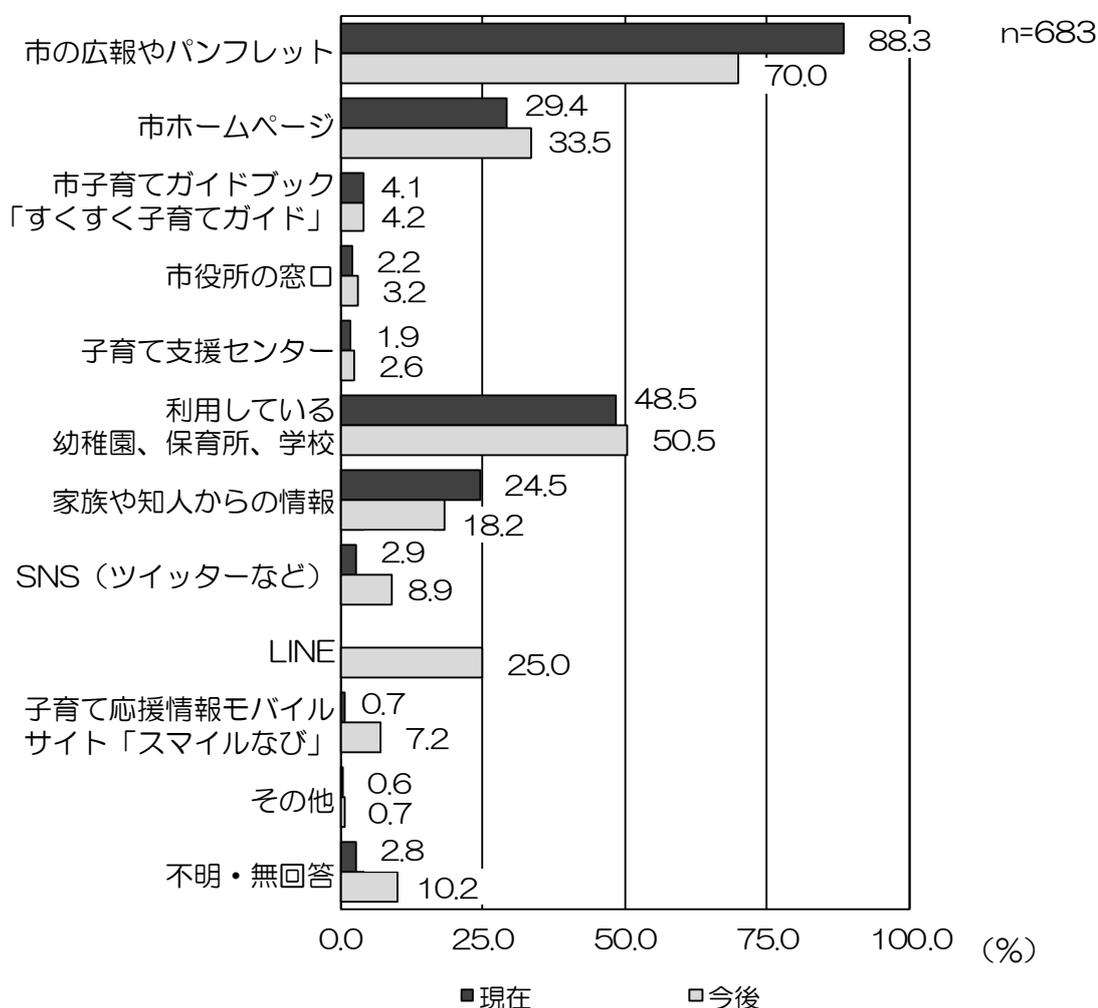
【全員に伺います】

問 27 富士見市の施策などに関する情報を、どのような方法で受け取っていますか。

また、今後どのような方法で受け取りたいですか。それぞれについて、あてはまるものをすべて選んでください。 (複数回答)

子育て施策等に関する情報をどのように受け取っているかについては、「市の広報やパンフレット」が88.3%と最も多く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」が48.5%、「市ホームページ」が29.4%となっています。

今後受け取りたい方法については、「市の広報やパンフレット」が70.0%と最も多く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」が50.5%、「市ホームページ」が33.5%、「LINE」が25.0%となっています。なお、「LINE」については、今後の希望についてでのみ選択肢に含めています。



◆クロス集計 問 52(就学前児童調査)・問 27(小学生児童調査)

子育て施策などについての情報を今後受け取りたい方法×問2(年齢・学年)

子育て施策などについての情報を今後受け取りたい方法について、就学前児童調査と小学生児童調査を合わせて年齢別でみると、『4歳』以外の全ての区分で「市の広報やパンフレット」が最も多くなっています。

「市子育てガイドブック『すくすく子育てガイド』」と「子育て応援情報モバイルサイト『スマイルなび』」については、お子さんの年齢が低いほど希望する割合が高い傾向が見られます。

「市のホームページ」と「LINE」については、全ての区分で2割を超えています、特に「LINE」については『0歳』と『1歳』で他の区分より高くなっています。

小学校に入学する前後である『5歳』と『1年生』を比較すると、「市の広報やパンフレット」と「LINE」で微増する一方、「市子育てガイドブック『すくすく子育てガイド』」、「市役所の窓口」、「子育て支援センター」、「SNS(ツイッターなど)」、「子育て応援情報モバイルサイト『スマイルなび』」の5項目で4ポイント以上の減少が見られます。

(単位：%)		市の広報やパンフレット	市ホームページ	「市子育てガイドブック『すくすく子育てガイド』」	市役所の窓口	子育て支援センター	幼稚園、保育所、学校	家族や知人からの情報	SNS(ツイッターなど)	LINE	子育て応援情報モバイルサイト『スマイルなび』	その他	不明・無回答
未就学児童	0歳 (n=540)	55.9	30.9	18.7	7.4	28.9	31.5	15.2	16.5	36.1	27.2	1.1	10.0
	1歳 (n=227)	59.0	30.0	15.4	6.6	20.3	43.6	15.4	13.7	34.4	25.1	2.2	11.0
	2歳 (n=241)	61.8	27.4	14.9	5.8	13.3	52.3	17.4	9.5	29.9	14.5	2.1	13.7
	3歳 (n=216)	63.0	25.5	10.6	6.5	8.3	59.3	20.8	14.8	29.2	18.5	0.9	10.6
	4歳 (n=220)	62.7	35.0	16.8	10.0	12.7	63.2	21.4	13.6	31.4	12.7	1.8	7.3
5歳 (n=222)	68.0	32.9	11.3	7.2	8.6	59.9	23.0	13.1	26.6	11.7	0.9	9.0	
小学生児童	1年生 (n=122)	72.1	32.0	6.6	2.5	4.1	58.2	23.0	9.0	27.0	6.6	0.0	9.0
	2年生 (n=105)	69.5	36.2	7.6	4.8	2.9	53.3	21.0	9.5	25.7	5.7	1.0	8.6
	3年生 (n=125)	63.2	33.6	0.8	2.4	0.8	41.6	16.8	10.4	20.8	8.0	1.6	16.8
	4年生 (n=103)	65.0	33.0	1.9	0.0	1.0	49.5	15.5	6.8	24.3	8.7	0.0	10.7
	5年生 (n=106)	80.2	38.7	2.8	6.6	4.7	53.8	20.8	7.5	29.2	7.5	0.0	8.5
6年生 (n=116)	69.8	27.6	5.2	1.7	1.7	46.6	12.9	10.3	25.0	6.9	1.7	7.8	

問 28 最後に、子育て支援の充実などに関して、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。 **(自由回答)**

自由記述欄には 258 名の方からご意見をいただき、その内容としては「放課後の預け先について」が 80 件、「遊び場や居場所について」が 77 件などでした。全ての内訳は以下の表の通りです。なお、複数のご意見をお書きいただいた方についてはその全ての分類についてカウントしているため、表中のご意見の合計数は 357 件となっています。

分類	ご意見の数
1. 保育サービスについて (保育所、幼稚園、病児保育など保育サービス)	19 件
2. 子育て支援サービスについて (上記以外のサービスや、全体的なことなど)	55 件
3. 遊び場や居場所について (公園や児童館等、場に関すること)	77 件
4. 経済的支援について (経済的支援、補助に関すること)	40 件
5. 放課後の預け先について	80 件
6. 道路や交通について (道が悪い、交通が不便等)	15 件
7. 健康・医療について (健診や病院に関すること)	1 件
8. 学校関係、教育について	45 件
9. その他	25 件

次のページから、自由回答のご意見を一部抜粋して上の表の分類ごとに掲載しています。掲載にあたって、文末・単語等で一部修正を加えさせていただいている箇所があります。

1. 保育サービスについて(19 件)

(保育所、幼稚園、病児保育など保育サービス)

- 保育所や放課後児童クラブを利用中、転職活動していると市役所からの圧力がすごい。何とかしてほしい。
- 保育園に子どもを預けたかったけど、いっばいでだめでした。もっと保育園を作ってほしかった。
- 病児・病後児保育をする施設が少なすぎる。また利用するにあたって小学生の場合は放課後児童クラブ等に在籍するという条件があるので、そうでない児童は利用出来ず不便である。また、主人はこの制度自体を知らなかったのも、もっと保育事業を推進してほしい。
- 保育所、放課後児童クラブに子ども 2 人がお世話になりとても助かりました。今後は、保育士、指導員さんの質の向上(労働環境を含めて)をお願いしたいです。それにより子どもたちに良い環境が保たれると思います。
- 病後児保育の情報が少なすぎる。富士見市 HP では食事の提供があるか否かもぱっと分からず、とても不親切である。日曜に利用したいと思っても、市役所や施設へ問合せできる訳ではないため、持ち物など詳細に記載すべき。

2. 子育て支援サービスについて(55 件)

(上記以外のサービスや、全体的なことなど)

- 子育てに関しては情報が大切だと思っておりますので、ネットなどの方法で気軽に得られるようにしていただくと有り難いです。
- 子育てについて相談で市に連絡するというのは、とても大ごとの様に思うし、かなり敷居が高いイメージがあるので、もっと気軽に相談できる場であってほしいし、身近であってほしい。
- 学校や家庭とは異なる教育や遊びをできる様なサポートや環境等の設備や施設、またサポーターが自宅訪問等、親が少し息抜きできる様な事が実現出来たら、各家庭の親にゆとりや時間が持てると思う(毎日子育てだと大変だと思うので)。
- 仕方の無い事かもしれませんが、このアンケートを書いているのは「健常者の子どもにはこれだけの選択肢があるのだな」と羨ましく思いました。健常者の姉には「利用しない」という選択が出来ますが、障害のある弟には「利用したくても、その制度や場所等が無い」というのが実状です。
- 小学校就学前に支援が必要ではと思い、相談の電話をしましたが、あまり相手にされない様な感じがしてそれ以上対応をお願いしづらくなりました。子どもに実際会う事も無く、電話で様子を伝えただけで「大丈夫」、不安で困っているから相談したのに、子どもを見る事無く終わってしまい、残念に思いました。重度な症状がないと見てももらえず、相談もさせてくれないのだと受け取ってしまいました(ADHD ではないかと思い相談しようとしてました)。

(2. 子育て支援サービスについて)

- 声に出して助けてと言えない人を助けてほしい。
- ファミリーサポートについて、登録受付日を平日だけでなく、土曜日にも設けてほしい。登録したい人は共働きの家庭が多いと思うので、平日の受付だけでは、なかなか行けず、結局、利用を諦めてしまう。

3. 遊び場や居場所について(77件) (公園や児童館等、場に関すること)

- 放課後、休みの日に子どもが安心して過ごせる場所がほしい。ボール遊び禁止の公園が多いので、思い切り体を動かせる場所もあると良いと思う。
- 親子で利用できるカフェがあるといいと思います。親の目の届く所で子どもが室内遊具などで遊べるようなカフェがあるといいと思います。公園ももっとあるといいと思います。
- 室内で遊べる大きな児童館を作ってほしい。
- 公園が少ない。雨天時に遊べる場所を充実させてほしい。
- 最近テレビなどでもやっている「子ども食堂」富士見市にもあるといいなと思う。それは貧困とかだけではなく地域の人とつながるために。月1とか週1とかでも安く、子どもたちの集まる場所、お年寄りとの交流として、時には親以外の人に怒られる事も今の時代は大切だと思うので、そういう子育て支援があってもいいような気がする今日この頃です。
- 子どもが体を動かして遊ぶ場所が無く日々困っています。学校の遊具も少ないです。
- 習い事や塾と違い、スポーツ少年団(野球やドッジボール、バスケなど)は保護者が運営していて大変ですが、親子で取り組む事は子どもの健全育成にとっても大切な意見があるし、自分の子ども以外の子も、チームメンバーとして、応援できます。親がなかなか関われない子にとっても精神的に救われる部分があり、子が頑張る姿、子が他の大人から大切にされている姿は、虐待が問題となる今、育児の孤立を少しでも救えるのではと思います。
- 児童館を利用してみたいとも考えますが(幼児の頃は時々利用した)、自転車か車を使わないと行けない距離なので、難しい。小学生だけで行かせるには心配。途中の交通状況など、気軽に「行って来なさい」と言える場所に無い。

4. 経済的支援について(40件)

(経済的支援、補助に関すること)

- 給食費の無料、一部補助、中学入学時の制服購入の一部補助、義務教育に必要な物の援助があるべきではないかと思います。
- 子どもの医療費、18才まで無料だと助かる。就学援助の手続きを兄弟で一枚の用紙に簡略化。
- 市外であっても子ども医療費がその場で利用できると良い(富士見市、三芳町、ふじみ野市以外へ利用範囲を広げる、川越市等)。
- ひとり親としてちょっと気になるのが、子ども医療費受給資格証の色分け。見分けできる様に水色(ひとり親)と黄色で色分けされていますが、当事者としたら周りに私はひとり親ですと示している感じで抵抗がありました。今は慣れましたし、子どもも大きくなりひとり親だと言う事を受け入れています。当初は子どもが気にしていたので、周囲を気にして病院の受付で出していました。その辺の配慮もしていただけたらひとり親としては助かります。
- 子どもに対する支援は所得制限無く平等にしてほしい。
- 子育て支援、母子家庭に対して、もう少し税金免除などしてほしい。学童の金額が1万円に上がったのは、なぜでしょう。
- 一人っ子家庭と4人、5人の子どもがいる家庭とでは様々な面で保護者負担の度合いが異なると思います。是非そういった観点からの支援も視野に入れてほしいです。

5. 放課後の預け先について(80件)

- 放課後児童クラブの雰囲気合わずにやむを得ず辞めていく子が沢山います。本当は1人で留守番するのは不安なのに、仕方なく預けられずに困っている方が安心して放課後を過ごせる場所が欲しいです。子ども教室を毎日開催してもらったり、児童館で預かってもらうなど、選択肢としていくつかあると助かります。
- 放課後児童クラブでの役員の仕事が増えた。そのことを言いづらい雰囲気がありました。仕事をして忙しいのに役員の仕事もあり、何のための放課後児童クラブなのかわからなくなりました。
- 放課後児童クラブは数年前から大幅に定員オーバーしているので、指導員を増やし、施設を増やしていただきたいです。市の職員が様子を見学する時はいつも土曜日の子どもたちが少ない時なので、いつも窮屈で危険な状態を見ていただきたいです。
- 放課後児童クラブの1日開室の時間が朝8時からのため、父母とも仕事の始業時間に間に合いません。7時半から開室していただけると終日預ける日の朝、遅刻せず仕事にいけます。
- 小学生の預かりがないのが困る。学童には入れたが、月額10,000円は高いし、行かない日もあるのでもったいない。1回いくらなど、幼稚園の預かりみたいな制度がほしい。まだ低学年は1人で留守番は難しいため。気軽に預けられるサポート施設がほしい。

(5. 放課後の預け先について)

- 働いていない人でも、緊急時にすぐ学童を利用できるようにしてほしい。
- 短時間パート勤務者も気軽に小学生を預けられる施設が欲しい。
- 保育所、放課後児童クラブに大変お世話になっています。子どもも楽しく通っており、大変助かっています。ありがとうございます。長期休みの子どものお弁当の対応について、各放課後児童クラブによって違いがあると聞きました。今後検討していただけると幸いです。保護者の会では仕事の合間で難しい所もあるので。
- 学童の夏休み、冬休み、長期休みのみの利用をできる様にしてほしい。
- ゴールデンウィークや祝日、日曜日にも学童が開室していると助かる。今は定期で土日祝日は休みにしているが、福祉業界の為、それが理由で正社員になれない。

6. 道路や交通について(15 件)

(道が悪い、交通が不便等)

- 自転車で走る専用の道を作ってほしいです。
- 駅から関沢、関沢内、みどりの散歩道が暗いです。市の宝の子どもたちの為に道は明るく、街灯をもっとつけて下さい。不審者が近寄れない町作り、市作りをお願いします。
- ららぽーとが出来て大型バスが何本も通る様になったのに、バス通りの両側に歩道が無く子どもが乗る自転車も車道を逆走しているので危ない。バス通り沿いには歩道を整備して、子どもたちが安心して出掛けられる街にしてほしい。

7. 健康・医療について(1件)

(健診や病院に関すること)

- 定期予防接種を増やしてほしいです。おたふくかぜの予防接種をしないで難聴になった方が周りにいます。麻疹・風疹も受け忘れが多いので期間を増やしてほしい。

8. 学校関係、教育について(45 件)

- 今回、地域子ども教室ということは、内容を初めて知った。もっと情報が欲しいし、もっと活動してほしい。
- 防犯面をもう少し力を入れてほしいです。学校や公園のまわりなのに信号機が無い。学校の門は開いたままで、監視カメラもなく不審者も簡単に入れそうで無防備すぎます。
- 宿題とか、わからない勉強を教えてくれたりする場もあったら嬉しいです。
- 今、学校の中でも多動や落ち着きのない子もいて、クラスの雰囲気落ち着かないようになっているようです。全体に向けて、ADHD等の情報や理解が共有できるようなリーフレット等対策を考えてもらえたらと思います。
- 小学校校庭でスポーツを教えてほしい。上尾市の小学校でやっていると聞き、体力向上、運動技能向上のためにも空き時間を有効にしてあげてほしい。

(8. 学校関係、教育について)

- 学童にしても、学校にしてもフルタイム勤務の親に負担のある役員が多すぎる。学校の役員は休んで当たり前のような要求で、フルタイムの肩身が狭い。「休めないものは休めない」という事を理解していない運用に思える。
- 学校についての情報がもっとオープンに入ってくると助かります。公立、私立、どこに、どんな学校があるか通える区域等分かりにくく、ロコミに頼るしか無い事があります。ホームページ等でもっと詳しく分かれば良いです(市のホームページはリニューアルして以前より見やすくなりました)。
- 同じ地区の中学、小学校の入学式、同じ時間となった事が不便だった。子育てをしている中で大切な行事を1人分見る事が出来なかった。日にち、せめて両方に来られる時間にしていたかった。
- 不登校になった子どもをどうしたら、学校に行かせられるかのサポートではなく、行けない、しんどさを理解し、その子どもに寄り添うサポートがあると有難いです。
- 学校の支援の先生を増やしてほしいです。クラスの人数によっては担任の先生だけでは手が足りず、困っている子がいてもなかなか見てもらえない為。通級指導教室の枠を増やしていただけると嬉しいです。グレーゾーンの子どもたちの中にも困っている子(家庭)は多いと思うので、少しでも相談ができると安心できると思います。

9. その他(25件)

- 私自身は子どもが病気の時は仕事を休んで、傍にいたいと思いますが、預けなくてはならない人もいます。でも、そちらを充実させるのと同時にやはり我が子が具合の悪い時は堂々と休める様にすべきとも思います。そういうアプローチもしてほしいです。大人の都合に子どもが合わせる政策だけでは子どもたちは親との子ども時代が送れません。”きちんと休める事” ”我が子といる時間” そうした側面からも市としてできる事を考えてほしいとも思っています。
- 子育てのトラブルより、家庭がうまく行っていない事による子どもへの影響の方が大きい。そちらのサポートや相談窓口と併せての活用、運用を希望する。親からの言葉の暴力や学習妨害を受けている子どもたちがいる事を子どもから聞いている。そういう切実なものはこのアンケートや学校でのアンケートからは救出出来ないと感じる。また、配られる電話のSOSは出ない事がほとんどで役に立っていない。子どもたちの間でもそういう事は皆知っています。子どもを守るSOSシステムを作ってほしいと思う。子ども食堂へのサポート等も行ってもらいたい。

富士見市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

令和元年5月

富士見市 子ども未来部 子育て支援課
〒354-8511 埼玉県富士見市大字鶴馬 1800 番地の1
TEL 049-251-2711 (代)
